

令和7年度

秋田県学習状況調査

調査結果報告書

令和8年3月

秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、令和7年12月に、小学校第4、5学年及び中学校第1、2学年の全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施しました。

本調査のねらいは、県として、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②少人数学習の成果や課題を捉えること、そして、各学校において、③児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立することなどにより、教員の学習指導の改善・充実や児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

本調査は、「教科に関する調査」と「学習の意欲等に関する質問紙調査」で構成しています。教科に関する調査の特色として、県の課題の改善状況を明らかにするための複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している“「問い」を発する子ども”を育成するための基盤づくりに資する問題、高校入試と関連した問題等を出題しました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査では、1人1台端末の活用状況に係る質問項目をはじめ、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況に係る質問項目などを設け、全国学力・学習状況調査等の質問項目と対応させることにより、各学校が自校の児童生徒の学習に対する意識等を的確に捉えることができるようにしました。

この度、令和7年度の本調査の結果に基づき、全県的な学習状況や今後の授業改善のポイント等を報告書としてまとめました。各学校や市町村教育委員会においては、この報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育への取組の改善・充実に積極的に活用していただきたいと考えております。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各学校の皆様にご心から御礼申し上げます。

令和8年3月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要	3
2	調査の特徴、用語等	4
3	調査結果の概要	5
	(1) 教科に関する調査の結果	
	① 設定通過率との比較	5
	② 各教科の観点別の設定通過率との比較	6
	③ 類似問題との比較	7
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	8
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果	
	① 学習全般についての結果概要	13
	② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要	13
	③ 学習全般について	14
	④ 生活全般について	16
	⑤ 家庭学習について	19
	⑥ 授業について	20
	⑦ ICT活用の状況について	22
	⑧ 各教科等の学習に対する意識について	23
	⑨ 読書について	32
4	結果と考察	33
	<p>本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。</p>	
	(1) 国語	
	・小学校第4学年	34
	・小学校第5学年	38
	・中学校第1学年	42
	・中学校第2学年	46
	(2) 社会	
	・小学校第5学年	50
	・中学校第1学年	54
	・中学校第2学年	58
	(3) 算数、数学	
	・小学校第4学年	62
	・小学校第5学年	66
	・中学校第1学年	70
	・中学校第2学年	74
	(4) 理科	
	・小学校第4学年	78
	・小学校第5学年	82
	・中学校第1学年	86
	・中学校第2学年	90
	(5) 英語	
	・中学校第1学年	94
	・中学校第2学年	98

令和7年度
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴・用語等
- 3 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査、本調査及び高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

※本報告書において、「小・中学校」は義務教育学校、「小学校」は義務教育学校の前期課程、「中学校」は義務教育学校の後期課程をそれぞれ含んでいる。

(人)

校種・学年 実施教科等	小 学 校		中 学 校	
	第4学年	第5学年	第1学年	第2学年
国 語	5,593	5,708	5,673	5,781
社 会		5,706	5,669	5,770
算数・数学	5,595	5,704	5,671	5,787
理 科	5,596	5,707	5,671	5,778
英 語			5,675	5,778
学習の意欲等に関する アンケート	5,595	5,718	5,666	5,750
参 加 者	5,596	5,718	5,675	5,787
小・中ごとの参加者計	11,314		11,462	
参加者合計	22,776			

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質・能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容を含む場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 令和7年12月 3日(水)

中学校 令和7年12月 4日(木)

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・ 観点別評価の実施
 - ・ 調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・ 県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・ 多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・ 学力の経年変化の把握
- ⑤ 調査の趣旨に基づいた特色ある問題
 - ・ 複数学年にもわたる共通問題
 - ・ 本県児童生徒の学習状況における課題等の改善に資する問題
 - ・ “「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑥ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
 - ・ 課題等の改善状況を把握するための問題
- ⑦ 調査結果の活用工夫
 - ・ 各学校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・ 報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・ 各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・ 全問題の通過率の平均
- ③ 設定通過率
 - ・ 問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（分析する上での参考値として示している）
- ④ 正答数別度数分布
 - ・ 正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・ 各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・ 本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・ 各学校の教科に関する調査及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

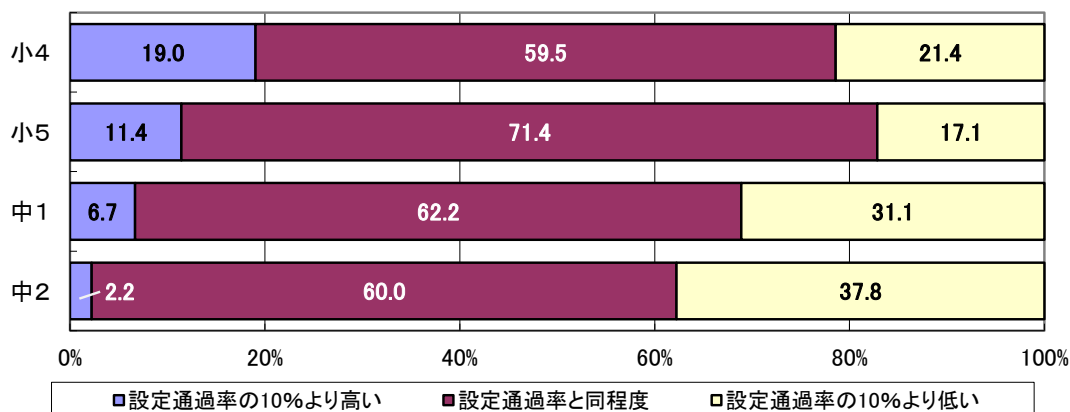
3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が78.5%、第5学年が82.8%、中学校第1学年が68.9%、中学校第2学年が62.2%であった。昨年度に比べて、小学校第4学年は4.9ポイント、第5学年は8.5ポイント、中学校第1学年は1.1ポイント、中学校第2学年は6.7ポイント下回った。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第4学年国語、理科、第5学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校の第1学年数学、理科、第2学年社会、数学、理科であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	78.3	74.6	3.7	83.3%
		第5学年	76.5	75.6	0.9	75.0%
	社会	第5学年	68.7	70.0	-1.3	94.4%
	算数	第4学年	66.1	70.6	-4.5	77.8%
		第5学年	61.8	70.0	-8.2	77.8%
	理科	第4学年	71.5	70.0	1.5	75.0%
第5学年		65.9	70.0	-4.1	83.3%	
中学校	国語	第1学年	68.6	72.2	-3.6	72.2%
		第2学年	66.4	72.8	-6.4	72.2%
	社会	第1学年	62.4	70.0	-7.6	77.8%
		第2学年	57.4	70.0	-12.6	72.2%
	数学	第1学年	55.2	70.0	-14.8	50.0%
		第2学年	54.1	70.0	-15.9	44.4%
	理科	第1学年	58.8	70.0	-11.2	66.7%
		第2学年	56.0	70.6	-14.6	55.6%
	英語	第1学年	65.6	70.0	-4.4	77.8%
		第2学年	62.1	70.0	-7.9	66.7%

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれを上回る（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では社会の全観点、国語の「知識・技能」、算数、理科の「思考・判断・表現」であった。中学校では社会の「知識・技能」、国語、英語の「思考・判断・表現」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題が多く見られたのは、小学校では国語の「思考・判断・表現」、算数の「知識・技能」であった。中学校では数学と理科の全観点、国語、英語の「知識・技能」であった。

<小学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	15	4 (26.7%)	9 (60.0%)	2 (13.3%)
	思考・判断・表現	13	2 (15.4%)	7 (53.8%)	4 (30.8%)
社会	知識・技能	8	1 (12.5%)	7 (87.5%)	0 (0.0%)
	思考・判断・表現	10	3 (30.0%)	6 (60.0%)	1 (10.0%)
算数	知識・技能	24	0 (0.0%)	16 (66.7%)	8 (33.3%)
	思考・判断・表現	12	0 (0.0%)	12 (100.0%)	0 (0.0%)
理科	知識・技能	15	3 (20.0%)	8 (53.3%)	4 (26.7%)
	思考・判断・表現	15	3 (20.0%)	10 (66.7%)	2 (13.3%)

<中学校>

教科名	観点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	知識・技能	19	6 (31.6%)	7 (36.8%)	6 (31.6%)
	思考・判断・表現	17	0 (0.0%)	13 (76.5%)	4 (23.5%)
社会	知識・技能	19	1 (5.3%)	14 (73.7%)	4 (21.1%)
	思考・判断・表現	17	1 (5.9%)	11 (64.7%)	5 (29.4%)
数学	知識・技能	23	0 (0.0%)	10 (43.5%)	13 (56.5%)
	思考・判断・表現	13	0 (0.0%)	7 (53.8%)	6 (46.2%)
理科	知識・技能	15	0 (0.0%)	8 (53.3%)	7 (46.7%)
	思考・判断・表現	21	0 (0.0%)	14 (66.7%)	7 (33.3%)
英語	知識・技能	15	0 (0.0%)	10 (66.7%)	5 (33.3%)
	思考・判断・表現	21	0 (0.0%)	16 (76.2%)	5 (23.8%)

③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では57問中30問（52.6%）、中学校では85問中52問（61.2%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年理科、第5学年国語であった。中学校では第1学年社会、第2学年理科、英語であった。

（図1参照）

- ・類似問題の通過率の平均を比較すると、国語は全ての学年で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年算数、第5学年の社会、理科、中学校第1学年英語、中学校第2学年の社会、数学は下回っているものの、その差は-5ポイント以内である。

（図2参照）

図1 類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合

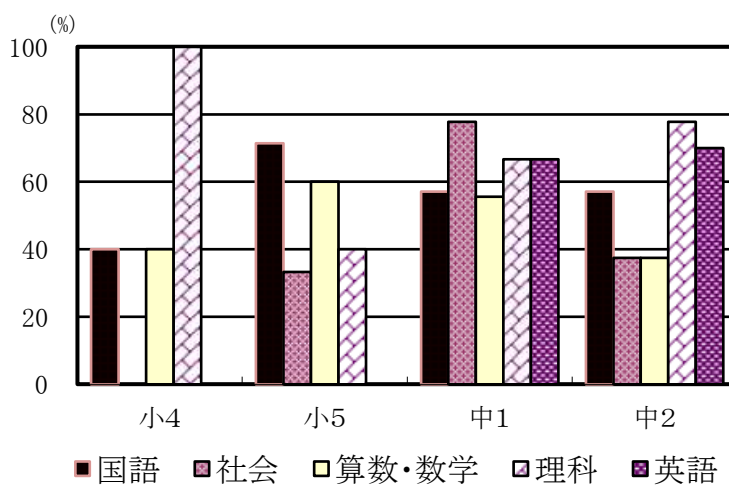
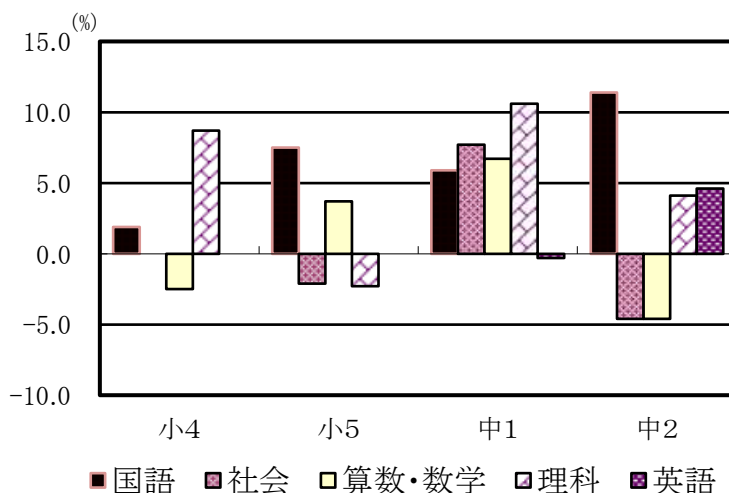


図2 類似問題において過去の通過率の平均を基準とした今年度の通過率の平均



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4

番号	設定	通過率	類似
1)	80	91.6	
2)	80	97.1	
3)	70	57.7	
4)	70	74.8	
5)	75	84.7	
6)	80	78.2	94.6
7)	80	94.2	
8)	70	72.5	67.4
9)	70	59.5	60.5
10)	70	72.9	87.8
11)	70	69.6	32.8
12)	80	86.4	

小5

番号	設定	通過率	類似
1)	80	98.6	
2)	80	96.6	
3)	80	82.1	
4)	80	87.0	
5)	80	78.2	91.5
6)	70	57.1	53.5
7)	80	87.9	
8)	80	85.2	
9)	80	84.0	76.0
10)	70	54.4	
11)	70	65.1	65.9
12)	70	49.0	
13)	70	92.8	66.2
14)	70	77.7	72.9
15)	70	44.1	20.5
16)	80	83.5	

設定通過率	74.6		
平均通過率		78.3	
類似問題		70.5	68.6

設定通過率	75.6		
平均通過率		76.5	
類似問題		71.3	63.8

○中学校

中1

番号	設定	通過率	類似
1)	80	78.9	
2)	80	91.4	
3)	70	60.2	
4)	70	53.3	
5)	70	64.3	
6)	70	58.4	
7)	80	97.0	71.4
8)	80	96.1	78.0
9)	80	95.2	60.5
10)	70	51.6	79.7
11)	80	73.2	
12)	70	61.5	
13)	70	68.8	
14)	60	52.0	64.9
15)	70	76.6	
16)	60	42.9	32.8
17)	60	30.5	36.9
18)	80	82.2	

中2

番号	設定	通過率	類似
1)	80	70.5	
2)	80	78.9	
3)	70	69.6	95.7
4)	70	14.6	
5)	80	97.9	
6)	70	20.7	
7)	70	69.0	
8)	70	74.8	
9)	70	75.3	44.5
10)	80	95.6	60.5
11)	70	50.6	
12)	80	85.3	49.3
13)	80	81.1	88.1
14)	70	57.9	
15)	70	74.3	77.1
16)	60	36.5	
17)	60	56.8	43.6
18)	80	86.3	

設定通過率	72.2		
平均通過率		68.6	
類似問題		66.5	60.6

設定通過率	72.8		
平均通過率		66.4	
類似問題		76.9	65.5

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

番号	設定	通過率	類似
1)	80	84.9	
2)	70	71.8	
3)	70	67.9	
4)	65	77.2	
5)	70	68.6	92.8
6)	65	63.3	85.4
7)	65	59.8	60.6
8)	80	91.7	
9)	75	87.2	81.1
10)	75	69.3	70.6
11)	65	61.2	62.6
12)	80	77.1	
13)	70	71.1	62.0
14)	60	54.2	58.0
15)	60	74.0	54.1
16)	75	67.9	
17)	60	17.8	
18)	75	71.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		68.7	
類似問題		67.6	69.7

○中学校

番号	設定	通過率	類似
1)	70	63.0	
2)	60	52.2	
3)	80	81.4	85.5
4)	60	71.5	53.8
5)	75	66.7	61.5
6)	65	58.4	35.6
7)	75	87.8	
8)	60	47.2	
9)	70	60.0	
10)	65	31.8	28.1
11)	80	77.4	
12)	75	73.4	
13)	80	70.8	70.1
14)	65	61.9	49.4
15)	75	39.6	
16)	65	45.7	
17)	75	75.4	62.8
18)	65	59.9	61.3

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.5	
類似問題		64.2	56.5

番号	設定	通過率	類似
1)	70	60.2	
2)	65	34.4	25.9
3)	65	25.3	
4)	65	59.4	
5)	65	29.0	
6)	60	50.8	62.2
7)	80	71.0	83.1
8)	75	68.5	70.6
9)	70	44.0	
10)	80	83.9	77.7
11)	75	68.0	
12)	65	59.2	
13)	75	66.3	73.5
14)	65	59.7	79.0
15)	60	53.9	53.7
16)	80	84.9	
17)	75	54.9	
18)	70	60.3	

設定通過率	70.0		
平均通過率		57.4	
類似問題		61.1	65.7

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4	番号	設定	通過率	類似
	1)	75	65.7	
	2)	75	64.6	
	3)	70	74.8	64.4
	4)	65	74.3	55.7
	5)	75	69.5	80.0
	6)	80	64.6	81.2
	7)	70	67.4	
	8)	65	57.7	66.2
	9)	70	57.0	
	10)	70	60.7	86.3
	11)	65	74.6	
	12)	65	58.3	
	13)	70	73.3	76.1
	14)	75	78.3	69.3
	15)	70	64.1	
	16)	70	59.0	
	17)	70	62.4	64.5
	18)	70	62.8	58.8

設定通過率	70.6		
平均通過率		66.1	
類似問題		67.8	70.3

小5	番号	設定	通過率	類似
	1)	80	75.0	80.5
	2)	80	81.3	71.1
	3)	75	70.3	63.3
	4)	75	80.3	55.7
	5)	65	42.5	
	6)	65	56.9	
	7)	70	24.6	55.2
	8)	70	70.4	65.0
	9)	75	70.4	
	10)	70	70.8	15.7
	11)	65	57.0	
	12)	65	34.4	75.4
	13)	75	79.5	
	14)	65	49.0	
	15)	70	65.8	73.5
	16)	70	76.0	56.9
	17)	65	56.7	
	18)	60	52.0	

設定通過率	70.0		
平均通過率		61.8	
類似問題		64.9	61.2

○中学校

中1	番号	設定	通過率	類似
	1)	70	52.4	
	2)	70	63.7	
	3)	75	44.6	
	4)	80	76.4	
	5)	65	45.1	52.1
	6)	70	40.8	
	7)	60	52.2	74.5
	8)	60	54.4	44.4
	9)	85	81.9	
	10)	85	83.8	59.3
	11)	65	33.9	
	12)	65	51.3	
	13)	60	34.1	
	14)	70	45.6	45.8
	15)	85	80.9	37.7
	16)	65	55.6	69.4
	17)	65	60.7	56.0
	18)	65	36.6	15.5

設定通過率	70.0		
平均通過率		55.2	
類似問題		57.2	50.5

中2	番号	設定	通過率	類似
	1)	75	65.7	74.4
	2)	65	55.6	56.2
	3)	80	70.3	
	4)	70	49.8	
	5)	65	49.3	43.2
	6)	85	85.4	
	7)	65	46.4	
	8)	70	43.3	
	9)	65	55.5	44.4
	10)	65	48.5	46.4
	11)	80	73.8	
	12)	75	67.0	
	13)	70	50.5	
	14)	65	40.2	59.8
	15)	70	46.6	
	16)	70	35.4	
	17)	65	57.7	66.6
	18)	60	33.8	52.1

設定通過率	70.0		
平均通過率		54.2	
類似問題		50.8	55.4

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○小学校

小4	番号	設定	通過率	類似
	1)	80	90.1	87.6
	2)	80	97.1	
	3)	80	80.0	
	4)	70	59.7	
	5)	70	74.1	69.6
	6)	80	91.5	
	7)	60	49.2	44.3
	8)	60	64.3	
	9)	60	61.9	61.3
	10)	80	92.4	92.1
	11)	60	16.6	
	12)	60	81.6	42.1

小5	番号	設定	通過率	類似
	1)	80	85.8	
	2)	70	81.6	
	3)	80	74.2	86.2
	4)	70	77.0	71.4
	5)	60	17.7	
	6)	70	74.0	78.6
	7)	80	77.8	
	8)	70	70.4	73.0
	9)	80	89.1	86.2
	10)	60	37.0	
	11)	70	72.4	64.7
	12)	60	54.2	
	13)	70	60.4	71.4
	14)	70	56.4	
	15)	90	90.2	90.4
	16)	60	52.0	69.6
	17)	60	62.3	53.8
	18)	60	53.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		71.5	
類似問題		74.9	66.2

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.9	
類似問題		72.2	74.5

○中学校

中1	番号	設定	通過率	類似
	1)	70	58.2	
	2)	70	33.2	45.0
	3)	70	29.9	
	4)	70	69.1	34.3
	5)	90	88.0	
	6)	70	28.1	35.6
	7)	80	79.2	58.5
	8)	70	72.0	31.3
	9)	60	59.7	48.4
	10)	70	60.7	
	11)	70	67.0	
	12)	60	59.7	71.4
	13)	70	36.8	
	14)	60	48.6	
	15)	70	63.6	
	16)	60	55.8	52.4
	17)	80	83.3	67.8
	18)	70	66.1	

中2	番号	設定	通過率	類似
	1)	70	29.8	
	2)	60	22.7	31.6
	3)	80	39.0	
	4)	60	37.6	
	5)	60	40.6	
	6)	80	58.4	
	7)	70	73.2	50.4
	8)	60	52.7	
	9)	60	29.4	66.1
	10)	80	72.0	
	11)	80	71.6	70.2
	12)	70	66.5	63.4
	13)	60	51.1	
	14)	80	79.0	74.6
	15)	80	49.5	
	16)	70	70.4	45.0
	17)	80	85.9	81.5
	18)	70	78.4	56.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		58.8	
類似問題		60.0	49.4

設定通過率	70.6		
平均通過率		56.0	
類似問題		64.1	60.0

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：今年度の平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の平均通過率

○中学校

中1	番号	設定	通過率	類似
	1)	85	88.9	86.6
	2)	80	74.9	
	3)	90	98.9	97.1
	4)	90	95.0	86.7
	5)	60	50.1	58.7
	6)	70	75.4	71.5
	7)	60	61.3	87.7
	8)	65	70.3	53.0
	9)	85	88.0	
	10)	70	75.6	
	11)	75	76.8	
	12)	60	59.9	
	13)	60	22.0	24.6
	14)	60	44.1	
	15)	60	33.3	31.5
	16)	60	54.2	
	17)	70	73.7	
	18)	60	38.4	

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.6	
類似問題		66.1	66.4

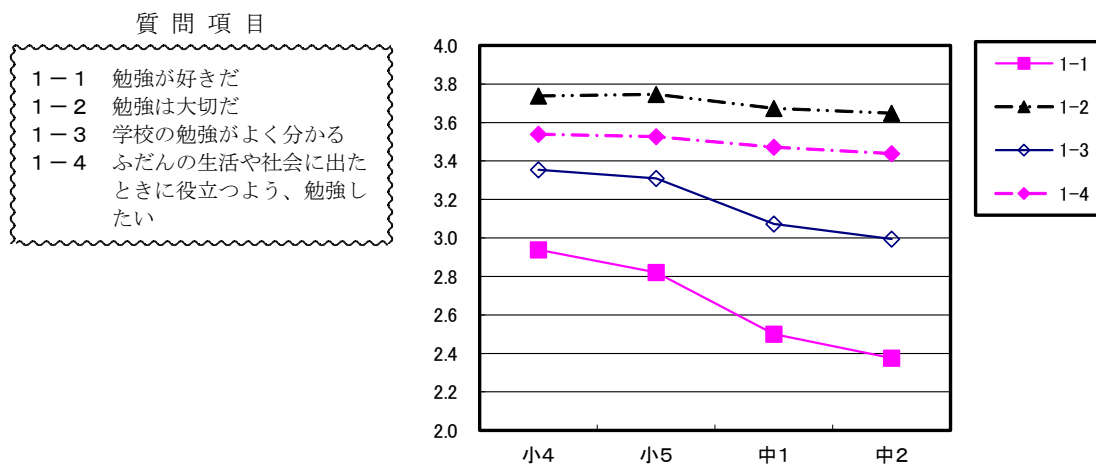
中2	番号	設定	通過率	類似
	1)	90	92.1	86.5
	2)	70	62.8	
	3)	65	58.1	
	4)	70	65.2	61.6
	5)	65	47.2	
	6)	70	75.8	
	7)	65	69.3	46.2
	8)	75	77.4	58.8
	9)	70	45.9	67.8
	10)	70	70.1	58.4
	11)	70	68.8	64.6
	12)	85	88.7	
	13)	80	81.4	
	14)	65	58.2	65.5
	15)	60	30.1	20.1
	16)	60	46.2	
	17)	65	45.7	47.8
	18)	65	34.2	

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.1	
類似問題		62.3	57.7

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

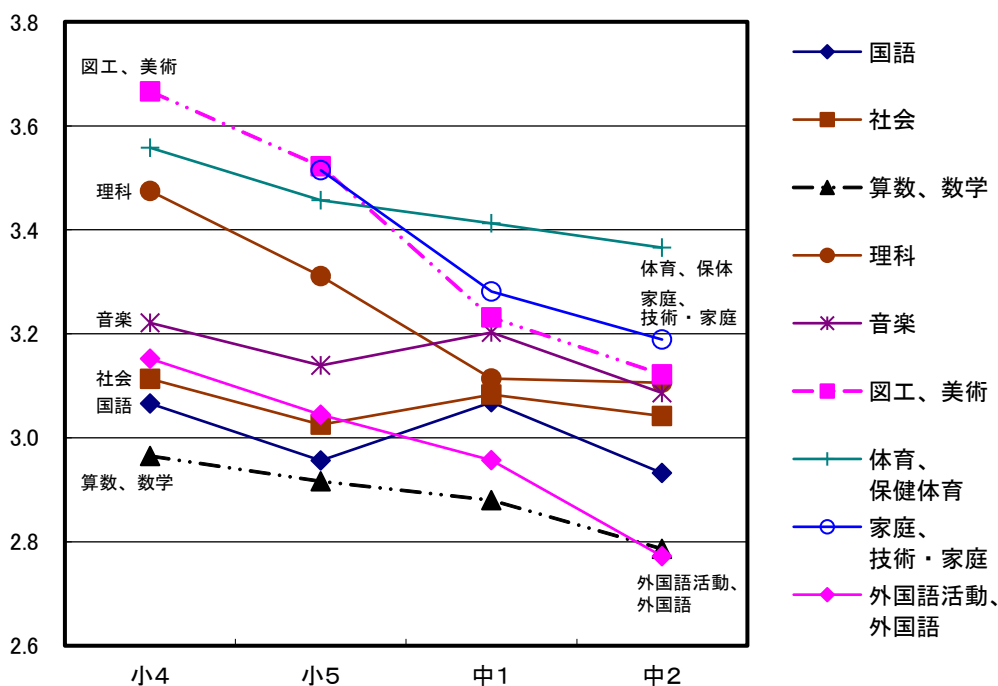
当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点



② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

当てはまる…4点 どちらかといえば当てはまる…3点
 どちらかといえば当てはまらない…2点 当てはまらない…1点

質問項目
 (例) 国語の勉強は好きだ ※下線部を各教科等名にしてそれぞれ質問する。



③ 学習全般について

[グラフ等の見方]

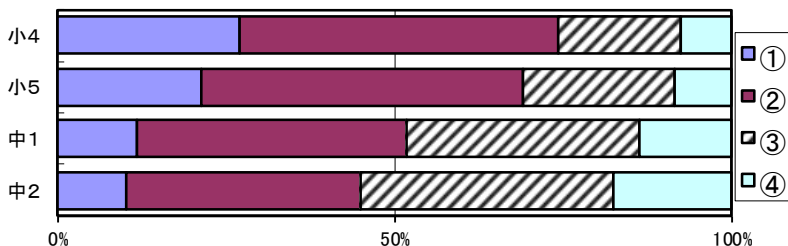
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

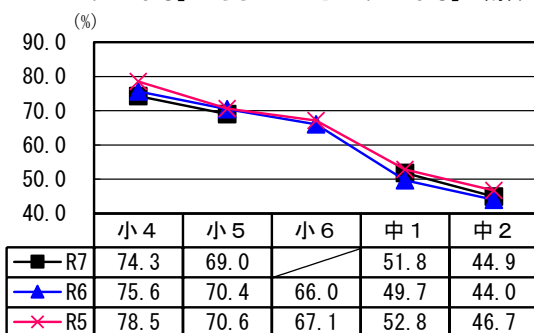
[1-1] 勉強が好きだ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	27.0	47.3	18.2	7.5
小5	21.4	47.6	22.5	8.4
中1	11.8	40.0	34.6	13.6
中2	10.2	34.7	37.6	17.5



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

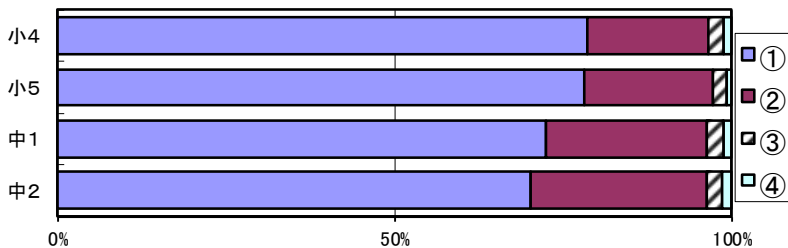


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少している。また、小学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。

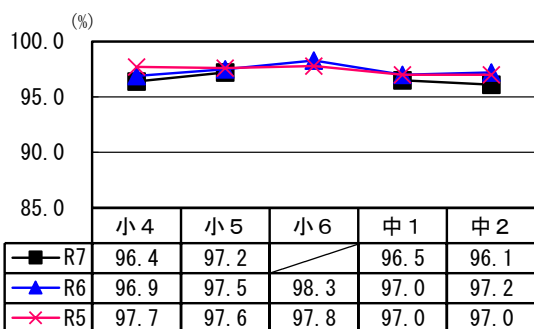
[1-2] 勉強は大切だ

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	78.4	18.0	2.4	1.1
小5	78.1	19.1	2.1	0.7
中1	72.4	24.1	2.3	1.3
中2	70.0	26.1	2.4	1.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



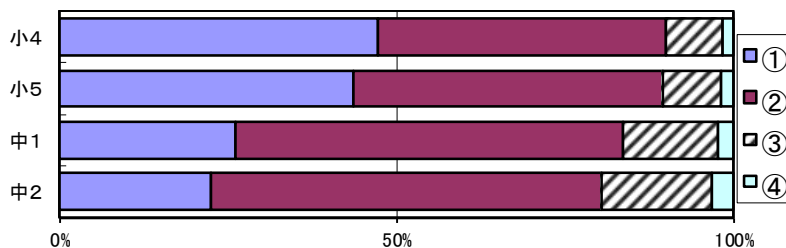
全ての学年で、肯定的な回答の割合が96%以上である。

学ぶことの重要性や意義等を感じながら学習に取り組んでいる児童生徒が多いことがうかがえる。

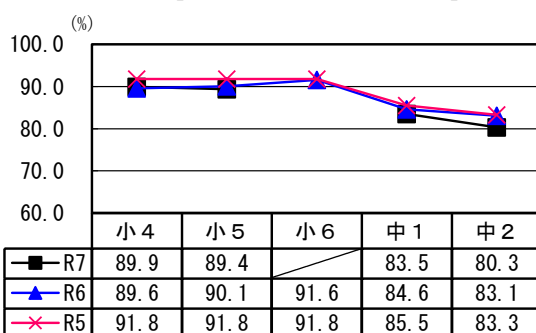
[1 - 3] 学校の勉強がよく分かる

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	47.3	42.6	8.4	1.7
小5	43.6	45.8	8.6	2.0
中1	26.1	57.4	14.2	2.3
中2	22.5	57.8	16.4	3.3



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

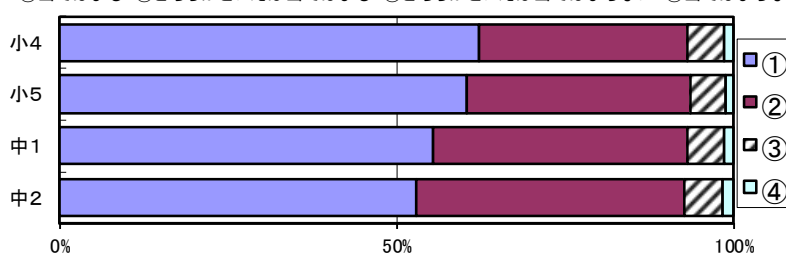


小学校では89%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしているものの、小学校第5学年及び中学校においては、この3年間で最も低い数値となっている。

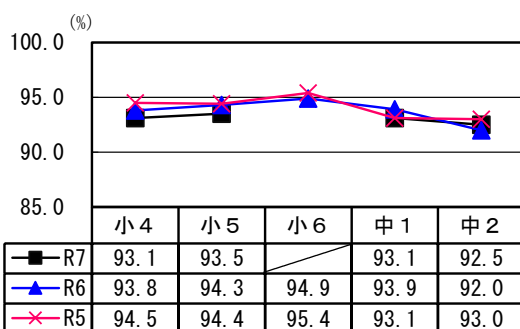
[1 - 4] ふだんの生活や社会に出たときに役立つよう、勉強したい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

	①	②	③	④
小4	62.3	30.8	5.4	1.5
小5	60.3	33.2	5.4	1.1
中1	55.5	37.6	5.5	1.4
中2	52.9	39.6	5.7	1.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



全ての学年で、肯定的な回答の割合が92%以上である。

各教科等で学習する内容を日常生活に役立てようとする意識をもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④ 生活全般について

[グラフ等の見方]

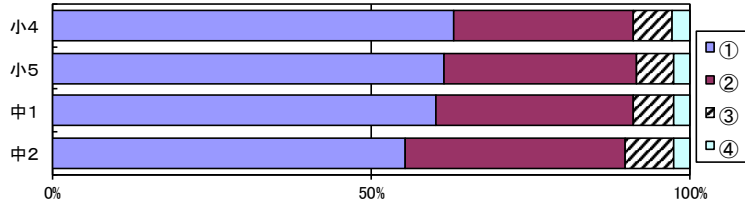
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

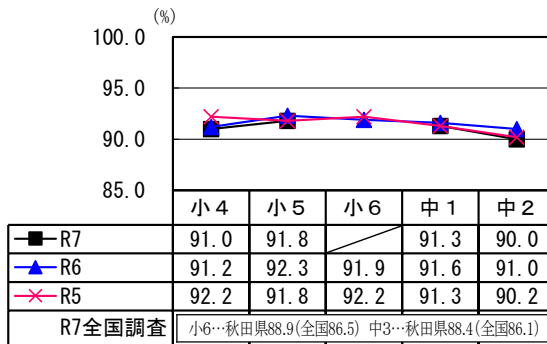
[2-1] 学校が楽しい

	①	②	③	④
小4	62.9	28.1	6.2	2.7
小5	61.6	30.2	5.8	2.4
中1	60.2	31.1	6.2	2.5
中2	55.6	34.4	7.5	2.6

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



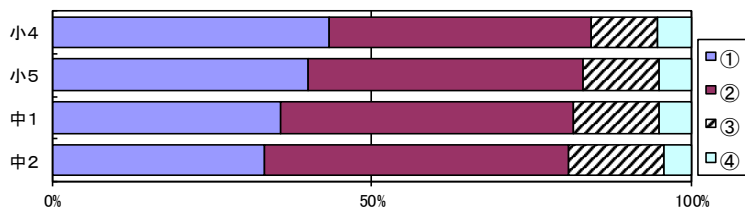
全ての学年で、肯定的な回答の割合が90%以上である。

学校が児童生徒にとって伸び伸びと過ごせる楽しい場となるよう、各学校が児童生徒の実態を踏まえ、教育活動を工夫していることがうかがえる。

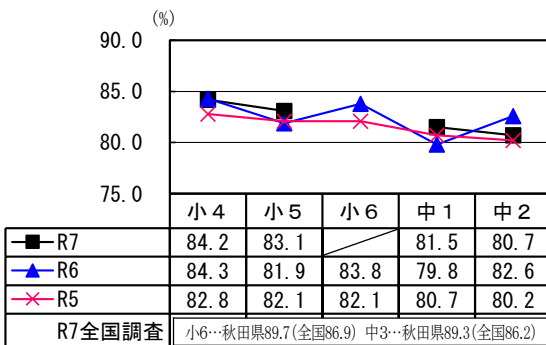
[2-2] 自分にはよいところがあると思う

	①	②	③	④
小4	43.4	40.8	10.6	5.2
小5	40.1	43.0	11.9	5.0
中1	35.7	45.8	13.6	5.0
中2	33.1	47.6	14.8	4.4

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

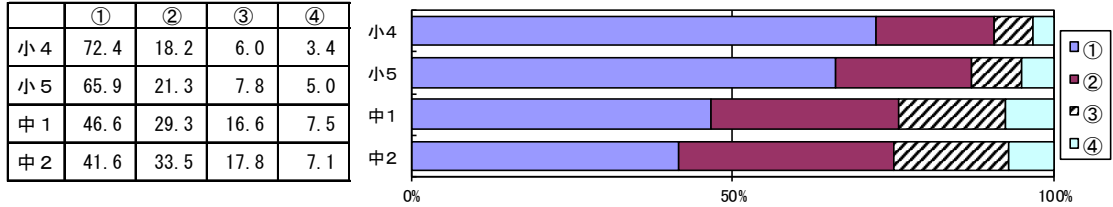


全ての学年で、肯定的な回答の割合が80%以上である。小学校第5学年及び中学校第1学年においては、この3年間で最も高い数値となっている。

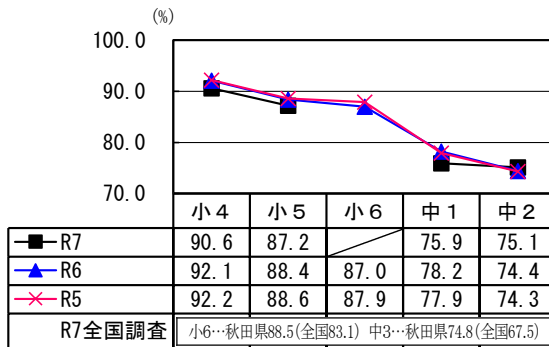
学校生活の様々な場面において、児童生徒が自身のよさや可能性を認識できるよう、教師が働き掛けを充実させていることがうかがえる。

[2 - 3] 将来の夢や目標をもっている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

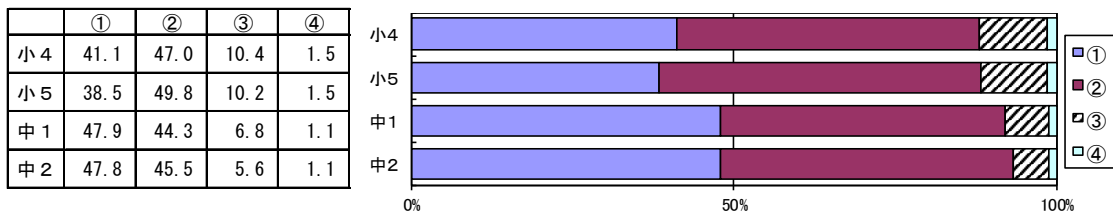


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少している。

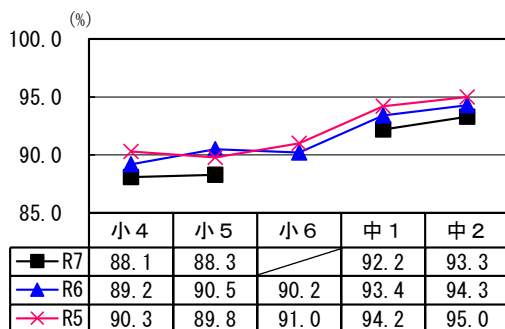
各学校では、現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度を育むことができるよう、児童生徒の発達の段階に応じて学級活動や職場体験活動等の内容を引き続き工夫していく必要がある。

[2 - 4] 学校のきまりを守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

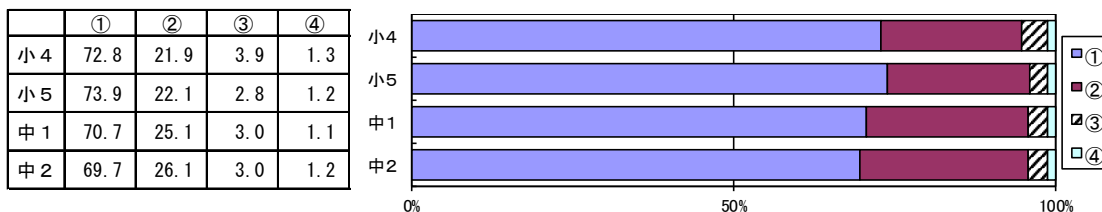


肯定的な回答の割合が、小学校では88%以上、中学校では92%以上となっている。

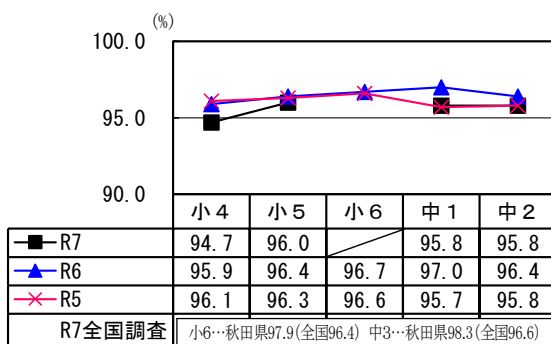
学校における集団生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

[2 - 5] 人の役に立つ人間になりたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

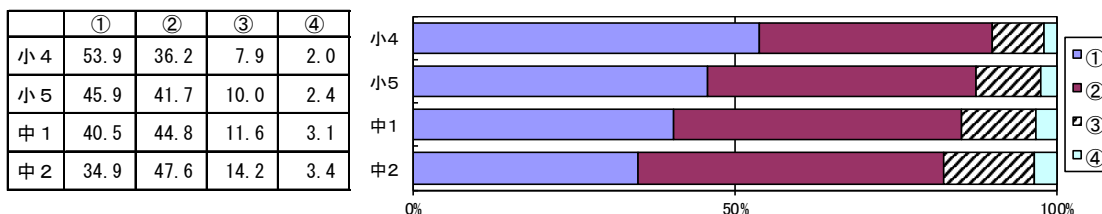


全ての学年で、肯定的な回答の割合が94%以上である。

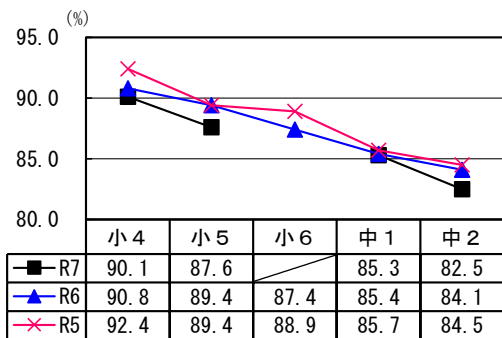
各学校では、キャリア教育や道徳教育等の取組を通して、児童生徒一人一人が活躍したり、他者から認められたりする場を設けるなどして、自己有用感を高めることができるよう、教育活動を工夫していることがうかがえる。

[2 - 6] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、小学校では87%以上、中学校では82%以上であるものの、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。

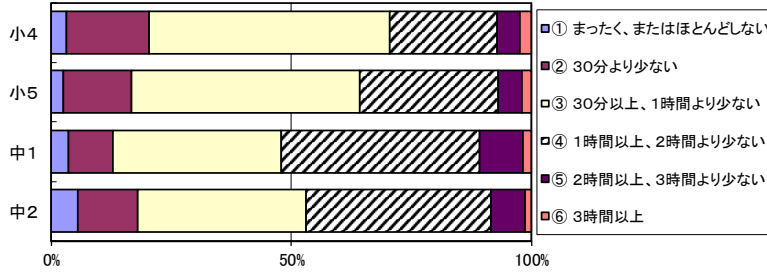
各学校では、児童生徒の地域に対する愛着を育み、地域社会に貢献しようとする意欲を高められるよう、各学校の特色を生かしたふるさと教育やキャリア教育等の取組を引き続き工夫していく必要がある。

⑤ 家庭学習について

[グラフ等の見方]

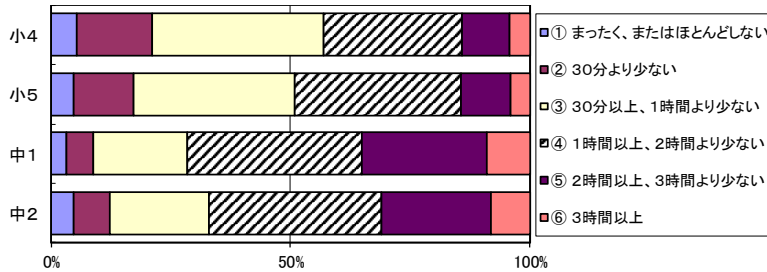
帯グラフ及び表……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



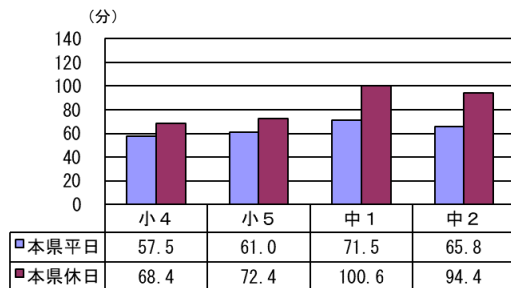
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	3.1	17.3	50.1	22.3	4.8	2.4
小5	2.5	14.2	47.5	28.9	5.0	1.9
中1	3.5	9.4	35.1	41.2	9.1	1.7
中2	5.5	12.5	35.1	38.5	7.0	1.4

土曜日や日曜日の勉強時間

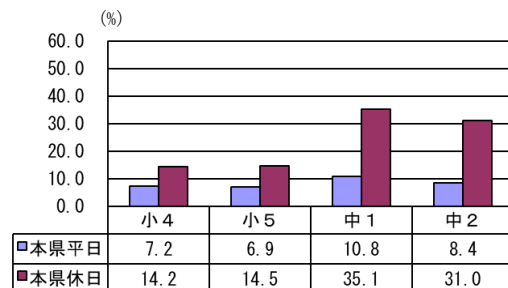


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	5.3	15.7	35.8	29.0	9.9	4.3
小5	4.7	12.6	33.6	34.6	10.4	4.1
中1	3.3	5.6	19.5	36.5	26.0	9.1
中2	4.7	7.6	20.6	36.2	22.8	8.2

家庭学習の平均時間



2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



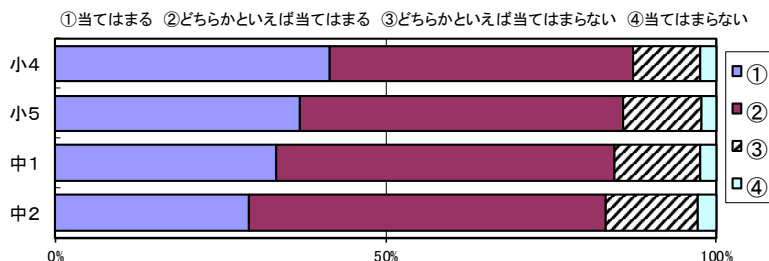
小・中学校とも平日より休日の勉強時間が長く、小学校より中学校の方が家庭学習の平均時間が長くなっている。また、中学校第2学年の「全くしない又は30分未満の割合」は中学校第1学年よりも高くなっている。

⑥ 授業について

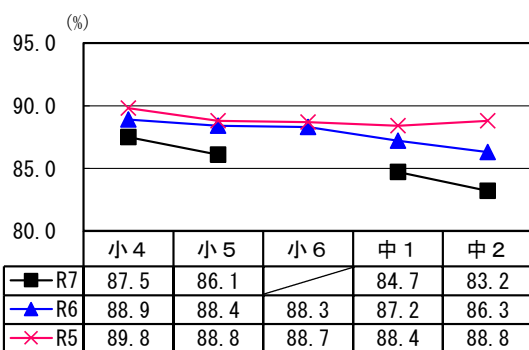
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を意識して学習に取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小4	41.6	45.9	10.1	2.4
小5	37.0	49.1	11.7	2.3
中1	33.4	51.3	12.9	2.4
中2	29.4	53.8	14.1	2.7



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

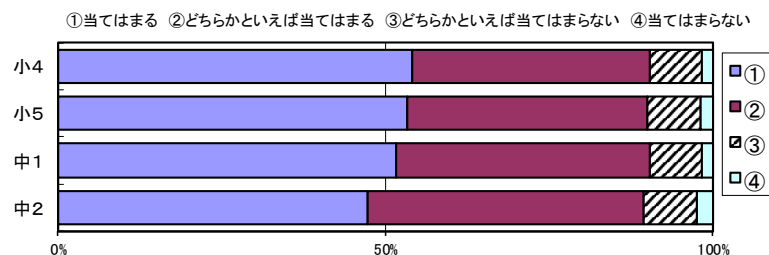


全ての学年で、83%以上が肯定的な回答をしているものの、この3年間で最も低い数値となっている。

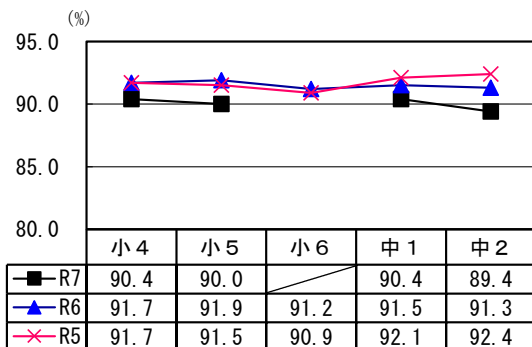
各学校では、児童生徒が主体的に学習活動に取り組むことができるよう、学習の見通しをもたせるための手立て等を引き続き工夫していく必要がある。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動に進んで取り組んでいると思う

	①	②	③	④
小4	54.2	36.2	8.0	1.7
小5	53.3	36.7	8.1	1.9
中1	51.7	38.7	7.9	1.7
中2	47.2	42.2	8.2	2.4



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

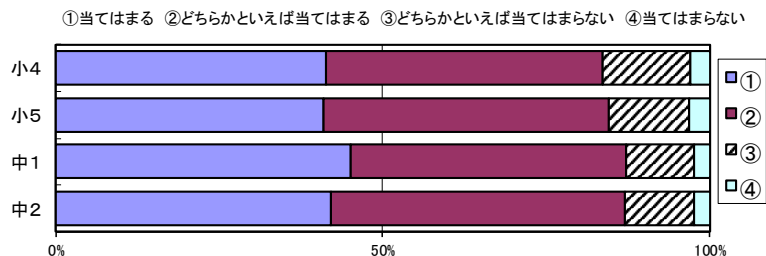


全ての学年で、肯定的な回答の割合が89%以上である。

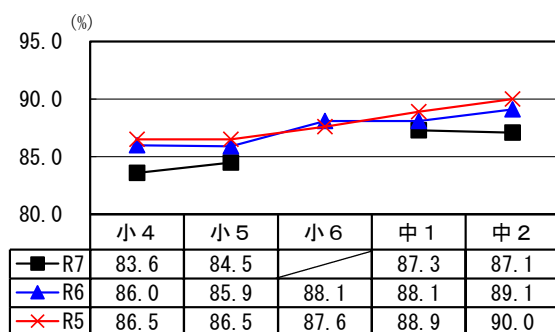
各学校では、話し合う目的を明確にすることで、児童生徒が意欲的に話し合う活動に取り組むことができるようにしている様子が見える。

[4-3] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う

	①	②	③	④
小4	41.3	42.3	13.5	2.9
小5	41.0	43.5	12.4	3.1
中1	45.1	42.2	10.3	2.4
中2	42.1	45.0	10.6	2.3



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



【参考】R7全国調査
小6…秋田県89.5(全国84.9) 中3…秋田県89.7(全国84.7)

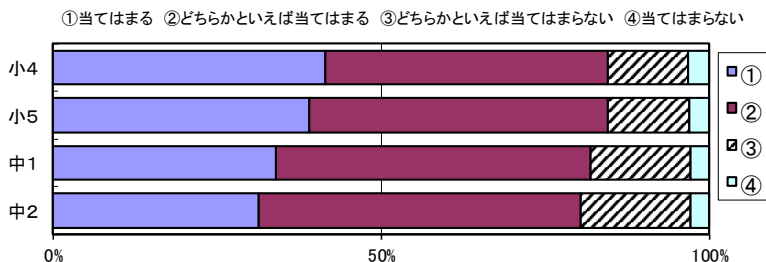
※R7全国調査では「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていると思う」という質問であるため【参考】としている。

全ての学年で、83%以上が肯定的な回答をしているものの、この3年間で最も低い数値となっている。

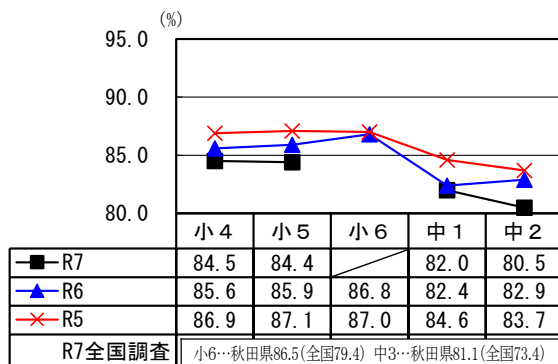
各学校では、他者の多様な考えに触れることが、自分の考えを広げたり深めたりする上で役立つことを児童生徒が自覚できるよう、各教科等の特質に応じて、話し合いの場面設定等を引き続き工夫していく必要がある。

[4-4] ふだんの授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う

	①	②	③	④
小4	41.5	43.0	12.2	3.3
小5	39.1	45.3	12.5	3.0
中1	33.9	48.1	15.2	2.8
中2	31.3	49.2	16.7	2.8



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



R7全国調査 小6…秋田県86.5(全国79.4) 中3…秋田県81.1(全国73.4)

全ての学年で、肯定的な回答の割合が80%以上であるものの、この3年間で最も低い数値となっている。

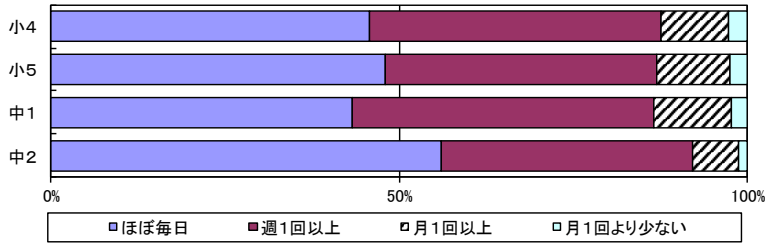
各学校では、児童生徒が学習したことの意義や価値を実感して、次の学習につなげることができるように、児童生徒のよい点や進歩の状況等の評価方法を引き続き工夫していく必要がある。

⑦ ICT活用の状況について

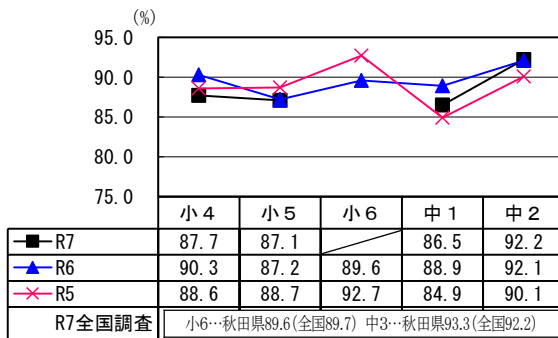
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……「ほぼ毎日」「週1回以上」を
 合わせた割合の経年比較

[5-1] ふだんの授業では、コンピュータなどのICT機器をどのくらい使っていますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小4	45.7	42.0	9.7	2.7
小5	48.1	39.0	10.4	2.6
中1	43.3	43.2	11.2	2.3
中2	56.1	36.1	6.6	1.2



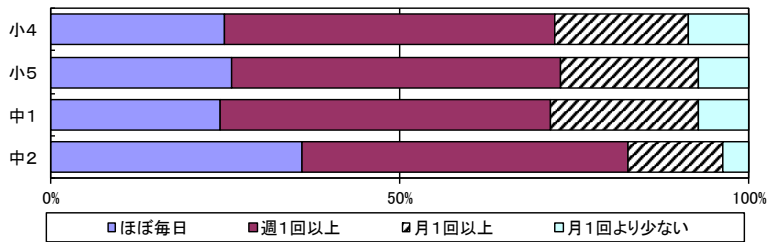
「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合



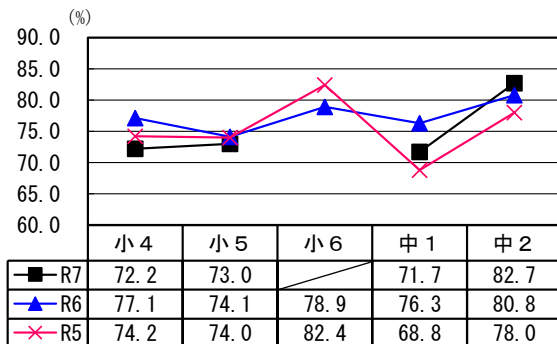
普段の授業で、コンピュータなどのICT機器を週1回以上使用していると回答した割合は、小学校では87%以上、中学校では86%以上である。中学校第2学年においては、この3年間で最も高い数値となっている。

[5-2] あなたは、学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どのくらい使っていますか

	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回より少ない
小4	24.9	47.3	19.2	8.7
小5	26.0	47.0	19.8	7.1
中1	24.4	47.3	21.0	7.3
中2	36.1	46.6	13.6	3.8



「ほぼ毎日」「週1回以上」の割合



学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、週1回以上使用していると回答した割合は、全ての学年で71%以上である。中学校第2学年においては、この3年間で最も高い数値となっている。

⑧ 各教科等の学習に対する意識について

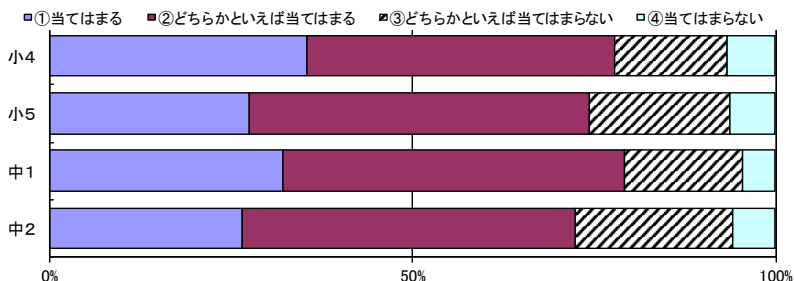
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小4	35.5	42.4	15.5	6.7
小5	27.6	46.7	19.4	6.3
中1	32.2	47.0	16.2	4.6
中2	26.6	45.9	21.6	5.9

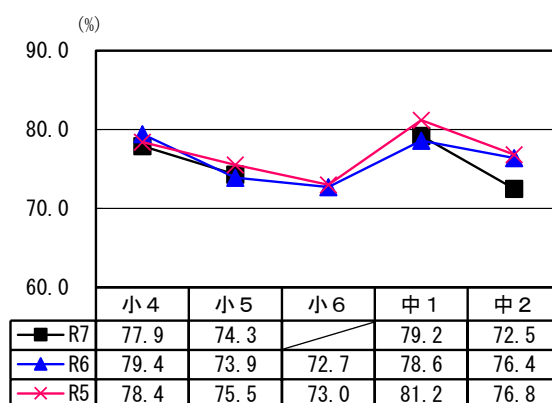


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

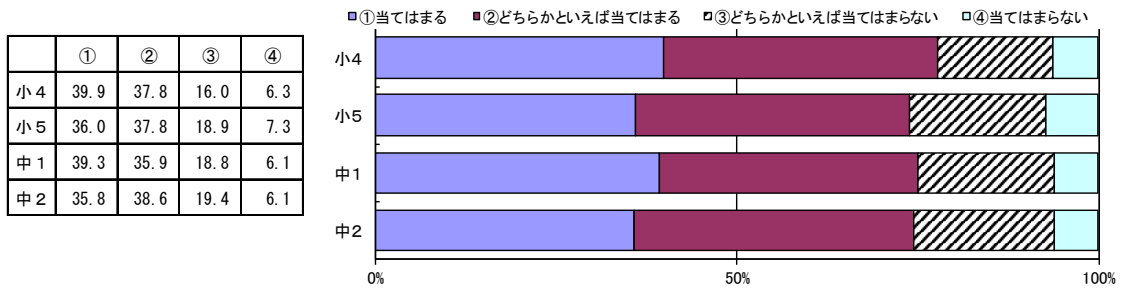
		小4	小5	中1	中2
「当てはまる」等と回答した理由	① 内容に興味がある	16.6%	15.6%	15.6%	16.5%
	② 分かりやすい	14.9%	12.5%	16.2%	12.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	13.4%	14.9%	17.0%	16.1%
	④ 生活の中で役立つ	9.3%	8.7%	8.5%	7.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	15.0%	12.7%	12.7%	11.0%
	⑥ 得意	6.7%	7.0%	7.1%	6.7%
「当てはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.6%	5.0%	5.1%	7.4%
	⑧ 分かりにくい	3.5%	4.4%	2.4%	3.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.2%	0.2%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.3%	0.2%	0.3%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.9%	2.9%	2.4%	3.3%
	⑫ 不得意	8.9%	11.1%	9.3%	11.4%
	⑬ その他	4.7%	4.8%	3.2%	3.7%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では74%以上、中学校では72%以上が肯定的な回答をしているが、小学校第4学年及び中学校第2学年においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、中学校第1学年では「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、小学校及び中学校第2学年においては、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、学年が上がるに従って「内容に興味がない」の割合が増加している。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

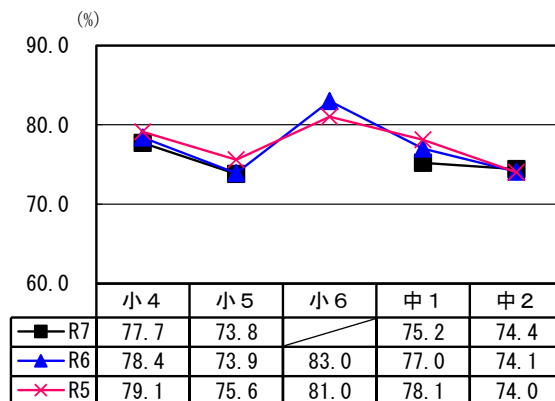


【理由】

％は全児童生徒に対する割合

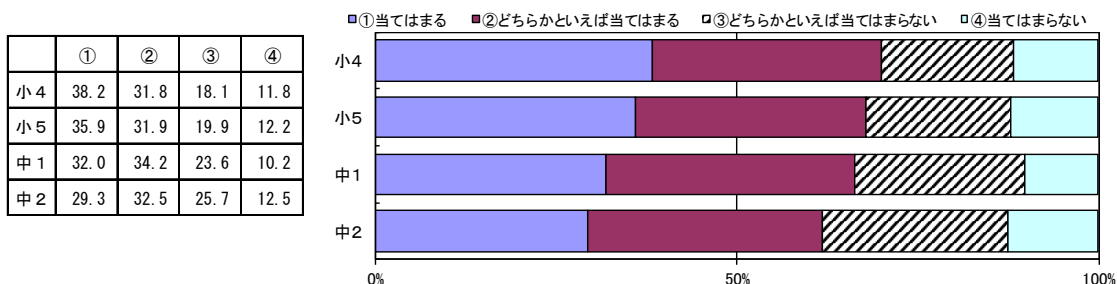
		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	18.9%	17.9%	33.0%	32.9%
	② 分かりやすい	10.2%	8.9%	10.0%	9.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	25.6%	25.8%	11.1%	10.3%
	④ 生活の中で役立つ	7.2%	6.4%	3.1%	3.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	9.1%	9.1%	11.5%	10.3%
	⑥ 得意	4.8%	4.7%	4.6%	6.6%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	4.0%	4.7%	4.1%	4.5%
	⑧ 分かりにくい	5.2%	5.4%	3.9%	4.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.2%	1.1%	1.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.3%	0.9%	1.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.3%	3.0%	1.7%	1.7%
	⑫ 不得意	7.9%	10.8%	12.2%	11.5%
	⑬ その他	3.9%	2.7%	2.8%	2.9%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では73%以上、中学校では74%以上が肯定的な回答をしている。小学校及び中学校第1学年においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小学校では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、中学校においては、「内容に興味がある」の割合が最も高くなっている。一方、小学校では「分かりにくい」の割合が他教科に比べて高い傾向にある。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

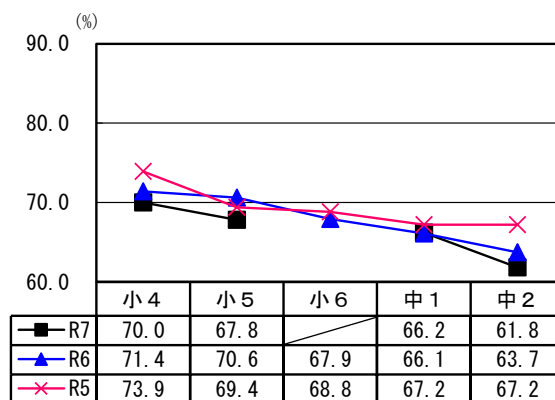


〔理由〕

％は全児童生徒に対する割合

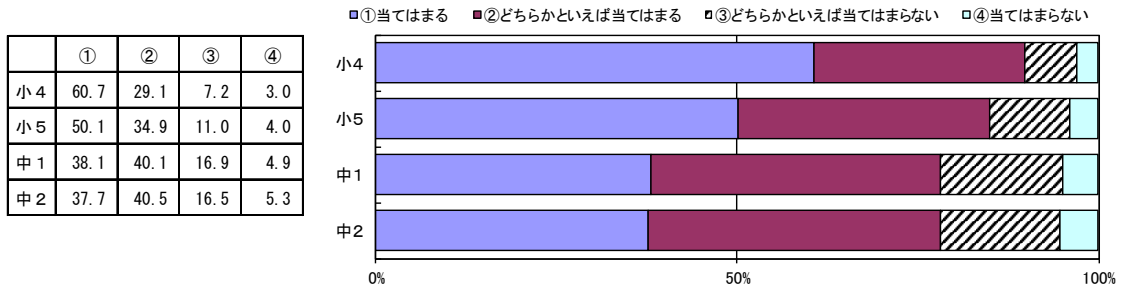
		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	8.5%	7.2%	7.9%	7.9%
	② 分かりやすい	11.4%	8.5%	9.3%	8.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	12.3%	14.4%	14.9%	11.3%
	④ 生活の中で役立つ	12.2%	10.6%	7.6%	5.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	13.0%	14.9%	15.8%	18.6%
	⑥ 得意	11.4%	11.4%	9.1%	9.0%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	2.6%	2.6%	2.8%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	7.4%	6.8%	4.8%	5.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.2%	0.5%	0.9%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.2%	0.5%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	4.8%	5.6%	4.7%	5.5%
	⑫ 不得意	12.7%	14.6%	20.0%	21.6%
	⑬ その他	3.3%	2.9%	2.1%	2.3%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では67%以上、中学校では61%以上が肯定的な回答をしているが、小学校及び中学校第2学年においては、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも、「将来、社会に出たときに役立つ」「考えるのが楽しい」の割合が高い。一方、全ての学年で「分かりにくい」の割合が他教科に比べて高い傾向にあり、中学校の「不得意」の割合は20%以上となっている。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

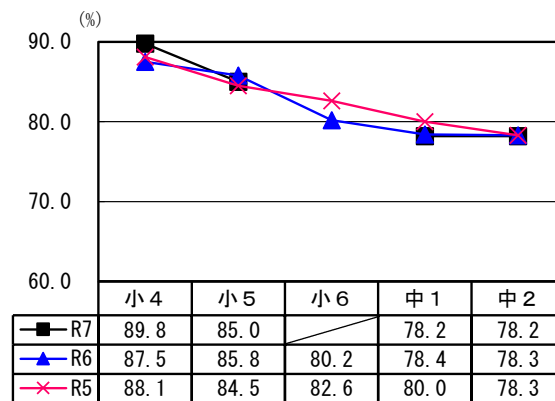


[理由]

％は全児童生徒に対する割合

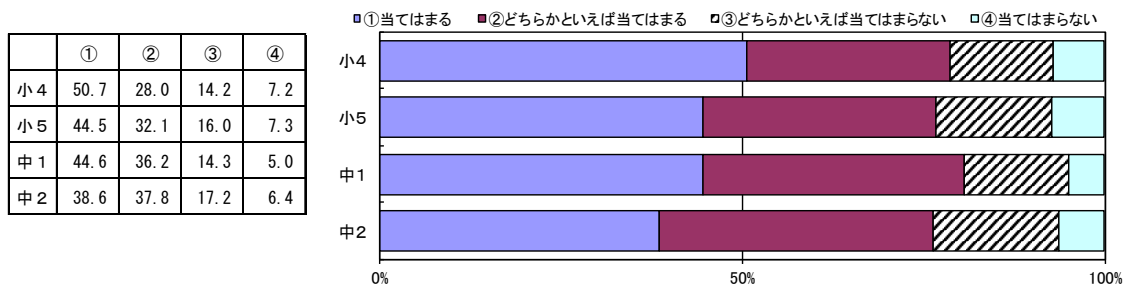
		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	30.1%	30.7%	30.3%	31.1%
	② 分かりやすい	11.6%	10.4%	8.2%	9.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.6%	4.1%	4.7%	4.6%
	④ 生活の中で役立つ	8.5%	7.2%	8.8%	8.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	22.2%	21.0%	18.4%	16.5%
	⑥ 得意	10.3%	8.8%	5.1%	6.7%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.9%	2.9%	3.3%	3.4%
	⑧ 分かりにくい	2.0%	3.0%	3.8%	4.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.8%	1.2%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.5%	0.5%	1.1%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.2%	1.6%	1.6%	2.1%
	⑫ 不得意	3.0%	4.7%	10.2%	9.6%
	⑬ その他	3.6%	4.3%	3.1%	2.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では85%以上、中学校では78%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。一方、「得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って減少傾向にあり、中学校では「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

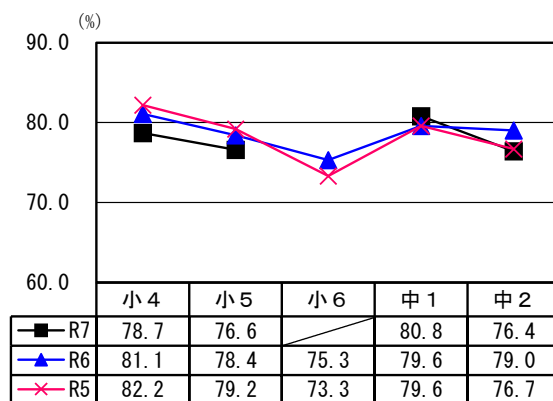


[理由]

％は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	21.4%	24.4%	33.6%	34.5%
	② 分かりやすい	13.6%	11.5%	11.1%	8.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.1%	1.6%	2.0%	1.6%
	④ 生活の中で役立つ	3.3%	2.6%	2.7%	2.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	9.6%	10.9%	14.0%	12.9%
	⑥ 得意	21.2%	18.4%	12.1%	10.8%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.3%	4.9%	4.5%	6.5%
	⑧ 分かりにくい	3.1%	2.3%	1.0%	1.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	1.6%	2.5%	2.7%	3.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	1.5%	1.4%	2.0%	2.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.7%	0.6%	0.8%	1.3%
	⑫ 不得意	9.0%	10.4%	7.4%	8.0%
	⑬ その他	9.6%	8.6%	6.1%	6.9%

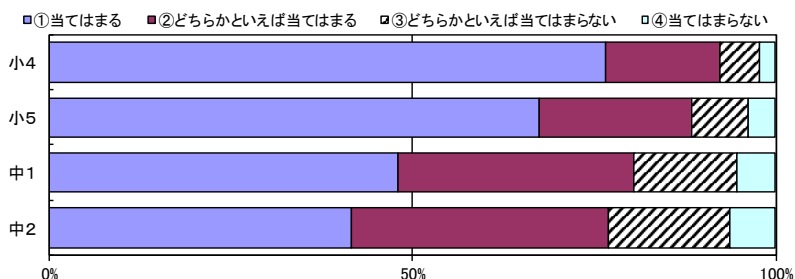
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小・中学校とも76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において「内容に興味がある」の割合が最も高く、学年が上がるに従って増加している。また、「考えるのが楽しい」の割合は小学校よりも中学校の方が高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

	①	②	③	④
小4	76.6	15.7	5.4	2.3
小5	67.5	21.0	7.7	3.8
中1	48.1	32.5	14.1	5.4
中2	41.5	35.4	16.7	6.3

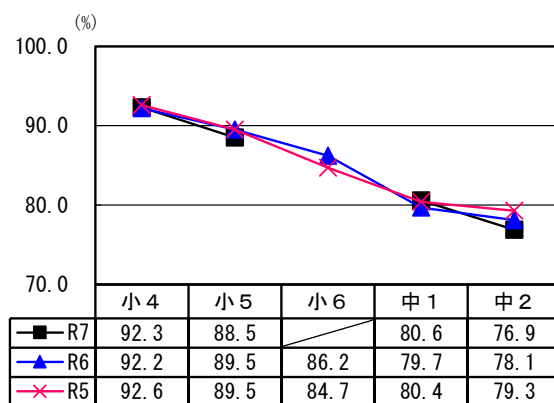


[理由]

％は全児童生徒に対する割合

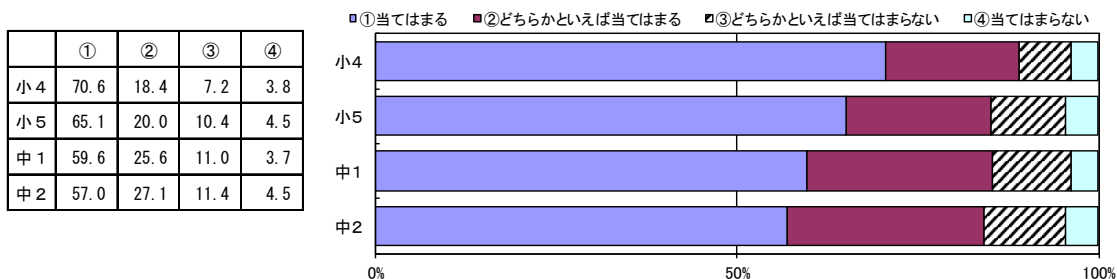
		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	24.7%	26.0%	29.3%	28.1%
	② 分かりやすい	5.7%	4.7%	7.4%	5.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	1.9%	1.7%	1.9%	1.7%
	④ 生活の中で役立つ	2.7%	2.3%	2.4%	2.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	27.1%	28.1%	23.1%	24.9%
	⑥ 得意	26.1%	21.4%	12.3%	10.9%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.0%	1.4%	3.2%	4.3%
	⑧ 分かりにくい	0.5%	0.6%	0.8%	0.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役に立たない	0.5%	0.9%	2.1%	2.2%
	⑩ 生活の中で役に立たない	0.4%	0.6%	1.4%	2.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.8%	1.1%	1.1%	1.7%
	⑫ 不得意	3.9%	6.1%	10.4%	11.1%
	⑬ その他	4.7%	5.0%	4.7%	5.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では88%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「考えるのが楽しい」の割合が高くなっている。一方、「得意」と回答した割合は、学年が上がるに従って減少しており、中学校第2学年では「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っている。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

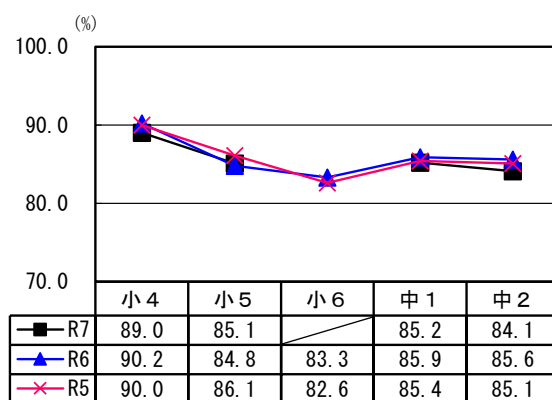


[理由]

％は全児童生徒に対する割合

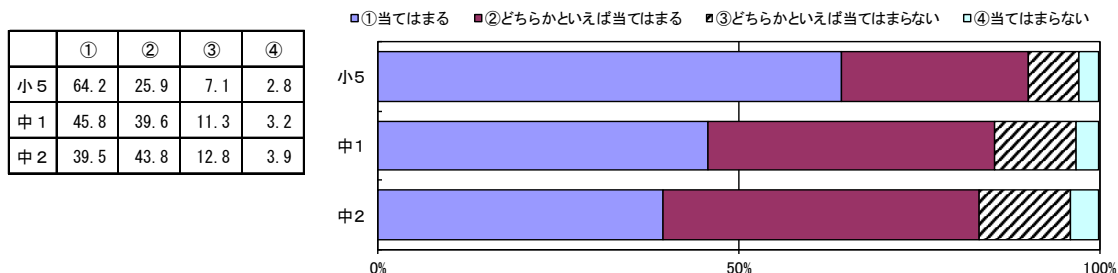
		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	22.1%	25.0%	27.1%	29.2%
	② 分かりやすい	6.6%	5.1%	6.5%	4.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.1%	3.7%	6.0%	4.6%
	④ 生活の中で役立つ	7.7%	5.8%	7.1%	7.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.3%	3.9%	6.7%	7.3%
	⑥ 得意	36.9%	34.9%	26.8%	26.2%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	0.9%	1.4%	1.5%	1.7%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.5%	0.2%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.7%	0.6%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.4%	0.3%	0.3%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.2%	0.2%	0.7%	0.5%
	⑫ 不得意	7.8%	11.0%	10.5%	11.9%
	⑬ その他	9.2%	7.9%	5.7%	5.3%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校では85%以上、中学校では84%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「得意」の割合が高くなっている。また、「内容に興味がある」の割合は小学校よりも中学校の方が高く、「得意」の割合は中学校よりも小学校の方が高くなっている。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

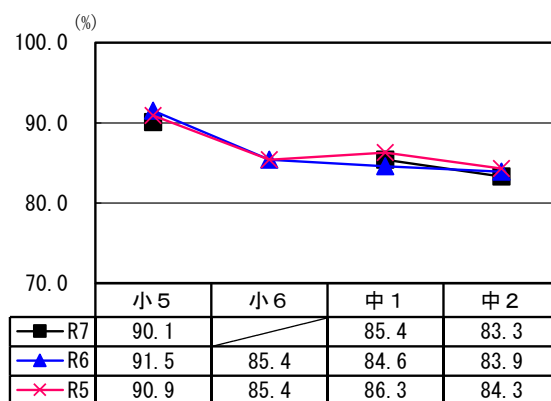


[理由]

％は全児童生徒に対する割合

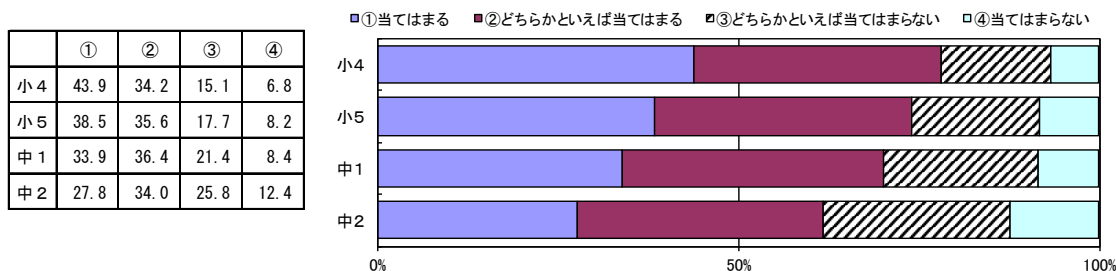
		小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	19.3%	21.8%	20.2%
	② 分かりやすい	4.7%	5.7%	5.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	19.9%	20.0%	20.6%
	④ 生活の中で役立つ	25.4%	19.0%	20.1%
	⑤ 考えるのが楽しい	5.5%	9.8%	9.0%
	⑥ 得意	12.8%	7.1%	6.3%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	1.8%	4.2%	5.1%
	⑧ 分かりにくい	1.2%	1.5%	1.5%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.4%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.6%	1.4%	1.6%
	⑫ 不得意	4.9%	6.0%	6.4%
	⑬ その他	3.3%	2.9%	3.0%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



小学校第5学年では90%以上、中学校では83%以上が肯定的な回答をしている。肯定的な回答の理由として、小・中学校とも「内容に興味がある」「将来、社会に出たときに役立つ」「生活の中で役立つ」の割合が高くなっている。

【外国語活動、外国語】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

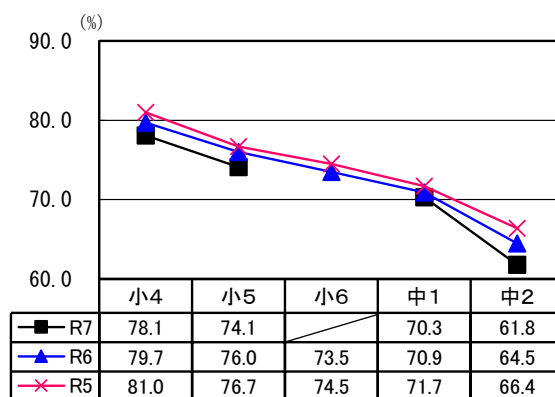


[理由]

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	中1	中2
回答した理由 「当てはまる」等と	① 内容に興味がある	12.8%	11.0%	10.6%	9.4%
	② 分かりやすい	10.7%	7.9%	7.4%	5.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	23.8%	27.8%	30.8%	28.2%
	④ 生活の中で役立つ	6.9%	5.5%	4.6%	4.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	12.9%	10.7%	6.8%	6.1%
	⑥ 得意	7.4%	8.5%	8.1%	6.5%
回答した理由 「当てはまらない」等と	⑦ 内容に興味がない	3.0%	3.3%	2.5%	3.7%
	⑧ 分かりにくい	6.3%	6.7%	5.0%	6.1%
	⑨ 将来、社会に出たときに役に立たない	0.3%	0.6%	0.7%	0.6%
	⑩ 生活の中で役に立たない	0.5%	0.7%	1.0%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.8%	2.0%	2.5%	2.8%
	⑫ 不得意	8.2%	10.6%	17.5%	23.1%
	⑬ その他	5.6%	4.8%	2.4%	2.5%

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



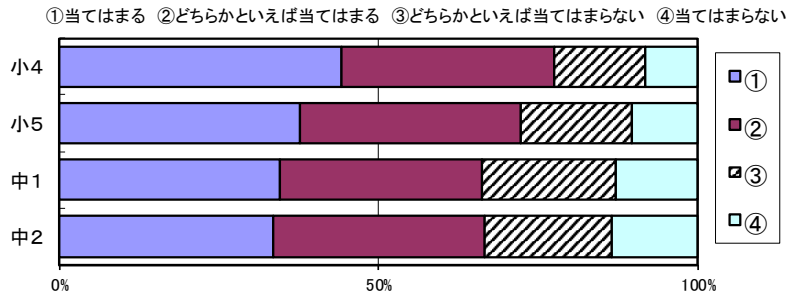
小学校では74%以上、中学校では61%以上が肯定的な回答をしているが、全ての学年において、この3年間で最も低い数値となっている。肯定的な回答の理由として、全ての学年において、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。一方、全ての学年で「分かりにくい」の割合が他教科に比べて高い傾向にあり、中学校第2学年の「不得意」の割合は20%以上となっている。

⑨ 読書について

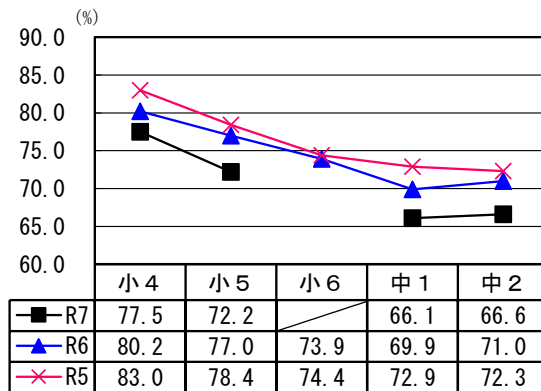
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[読書は好きだ]

	①	②	③	④
小4	44.1	33.4	14.2	8.3
小5	37.7	34.5	17.4	10.4
中1	34.5	31.6	21.1	12.8
中2	33.6	33.0	19.9	13.5

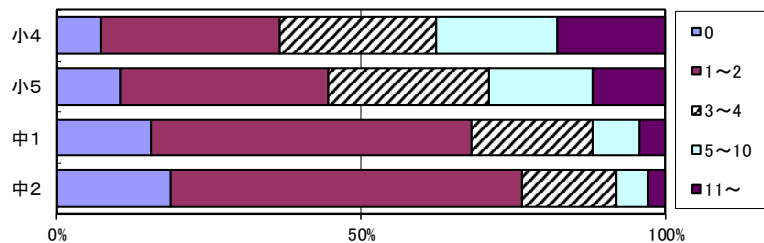


「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した割合の推移



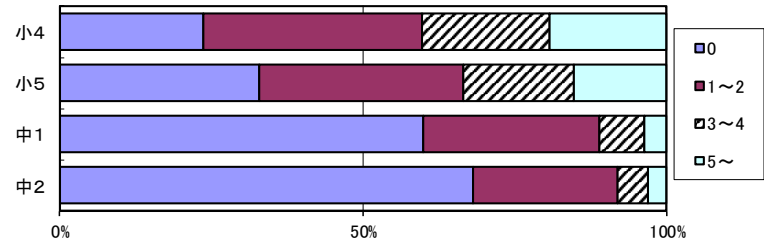
[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・漫画・雑誌や付録を除く)]

	0	1~2	3~4	5~10	11~
小4	7.3	29.3	25.8	19.8	17.8
小5	10.4	34.2	26.4	17.0	11.9
中1	15.5	52.6	20.0	7.6	4.3
中2	18.8	57.7	15.3	5.4	2.8



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]

	0	1~2	3~4	5~
小4	23.8	36.0	20.9	19.4
小5	32.9	33.5	18.2	15.3
中1	59.8	29.2	7.4	3.6
中2	68.0	24.0	5.0	3.0



全ての学年において、児童生徒の66%以上が読書は好きだと回答しているものの、この3年間で最も低い数値となっている。全ての学年の児童生徒の81%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、小学校では、1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が28%以上いる。図書館等を月1回以上利用している児童生徒の割合は、小学校ではおよそ7割程度、中学校では3割から4割程度である。

4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

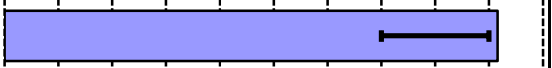
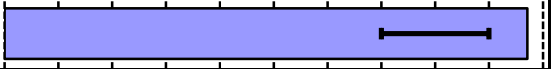

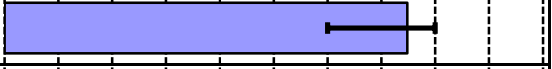

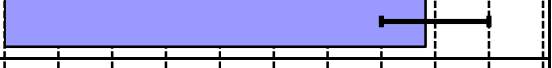
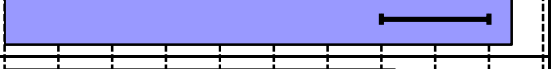
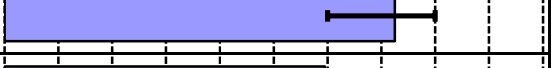
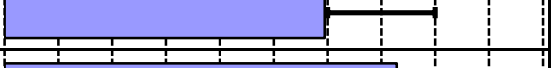


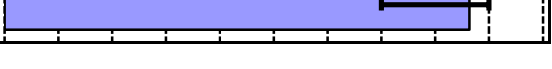
4 結果と考察 (1)国語


令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	
第 4 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (3・4年)	1)	○		
			2)	○		
		(1)カ (3・4年)	3)	○		
			4)	○		
	(3)エ (3・4年)	5)	○			
		6)	○			
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	B (1)ウ (3・4年)	12)		○	
			C (1)イ (3・4年)	7)		○
				8)		○
	C (1)エ (3・4年)	9)		○		
		10)		○		
			11)		○	

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

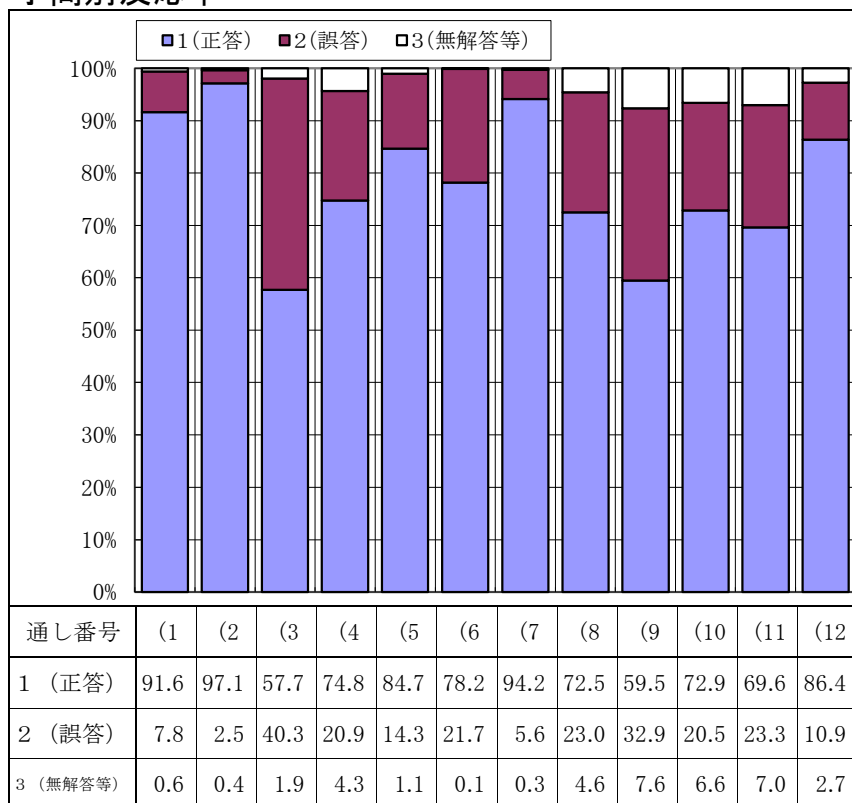
平均通過率 78.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (かいがん)	91.6	80.0	
(2)	漢字を読む (おそわる)	97.1	80.0	
(3)	漢字を書く (家族)	57.7	70.0	
(4)	漢字を書く (親しむ)	74.8	70.0	
(5)	接続する語句の働き	84.7	75.0	
(6)	文字の配列	78.2	80.0	
(7)	叙述を基に登場人物の行動を捉える	94.2	80.0	
(8)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	72.5	70.0	
(9)	叙述を基に登場人物の心情を捉える	59.5	70.0	
(10)	登場人物の心情の変化を捉える	72.9	70.0	
(11)	登場人物の心情の変化を捉える	69.6	70.0	
(12)	自分の好きな音と、その音が好きな理由を書く	86.4	80.0	

※  は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (172校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	40	87	5	20	39	17	59	16	4	14	14	41	
90%~100%	80	80	5	12	43	11	85	7	4	13	10	52	16
80%~90%	42	3	16	42	43	57	25	40	11	41	30	50	66
70%~80%	9	2	21	37	26	52	3	50	21	40	43	10	72
60%~70%	1		35	39	14	24		36	47	43	43	13	13
50%~60%			42	14	5	5		14	47	14	20	5	5
40%~50%			21	5	1	4		3	24	1	8	1	
30%~40%			12	1	1	2		4	6	5	1		
20%~30%			8	1				1	2				
10%~20%			3	1					3				
0%~10%			4					1	3	1	3		

小学校4年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	内 容 別			計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		
		書くこと	読むこと	
+10% より高い	2	0	1	3
±10% の範囲内	3	1	3	7
-10% より低い	1	0	1	2
計	6	1	5	12

2 考察

(1) 全体について

12問中10問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、学年別配当表に示されている漢字を正しく読み、接続する語句の働きを理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、登場人物の行動を叙述を基に捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [知識及び技能] では、学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく書くことについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、登場人物の気持ちを叙述を基に捉えることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

【思考力、判断力、表現力等】の各領域の学習と関連を図りながら、文や文章の中で漢字を正しく読んだり、書いたりすることができるよう指導の充実を図る。

- ・当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使おうとする習慣が身に付くようにする。
- ・【思考力、判断力、表現力等】の各領域の学習と関連を図り、実際に漢字を読んだり書いたりする機会を意図的に設定することが大切である。例えば、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えを書く際、漢字辞典や1人1台端末を用いて漢字の読みや意味などを調べる活動を積極的に取り入れることが考えられる。

【参考 通し番号 3】

2 次の①、②の文の――部を漢字に直して、の中に書きなさい。

① かぞく旅行の計画を立てる。

登場人物の気持ちについて、叙述に基づき具体的に捉えることができるよう指導の手立てを工夫する。

- ・登場人物の行動や会話、地の文などの叙述を基に捉えることが大切である。行動や気持ちなどを捉える際には、登場人物の境遇や性格なども重要な要素になり、物語全体を見通して、複数の叙述を基に行動や気持ちなどを捉えることが重要である。
- ・指導に当たっては、登場人物の行動や会話などを手掛かりとして、「何が書かれているか」という内容面だけでなく、登場人物の話し方や声の調子、表情、視線の方向などにも想像を広げ、児童が話したり書いたりしながら考えを伝え合う活動が有効である。また、児童が語句の意味について理解した上で、自らの表現に生かす活動を繰り返し指導計画に位置付けるなどして、児童の理解語彙だけでなく使用語彙を継続的に増やしていくことが大切である。

【参考 通し番号 9】

3 メイがおこっている――とありますが、メイがおこっているのはなぜですか。次の文のに当てはまる内容を、①には五字で、②には六字で、本文中からそれぞれぬき出して書きなさい。

ガブが、メイの気持ちを聞いてもないのに、メイを①にもどそうと考えて、メイをこわがらせるような②をしたから。

令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	
第 5 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)エ (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
				2)	○	
			・第4学年までに配当されている漢字を正しく書いている。	3)	○	
				4)	○	
	(1)エ (5・6年)	・漢字のもつ意味を考えて文の中で使っている。	5)	○		
	(3)ウ (5・6年)	・漢字の成り立ちについて理解している。	6)	○		
	(1)カ (3・4年)	・接続する語句の働きについて理解している。	7)	○		
	(1)カ (3・4年)	・語句相互の関係に気を付けて、主語と述語の関係を理解している。	8)	○		
	(3)イ (3・4年)	・慣用句の意味を理解している。	9)	○		
学 年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (5・6年)	・「話すこと・聞くこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	10)		○
		A (1)オ (3・4年)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	11)		○
		B (1)ウ (5・6年)	・「書くこと」において、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	16)		○
		C (1)ア (5・6年)	・「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。	12)		○
				13)		○
C (1)ウ (5・6年)	・「読むこと」において、必要な情報を見付け、論の進め方について考えている。	15)		○		

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

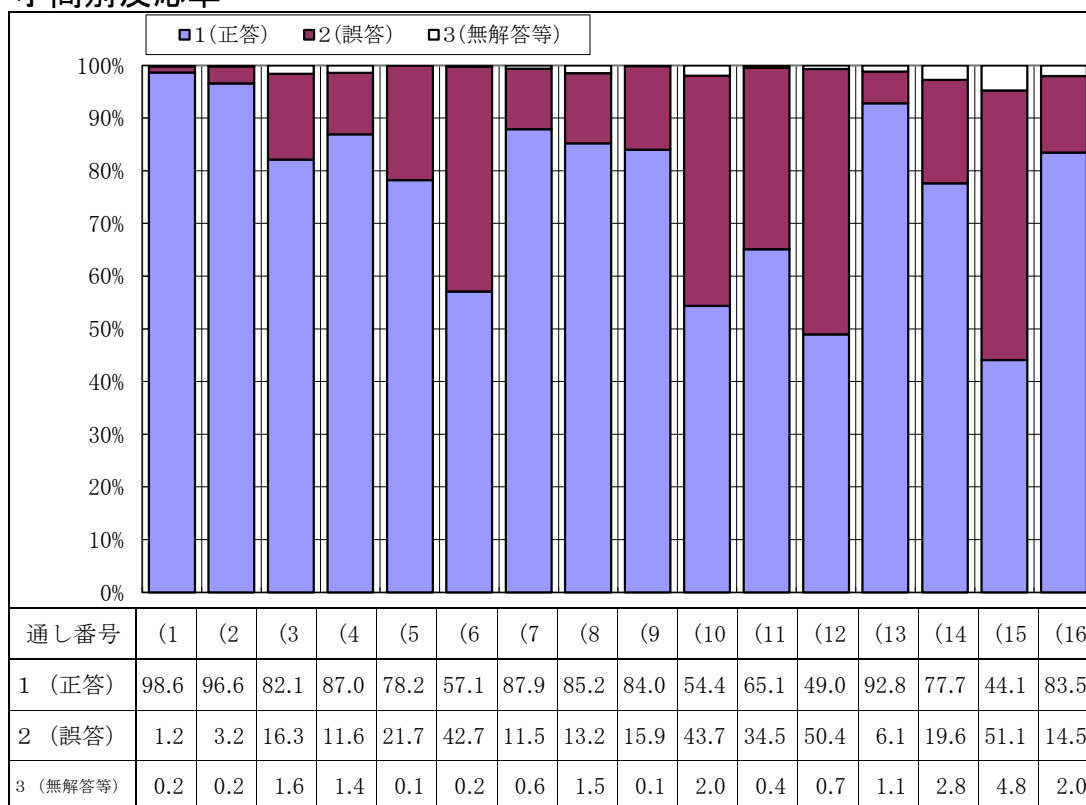
平均通過率 76.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (きよか)	98.6	80.0	
(2)	漢字を読む (つげる)	96.6	80.0	
(3)	漢字を書く (野菜)	82.1	80.0	
(4)	漢字を書く (続く)	87.0	80.0	
(5)	同音の使い分け	78.2	80.0	
(6)	漢字の成り立ち	57.1	70.0	
(7)	接続する語句の働き	87.9	80.0	
(8)	主語・述語の関係	85.2	80.0	
(9)	慣用句の理解	84.0	80.0	
(10)	話の内容を捉える	54.4	70.0	
(11)	話の共通点を捉える	65.1	70.0	
(12)	文章全体の構成を捉える	49.0	70.0	
(13)	叙述を基に内容を捉える	92.8	70.0	
(14)	叙述を基に内容を捉える	77.7	70.0	
(15)	必要な情報を見付け, 論の進め方を考える	44.1	70.0	
(16)	自分や学級の成長を実感したことについて書く	83.5	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (170校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	118	80	12	29	8	4	43	31	25	1	3		47	11	5	38	
90%~100%	45	78	25	43	13	1	53	36	32	4	4		74	18	7	44	3
80%~90%	7	9	74	72	56	8	39	59	63	7	13	1	41	52	18	43	49
70%~80%		3	38	16	61	18	22	33	33	15	42	9	6	54	29	20	97
60%~70%			13	9	22	43	11	7	16	33	57	22	1	25	25	5	19
50%~60%			7	1	9	55	2	3	1	56	36	51	1	8	14	11	2
40%~50%			1		1	22		1		28	9	50		2	5	5	
30%~40%						12				18	2	25			6	2	
20%~30%						5				6	3	8			7	1	
10%~20%						1				1		3			16	1	
0%~10%						1				1	1	1			38		

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	0	0	1	3
±10%の範囲内	6	1	1	1	9
-10%より低い	1	1	0	2	4
計	9	2	1	4	16

2 考察

(1) 全体について

16問中12問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

- ① [知識及び技能] では、慣用句の意味や接続する語句の働きを理解することについて、指導の成果が見られる。
- ② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、叙述を基に文章の内容を適切に捉えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① [思考力、判断力、表現力等] の「話すこと・聞くこと」では、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることについて、課題が見られる。
- ② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、目的に応じて必要な情報を見付け、論の進め方を考えることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができるよう指導の充実を図る。

- ・話を聞いて考えをまとめるには、互いの意見を比較し、異なるときには、それぞれの考えがどのような根拠に基づいているのかに目を向けさせることが重要である。
- ・指導に当たっては、話し合いが目的に応じて適切に進行するよう、参加者の発言の共通点や相違点を整理したり、それぞれの考えの基になっている事柄を確かめたりする活動を取り入れることが有効である。例えば、1人1台端末を活用し、発言やその関係を図や表に整理して視覚化し共有したり、話し合いの目的や方向性を確認する場面を設定したりするなど、意見の共通点や相違点を捉えながら話し合いをまとめていく方法を指導する手立てが考えられる。

【参考 通し番号 11】
2 あきらさんの進行のしかたについて説明したものととして、最もふさわしいものを、次のア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

〈選択肢は略〉

必要な情報を見付け、論の進め方について捉えることができるよう指導の工夫を図る。

- ・必要な情報を見付け、論の進め方を捉えるには、読む目的を明確にし、文章の中から必要な情報を取捨選択したり整理したり再構成したりすること、書き手がどのように論を進めているのかや図表などが文章のどの部分と結び付いているのかに着目させることが大切である。
- ・例えば、書き手の述べたいことや内容のまとまりを押さえながら、中心となる考えに関わる情報を整理する、理由や事例の関係を図示する、情報のつながりを表にまとめるなどの学習活動を通して、論の進め方を捉えることが考えられる。

【参考 通し番号 15】
3 次は、おとはさんとこうたさんが、本文について話し合っている様子です。これを読んで、①に当てはまる内容を、本文中から5字でぬき出して書きなさい。また、②に入るふさわしい内容を、二十字以内で書きなさい。

〈話し合っている様子は略〉

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
第 1 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)イ (中1)	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を正しく読んでいる。	1)	○	
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	2)	○	
				3)	○	
				4)	○	
		(3)ウ (小3・4)	・漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。	5)	○	
		(1)オ (中1)	・比喩、反復、体言止めなどの表現の技法について理解している。	6)	○	
		(1)カ (小5・6)	・文の中での語句の係り方について理解している。	7)	○	
		(1)エ (中1)	・文節の区切り方について理解している。	8)	○	
		(3)イ (小3・4)	・慣用句の意味を理解している。	9)	○	
		(3)エ (中1)	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解している。	10)	○	
年	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A(1)ウ (小5・6)	・「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	11)		○
		A(1)ア (中1)	・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	12)		○
		B(1)ウ (中1)	・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○
		C(1)エ (中1)	・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。	14)		○
		C(1)ア (中1)	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握している。	13)		○
		C(1)ウ (中1)	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	15) 16) 17)		○ ○ ○

中学校 1 年 国語 小問別通過率と設定通過率

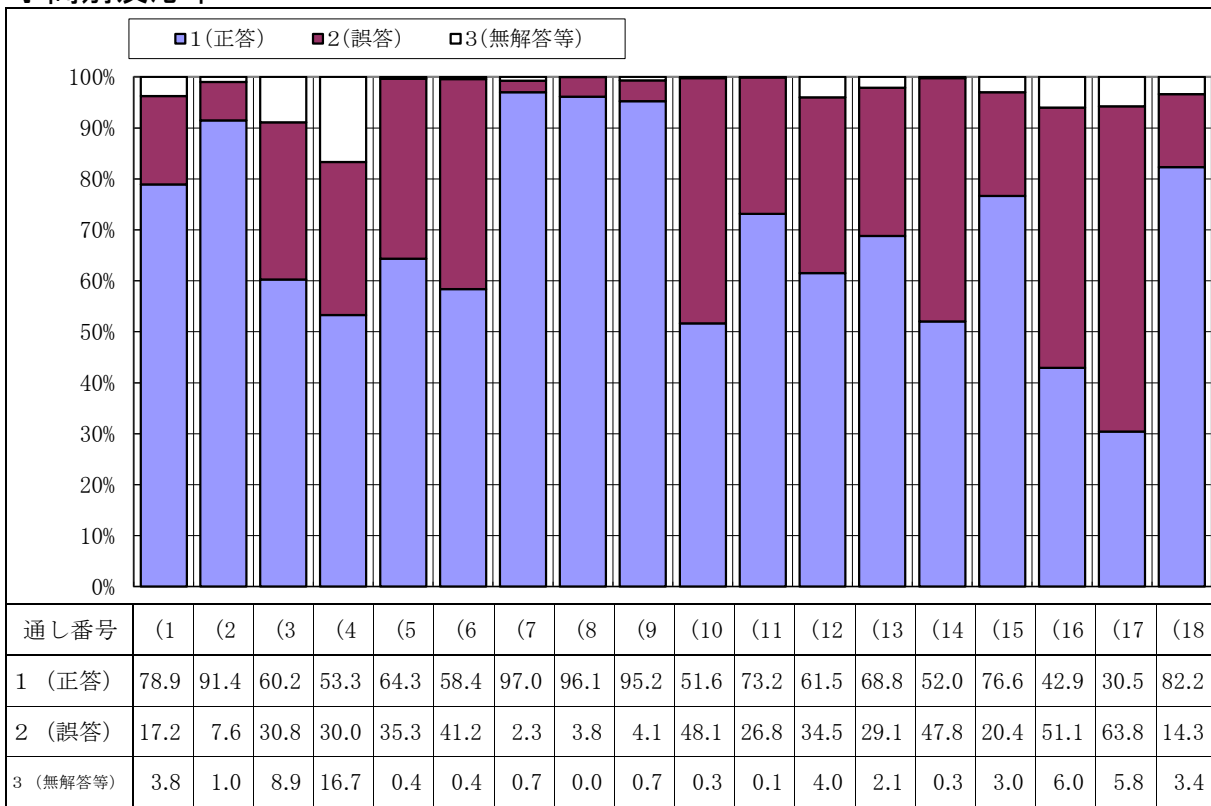
平均通過率 68.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (めいろう)	78.9	80.0	
(2)	漢字を読む (もうける)	91.4	80.0	
(3)	漢字を書く (推進)	60.2	70.0	
(4)	漢字を書く (除いて)	53.3	70.0	
(5)	部首	64.3	70.0	
(6)	表現の技法	58.4	70.0	
(7)	主語・述語の関係	97.0	80.0	
(8)	文節の分け方	96.1	80.0	
(9)	慣用句の理解	95.2	80.0	
(10)	行書の特徴	51.6	70.0	
(11)	話し方の工夫を捉える	73.2	80.0	
(12)	話の内容を捉える	61.5	70.0	
(13)	叙述を基に要旨を把握する	68.8	70.0	
(14)	文章の構成を捉える	52.0	60.0	
(15)	叙述を基に要旨を把握する	76.6	70.0	
(16)	必要な情報に着目し、文章の内容を捉える	42.9	60.0	
(17)	必要な情報に着目し、文章の内容を捉える	30.5	60.0	
(18)	地域との関わり方について、自分の考えを書く	82.2	80.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	7	23	1	1	4	3	44	37	25	1	7	6	6		7	2	1	10	
90%~100%	14	53	1	1	4	1	59	66	67	1	6	4	12	1	7		4	31	1
80%~90%	33	26	5	6	9	6	3	3	13	3	7	12	15	2	18	2	3	29	6
70%~80%	33	4	12	6	20	9			1	7	59	22	11	4	53	5	6	19	33
60%~70%	17		32	15	32	31				15	22	23	35	14	18	7	1	11	62
50%~60%	1		36	38	24	35				28	3	14	16	35	2	14	4	4	3
40%~50%			10	21	10	10				37	2	15	6	40		30	3	1	1
30%~40%			7	14	2	8				10		4	3	6		32	17	1	
20%~30%				1		1				2		4	1	2		10	45		
10%~20%						1						2				2	18		
0%~10%	1		2	3	1	1				2			1	2	1	2	4		

中学校 1 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	4	0	0	0	4
±10%の範囲内	3	2	1	3	9
-10%より低い	3	0	0	2	5
計	10	2	1	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中 5 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。

(2) 成果

〔知識及び技能〕では、文の中での語句の係り方や文節の区切り方を理解することについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① 〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに、課題が見られる。

② 〔思考力、判断力、表現力等〕の「読むこと」では、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えるための学習活動を工夫する。

- ・ 説明的文章の構成や展開について考えるためには、文章の組立てを捉え、その構成を理解するだけでなく、考えの進め方に沿って文章の流れを捉え、その展開を把握することが求められる。文章全体及び部分における構成や展開を把握した上で、なぜそのような構成や展開になっているのか、そのことがどのような効果につながるのかなど、自分なりに意味付けられるようにすることが重要である。
- ・ 文章全体の構成を捉えるためには、文章の各部分だけを取り上げるのではなく、全体を通してどのように構成されているのかを正確に捉えることが重要である。

〔参考 通し番号 14〕
2
7 段落の役割について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、記号を書きなさい。

〈選択肢は略〉

目的に応じて必要な情報に着目して要約したり、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈する学習活動を工夫する。

- ・ 要約は、概略を理解するために文章全体を短くまとめたり、情報を他者に伝えるために必要な部分を取り出してまとめたりするなど、その目的や必要に応じて内容や文章、方法が異なる。
- ・ 指導に当たっては、目的に応じて必要な情報を適切に取り出してまとめられているか、自分の言葉を用いてまとめた部分と文章の内容とに隔たりがないかなどを確認しながら、適切さや正確さを意識して要約することができるよう指導することが大切である。

〔参考 通し番号 16〕
4 このみさんとあきらさんは、本文の内容について話しています。これを読んで、後の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) **A** に当てはまる内容を、本文中から八字で抜き書きしなさい。

〈話し合いの様子は略〉

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現		
第 2 学 年	知 識 及 び 技 能	(1)ウ (中2)	・中学校第1学年までに学習した常用漢字を正しく読んでいる。	4)	○		
				5)	○		
			・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)	○		
				7)	○		
		(1)エ (中2)	・対義語について理解し、文章の中で使っている。	8)	○		
		(1)エ (中1)	・文節の区切り方について理解している。	9)	○		
		(1)ウ (中1)	・慣用句の意味を理解している。	10)	○		
		(1)オ (中2)	・単語の働きについて理解している。	11)	○		
		(3)ア (中1)	・歴史的仮名遣いについて理解している。	12)	○		
	思 考 力 、 判 断 力 、 表 現 力 等	A (1)エ (中2)	・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。	1)		○	
				2)		○	
				3)		○	
B (1)ウ (中2)		・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	18)		○		
			C (1)ウ (中1)	・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付け、内容を解釈している。	13)		○
			14)			○	
C (1)イ (中2)	・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考え、内容を解釈している。	16)		○			
		17)		○			
C (1)エ (中2)	・「読むこと」において、表現の効果について考えている。	15)		○			

中学校 2 年 国語 小問別通過率と設定通過率

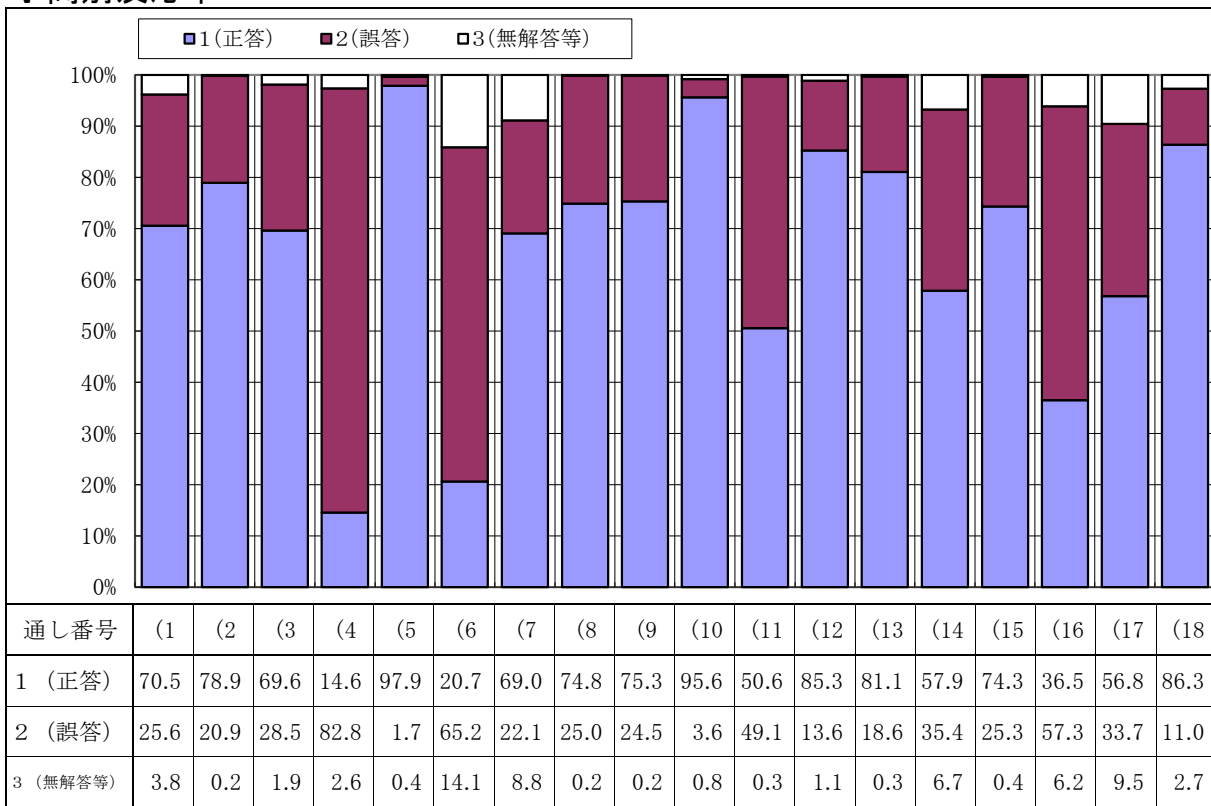
平均通過率 66.4%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	論理の展開に着目して聞き取る	70.5	80.0	
(2)	論理の展開に着目して聞き取る	78.9	80.0	
(3)	論理の展開に着目して聞き取る	69.6	70.0	
(4)	漢字を読む (にゅうわ)	14.6	70.0	
(5)	漢字を読む (つく)	97.9	80.0	
(6)	漢字を書く (操縦)	20.7	70.0	
(7)	漢字を書く (敬う)	69.0	70.0	
(8)	対義語の理解	74.8	70.0	
(9)	文節の分け方	75.3	70.0	
(10)	慣用句の理解	95.6	80.0	
(11)	単語の類別	50.6	70.0	
(12)	歴史的仮名遣いの理解	85.3	80.0	
(13)	文章 (古文) の内容を解釈する	81.1	80.0	
(14)	場面と描写などを結び付け、内容を解釈する	57.9	70.0	
(15)	表現の効果を捉える	74.3	70.0	
(16)	登場人物の言動の意味を捉え、内容を解釈する	36.5	60.0	
(17)	登場人物の言動の意味を捉え、内容を解釈する	56.8	60.0	
(18)	名言を一つ選び、選んだ理由を経験と関連付けて書く	86.3	80.0	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	1	3	6	1	57		3	3	8	33	2	13	10	1	4			14	
90%~100%	17	3	8	1	49		1	5	12	63		29	12	1	1			37	
80%~90%	37	47	17	1		1	17	19	32	9	2	41	45	8	24		2	38	2
70%~80%	22	40	27			1	41	48	29	1	9	14	30	14	54	1	17	11	32
60%~70%	6	11	28	6		3	30	25	18		17	7	8	26	17	5	29	3	62
50%~60%	7	1	12			4	9	5	5		24	1		35	3	13	34		9
40%~50%	8		7	4		5	3		1		23			15	1	18	14	1	
30%~40%	3	1	1	6		7	2	1			18	1	1	5	1	37	4	1	1
20%~30%	3			13		24					4				1	25	4		
10%~20%	1			20		37					4					3			
0%~10%	1			54		24			1		3			1		4	2	1	

中学校 2 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	内 容 別				計
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			
		話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	
+10%より高い	2	0	0	0	2
±10%の範囲内	4	3	1	3	11
-10%より低い	3	0	0	2	5
計	9	3	1	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中 5 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。

(2) 成果

① [知識及び技能] では、慣用句の意味や歴史的仮名遣いを理解することについて、指導の成果が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、表現の効果を考えることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

① [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、場面と場面、場面と描写などを結び付け、内容を解釈することについて、課題が見られる。

② [思考力、判断力、表現力等] の「読むこと」では、登場人物の言動の意味などを考え、内容を解釈することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

場面と場面を結び付けたり、各場面と登場人物の心情や行動、情景等の描写とを結び付けたりして、場面や描写に新たな意味付けを行う指導の充実を図る。

- ・ 文学的文章を読む際には、個々の場面や描写から分かることを把握するだけでなく、複数の場面と描写を結び付けて内容を解釈できるようにすることが大切である。特に、作品中の比喩や抽象的な表現などに着目し、具体的な表現に置き換えて考え、内容を解釈していく力を身に付けられるようにすることが求められる。
- ・ 指導に当たっては、登場人物の心情の変化について、各場面と心情や行動、情景等の描写とを結び付けて解釈し、自分の解釈と他の読み手の解釈とを比較し合うことで、生徒が内容や形式に新たな意味付けができるよう指導することが大切である。

登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈する指導の充実を図る。

- ・ 登場人物の言動の意味などについて考えるには、登場人物の言葉や行動が、話の展開にどのように関わっているかを考えることが大切である。
- ・ 例えば、本問で取り上げたような特徴的な表現に着目し、その理由や背景について、文章中の叙述を根拠に話し合うことが大切である。その際、登場人物の設定を描写と関連付けたり、作品の構成や伏線を描写と関連付けたりしながら、表現に即して内容を深く解釈できるようにすることが効果的である。

「参考 通し番号 14」
1 音楽からずいぶん遠い場所に立っているが表していることについて、次のようにまとめました。() に当てはまる内容を十字以内で書きなさい。

〈まとめた内容は略〉

「参考 通し番号 16」
3 はつとしたとありますが、その理由について次のようにまとめました。() に当てはまる内容を本文中から十一文字で探し、始めの四字を書きなさい。

〈まとめた内容は略〉

4 結果と考察 (2) 社会

令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
第4学年	(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(1)	○	
	(1)	・地図帳を活用して、都道府県についての情報を集め、適切に読み取っている。	(2)	○	
第3学年	(1)	・地図記号と縮尺に関する基礎的な知識を活用して、地図を適切に読み取っている。	(3)	○	
	(1)	・地図記号に着目し、地域の土地利用について、適切に表現している。	(4)		○
	(2)	・販売に携わっている人々の仕事に見られる工夫について、資料から読み取り、適切に表現している。	(5)		○
第4学年	(1)	・秋田県の地形の様子について、資料から読み取り、適切に表現している。	(6)		○
	(1)	・秋田県の地形と人口が多い都市の位置との関連について資料から読み取り、適切に表現している。	(7)		○
	(3)	・自然災害から人々を守る活動について、資料を基に考え、適切に判断している。	(8)		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について、資料を適切に読み取っている。	(9)	○	
	(2)	・廃棄物を処理する事業に関わる関係機関や人々の取組について、資料から読み取り、適切に判断している。	(10)		○
	(2)	・廃棄物を処理する事業について、ごみの減量に関わって自分たちにできることを、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(11)		○
第5学年	(1)	・我が国の国土の構成や領土の範囲について理解し、その知識を身に付けている。	(12)	○	
	(1)	・世界における我が国の国土の位置について理解し、その知識を身に付けている。	(13)	○	
	(2)	・我が国の農業の現状について、資料を適切に読み取っている。	(14)	○	
	(2)	・我が国の農業の課題に対する取組について、資料を基に考え、適切に表現している。	(15)		○
	(2)	・我が国の食料生産の現状について、資料を適切に読み取っている。	(16)	○	
	(2)	・我が国における食料自給率低下の理由を資料を基に考え、適切に表現している。	(17)		○
	(2)	・我が国の食料生産について、消費者や生産者の立場から多角的に考え、適切に判断している。	(18)		○

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

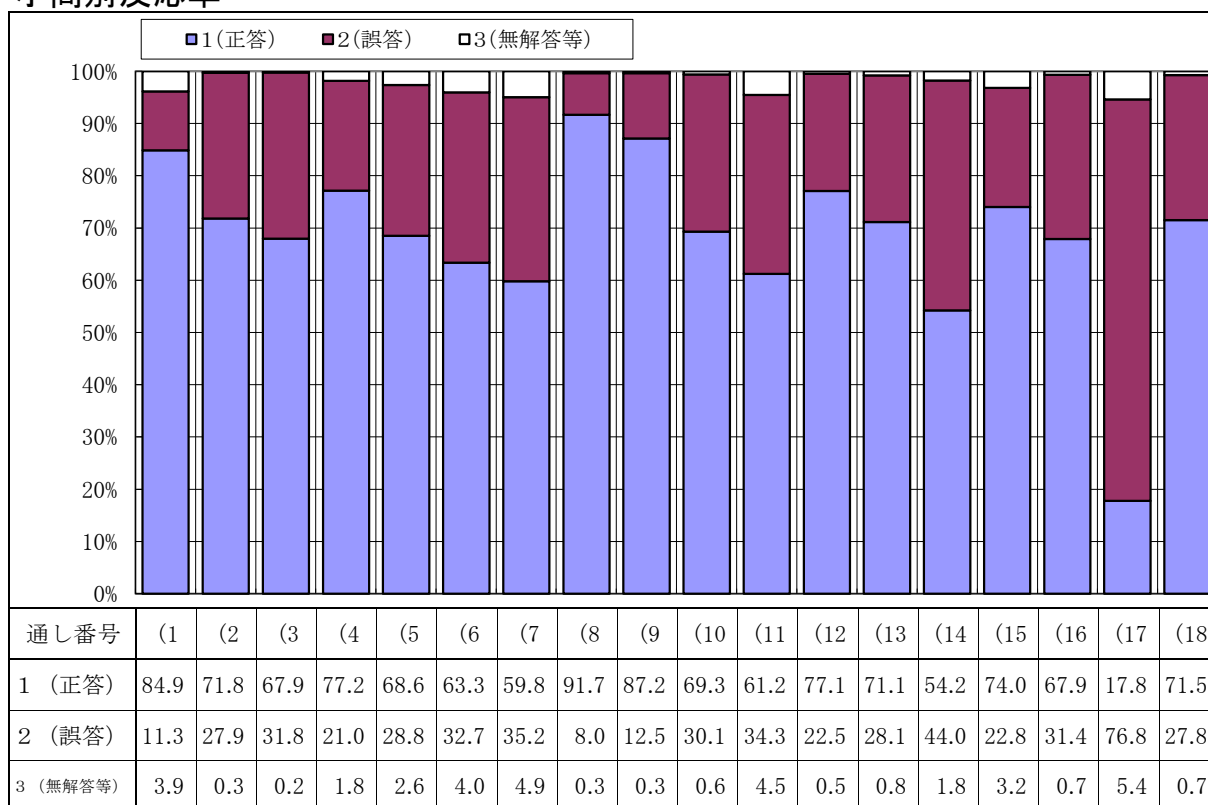
平均通過率 68.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の活用	84.9	80.0	
(2)	地図帳の総合的な活用	71.8	70.0	
(3)	地図記号と縮尺	67.9	70.0	
(4)	土地利用の場所による違い	77.2	65.0	
(5)	販売に携わる人々の工夫	68.6	70.0	
(6)	秋田県の地形	63.3	65.0	
(7)	秋田県の地形と都市	59.8	65.0	
(8)	災害から人々を守る活動	91.7	80.0	
(9)	廃棄物を処理する事業	87.2	75.0	
(10)	廃棄物を処理する事業	69.3	75.0	
(11)	廃棄物を処理する事業	61.2	65.0	
(12)	我が国の範囲	77.1	80.0	
(13)	我が国の位置	71.1	70.0	
(14)	我が国の農業の特色	54.2	60.0	
(15)	我が国の農業の特色	74.0	60.0	
(16)	我が国の食料生産	67.9	75.0	
(17)	我が国の食料生産	17.8	60.0	
(18)	我が国の食料生産	71.5	75.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (170校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	23	6	6	18	12	11	4	37	23	3	4	18	8	2	10	5	1	8	
90%~100%	36	9	5	28	13	5	3	75	52	3	13	18	12	2	25	3		9	1
80%~90%	73	41	29	51	37	19	20	50	63	24	28	54	33	7	44	26		26	24
70%~80%	29	42	46	42	38	30	28	6	25	49	32	43	53	14	38	44	4	55	64
60%~70%	2	51	38	19	29	44	38	1	4	60	28	21	32	25	27	63	5	48	62
50%~60%	6	16	30	7	25	32	38	1	3	23	26	12	21	57	18	19	8	17	17
40%~50%	1	3	6	3	13	21	23			6	11	2	6	36	5	6	8	3	2
30%~40%			8	1	1	5	9			1	4		4	21	3	3	12	3	
20%~30%			1		2	2	4			1	6	1	1	4		1	31	1	
10%~20%		1	1				2				11			1			38		
0%~10%		1		1		1	1				7	1		1			63		

小学校5年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	3・4年	地理的内容	
+10%より高い	1	3	3	1	4
±10%の範囲内	7	6	8	5	13
-10%より低い	0	1	0	1	1
計	8	10	11	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中17問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①地図記号に着目し、地域の土地利用の様子を適切に表現することについて、指導の成果が見られる。

②世界における我が国の国土の位置を理解し、その知識を身に付けることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①我が国の農業の現状の学習において、資料を適切に読み取ることに課題が見られる。

②我が国における食料自給率低下の理由について、資料を基に考え、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

社会的事象の見方・考え方を働かせ、資料から読み取ったことを基に、社会的事象の特色や相互の関連を説明したり表現したりする活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(16、(17、(18を例として]

我が国の食料生産の概要と課題を捉える学習において、児童が資料から読み取った事実を基に社会的事象の特色や相互の関連を見いだせるよう、資料提示や発問を工夫する。

○具体例

1 図1、図2を読み取り、学習問題を設定する。

[発問例]

- ・図1から、現在の日本の食料自給率は他の3か国と比べてどのような特色がありますか。
- ・(図1の読み取りを踏まえて)図2で、日本の肉類の生産量に当たるのは、**A**、**B**のどちらでしょうか。

<学習問題の例>

国内の食料生産を発展させていくために、どのような取り組みが考えられるだろうか。

2 消費者と生産者それぞれの立場から、食料生産を発展させるための取り組みを調べ、まとめる。

(例)

国内の食料生産を発展させていくための取り組み

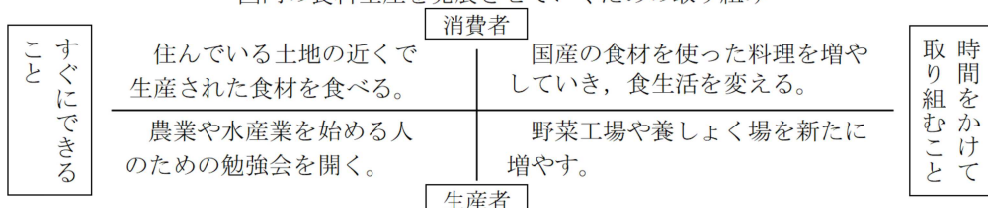


図1 4か国の食料自給率

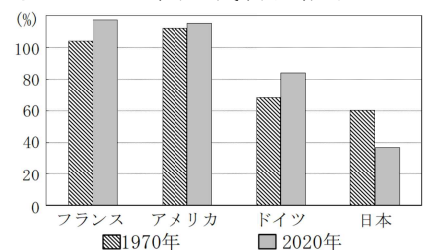
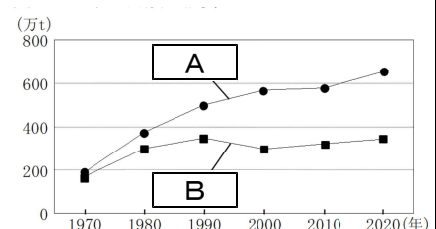


図2 日本の肉類の消費量と生産量



学年・分野	内 容	評 価 規 準	通 じ 番 号	観 点	
				知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
小学校第6学年	(1)	・ 国民主権の基本的な考え方について、資料から適切に読み取っている。	(1)	○	
	(1)	・ 国会、内閣、裁判所の相互の関連について、資料から読み取り、適切に表現している。	(2)		○
	(2)	・ 足利義政の業績について理解し、その知識を身に付けている。	(3)	○	
	(2)	・ 室町時代の文化の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(4)		○
	(2)	・ 江戸幕府の大名配置について、資料を基に考察し、適切に判断している。	(5)		○
	(2)	・ 徳川家光の業績について理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	(2)	・ 明治政府が行った諸改革について理解し、その知識を身に付けている。	(7)	○	
	(2)	・ 明治政府が近代化を進めることができた背景について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(8)		○
中学校地理的分野	A (1)	・ 大陸や海洋の位置と名称を理解し、その知識を身に付けている。	(9)	○	
	A (1)	・ 地球儀の模式図を活用し、地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を的確に読み取っている。	(10)	○	
	B (1)	・ 熱帯の気候について、資料から情報を的確に読み取っている。	(11)	○	
	B (1)	・ 熱帯に暮らす人々の生活の様子について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に判断している。	(12)		○
中学校歴史的分野	B (1)	・ 世界の古代文明に共通する特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(13)		○
	B (1)	・ ギリシャの文明の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(14)		○
	B (1)	・ 大和朝廷（大和政権）による統一の様子について理解し、その知識を身に付けている。	(15)	○	
	B (1)	・ 日本列島における国家形成と東アジアとの関わりについて、資料を基に考察し、適切に判断している。	(16)		○
	B (1)	・ 律令制下における農民の負担について理解し、その知識を身に付けている。	(17)	○	
	B (1)	・ 公地・公民の原則について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(18)		○

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

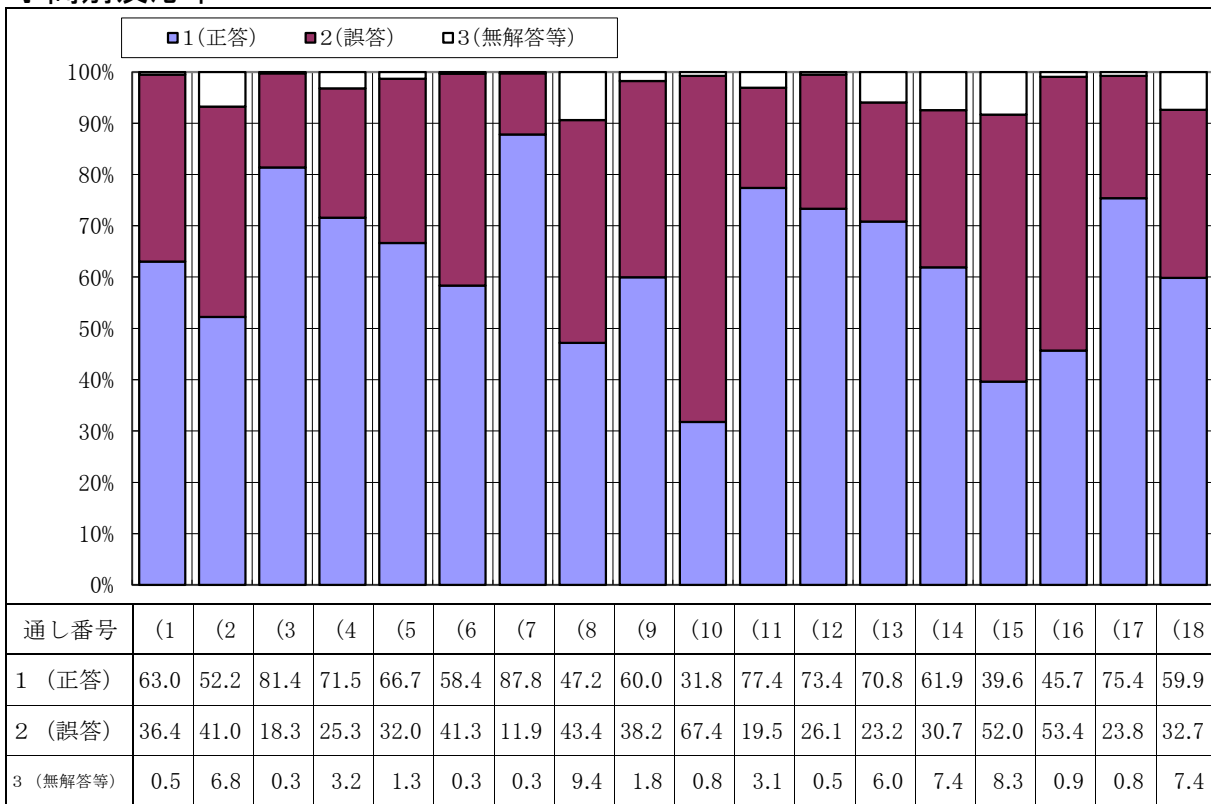
平均通過率 62.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	日本国憲法や国の政治と私たちの生活との関わり	63.0	70.0	
(2)	国会, 内閣, 裁判所の相互の関連	52.2	60.0	
(3)	足利義政の業績	81.4	80.0	
(4)	室町時代の文化の特色	71.5	60.0	
(5)	江戸幕府の大名配置	66.7	75.0	
(6)	徳川家光の業績	58.4	65.0	
(7)	明治政府の諸改革	87.8	75.0	
(8)	近代化の背景	47.2	60.0	
(9)	大陸や州の名称と位置	60.0	70.0	
(10)	対蹠点の位置	31.8	65.0	
(11)	熱帯の気候の特色	77.4	80.0	
(12)	熱帯に暮らす人々の生活の工夫	73.4	75.0	
(13)	世界の古代文明に共通する特色	70.8	80.0	
(14)	ギリシャの文明	61.9	65.0	
(15)	大和政権による統一の様子	39.6	75.0	
(16)	日本列島における国家形成と東アジアとの関わり	45.7	65.0	
(17)	律令制下における農民の負担	75.4	75.0	
(18)	公地・公民の原則	59.9	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	3	4	6	9	3	2	12	2	3	1	9	4	3	4		2	9	8	
90%~100%	2	1	13	16	6	1	36	2	2		10	7	8	6			9	6	1
80%~90%	4	4	46	25	15	9	40	2	7		39	25	19	17	3		32	13	5
70%~80%	16	10	27	22	18	9	12	2	16	1	25	31	34	14	1	1	27	18	12
60%~70%	47	26	11	11	34	26	2	17	25	5	18	31	26	26	9	8	20	17	55
50%~60%	26	23	2	16	20	32	2	23	34	5	5	7	13	22	18	18	6	15	29
40%~50%	5	13		6	7	16		28	13	15		1	1	9	22	43	2	14	3
30%~40%	2	13			2	8		19	5	37				5	25	26	1	9	1
20%~30%		7				2		6		35				2	18	3		2	
10%~20%		2						4		4			1		7	4		2	
0%~10%	1	3	1	1	1	1	2	1	1	3			1	1	3	1		2	

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		内 容 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	小学校	地理的分野	歴史的分野	
+10%より高い	1	1	2	0	0	2
±10%の範囲内	6	6	5	3	4	12
-10%より低い	2	2	1	1	2	4
計	9	9	8	4	6	18

2 考察

(1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」という結果で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。経年比較している設問については、9問中7問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①室町時代の文化の特色において、資料を基に考察し、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。
- ②律令制下における農民の負担について理解し、その知識を身に付けることについて、指導の改善が見られる。

(3) 課題

- ①地球儀の模式図を活用し、地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を的確に読み取ることに課題が見られる。
- ②日本列島における国家形成と東アジアとの関わりについて資料を基に考察し、適切に判断することに課題が見られる。

3 今後の指導

年表や地図、文献、写真などの資料を活用して情報を読み取り、歴史的事象の意味や意義などを、推移、比較、相互の関連などに着目して考察することを通して、我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(16を例として)]

歴史の大きな流れについて、各時代の特色を比較して考察し、表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 1 資料を見て各時代の特色を比較し、学習課題を設定する。

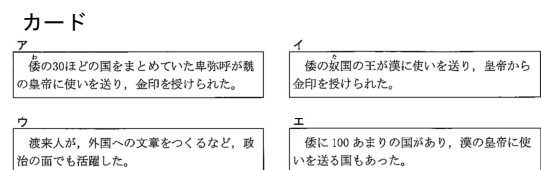
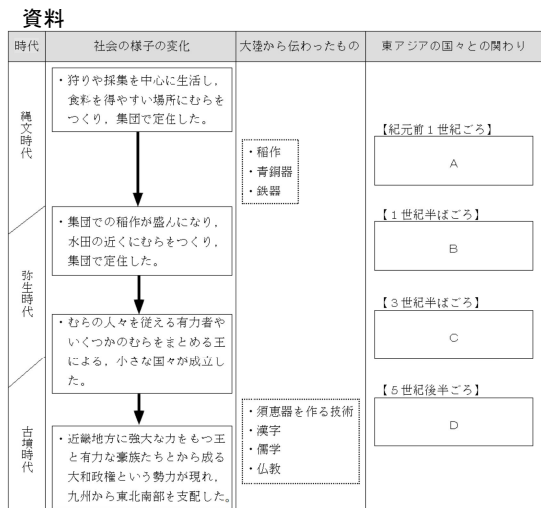
<学習課題の例>
なぜ、時代が進むにつれ、「むら」から「国」へと変化していったのだろうか。

- 2 課題解決に向けて追究する。
 - ・3～5世紀頃の東アジアの地図や文献、写真を活用し、東アジアの国々や人々と我が国との交流について調べ、資料のA～Dにア～エのカードを当てはめる。

[発問例] 東アジアの国々との関わりは、我が国にどのような影響を与えたのだろうか。

- 3 学習課題についてまとめる。

(例) 大陸から稲作が伝わると「むら」が作られ、土地などをめぐって争いが起こるようになり、「むら」がまとまって「国」ができた。その「国」が、東アジアの国々や人々と交流しながら大きくなっていったから。



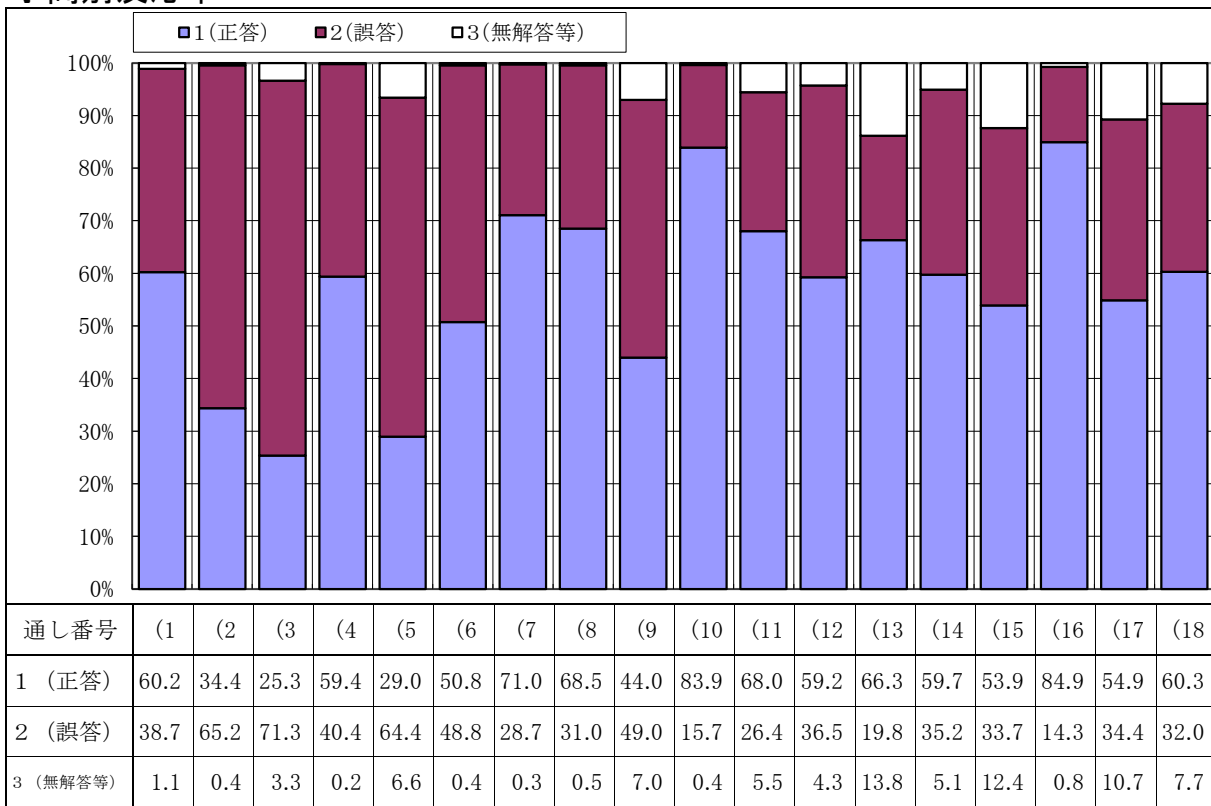
分野	内容	評価規準	通し番号	観点	
				知識・技能	思考・判断・表現
地理的分野	A(1)	・大陸と海洋の名称と位置を理解し、その知識を身に付けている。	(1)	○	
	A(1)	・地球儀の模式図を活用し、地球儀上での緯度や経度、正反対の地点を的確に読み取っている。	(2)	○	
	B(1)	・温帯で暮らす人々の生活の様子について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(3)		○
	B(2)	・アジア州の経済発展について、資料から情報を的確に読み取っている。	(4)	○	
	B(2)	・アジア州の経済発展について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(5)		○
	B(2)	・世界の各州の地域的特色を、諸条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(6)	○	
	C(2)	・日本の地域的特色と地域区分について、資料から情報を的確に読み取っている。	(7)	○	
	C(2)	・日本の第二次産業に関する特色について、資料から情報を的確に読み取っている。	(8)	○	
	C(2)	・日本の第二次産業に関する特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(9)		○
	C(2)	・日本の交通に関する特色について、資料から情報を的確に読み取っている。	(10)	○	
	C(2)	・日本の交通に関する特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(11)		○
歴史的分野	B(1)	・古代の文化の特色や背景について理解し、その知識を身に付けている。	(12)	○	
	B(1)	・古代の文化の特色や背景について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(13)		○
	B(2)	・平氏政権の特色について、資料を基に考察し、適切に表現している。	(14)		○
	B(2)	・鎌倉幕府の支配の広まりについて、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(15)		○
	B(3)	・豊臣秀吉の政策について理解し、その知識を身に付けている。	(16)	○	
	B(3)	・豊臣秀吉の政策について、資料から情報を的確に読み取っている。	(17)	○	
	B(3)	・豊臣秀吉の政策による社会の変化について、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現している。	(18)		○

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	大陸や海洋の名称と位置	60.2	70.0	
(2)	対蹠点の位置	34.4	65.0	
(3)	温帯に暮らす人々の生活の様子	25.3	65.0	
(4)	アジア州の経済発展	59.4	65.0	
(5)	アジア州の経済発展	29.0	65.0	
(6)	各州の地域的特色	50.8	60.0	
(7)	日本の地域的特色と地域区分	71.0	80.0	
(8)	国内の産業の動向	68.5	75.0	
(9)	国内の産業の動向	44.0	70.0	
(10)	旅客輸送の特色	83.9	80.0	
(11)	貨物輸送の特色	68.0	75.0	
(12)	古代の文化の特色	59.2	65.0	
(13)	古代の文化と東アジアとの関わり	66.3	75.0	
(14)	武士の政治への進出と展開	59.7	65.0	
(15)	武家政権の広まり	53.9	60.0	
(16)	豊臣秀吉の政策	84.9	80.0	
(17)	豊臣秀吉の政策	54.9	75.0	
(18)	豊臣秀吉の政策による社会の変化	60.3	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	1		1	1		1	2	2	1	11	1	2	4	5	3	10	2	2	
90%~100%	3		1		1		6	3	1	21	8	9	9	6	7	32	1	4	
80%~90%	8			2	2	2	20	15	4	52	13	17	18	8	13	48	8	15	3
70%~80%	20		2	12	2	10	40	29	4	19	31	16	26	21	16	14	15	17	11
60%~70%	25	4	5	40	7	18	26	42	11	1	32	15	19	19	20	2	18	23	35
50%~60%	34	12	3	32	8	26	9	13	15		16	19	21	17	9		21	25	42
40%~50%	14	22	10	16	9	31	1	1	32		2	18	7	14	17		20	9	14
30%~40%	1	30	16	3	15	12	1	1	25	1	2	6	1	11	12		9	6	
20%~30%		31	24		31	3			9			3		3	8		5	4	1
10%~20%		6	30		23	1			2			1		1			3		
0%~10%		1	14		8	2	1		2	1	1		1	1	1		4	1	

中学校 2年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		内 容 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	地理的分野	歴史的分野	
設定通過率の +10%より高い	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	8	5	7	6	13
-10%より低い	2	3	4	1	5
計	10	8	11	7	18

2 考察

(1) 全体について

18問中5問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。経年比較している設問については、8問中3問で昨年度の通過率を上回った。

(2) 成果

- ①日本の交通に関する特色を資料からの確に読み取ることについて、指導の成果が見られる。
- ②豊臣秀吉の政策を理解し、その知識を身に付けることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①温帯で暮らす人々の生活の様子学習において、資料を基に考察し、適切に表現することに課題が見られる。
- ②アジア州の経済発展の学習において、資料から読み取ったことを関連付けて考察し、適切に表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

世界の各州において見られる地球的課題の要因や影響を、その州の地域の広がりや地域内の結び付きから捉えて考察し、自分の言葉で表現する活動の充実を図る。

○ポイント [通し番号(4、(5を例として)]

地域で見られる地球的課題の要因や影響を考察する学習において、アジア州の経済発展について資料から読み取ったことを関連付けて考察し、表現する活動を取り入れる。

○具体例

- 1 図1を見て気付いたことを生かして、学習課題を設定する。

<学習課題の例>
東南アジアの経済は、どのように発展したのだろうか。

- 2 タイとマレーシアを例に、表1の1980年と2021年を比較し、輸出品の変化を調べる。
 - ・東南アジアの工業化に気付くことができるよう、輸出品の共通点に着目するよう促す。
- 3 工業化の要因について、日本企業との関わりを例に考える。

[発問例] 東南アジアの工業化が進んだのはなぜだろう。

- ・日本企業が賃金の低い東南アジアに設立する会社の割合を増やしていることに気付くことができるよう、表2と図2を提示する。

- 4 学習課題についてまとめる。

(例) 安い労働力を求めて日本などの外国企業が東南アジアに進出して工業化が進み、工業製品の輸出が増え、経済が発展した。

図1 2か国の輸出額

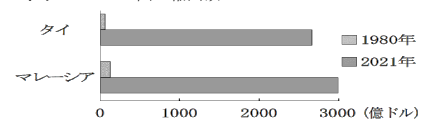


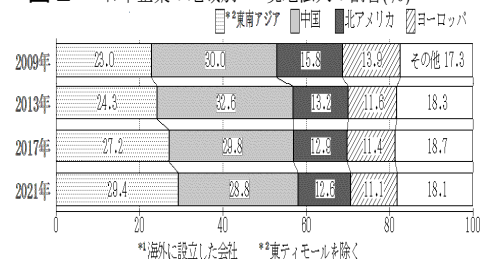
表1 2か国の輸出品 (上位5品目) の割合(%)

	タイ		マレーシア			
	1980年	2021年	1980年	2021年		
米	14.7	機械類 31.4	原油	23.8	機械類	42.7
野菜	12.6	自動車 9.9	天然ゴム	16.4	石油製	6.9
天然ゴム	9.3	金(非貨幣用) 5.8	木材	14.1	衣類	4.9
すず	8.5	プラスチック 3.4	機械類	10.7	パーム油	4.7
とうもろこし	5.4	野菜と果実 3.1	パーム油	8.9	精密機械	3.8

表2 労働者の1か月あたりの賃金(2021年)

地域区分	国名	賃金(ドル)
東アジア	日本	2,654
	中国	651
東南アジア	タイ	433
	マレーシア	492
	インドネシア	360
	ベトナム	265

図2 日本企業の地域別 *1 現地法人の割合(%)



*1海外に設立した会社 **東ティモールを除く

4 結果と考察 (3)算数、数学

令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	A 数 と 計 算	(5)ア(イ)	・ 1 / 10 の位までの小数の減法で、(整数) - (小数) の場合の計算をすることができる。	(2)	○	
		(5)イ(ア)	・ 0 . 1 に着目して、小数の大きさの比べ方を説明することができる。	(11)		○
		(6)ア(ア)	・ 分数の意味や分数の表し方を理解している。	(6)	○	
		(7)ア(ア)	・ 数量の関係を□を使った式で表すことができる。	(5)	○	
	B 図 形	(1)ア(ア)	・ 二等辺三角形を構成する要素に着目し、適切な頂点を選ぶことができる。	(7)	○	
		(1)ア(ウ)	・ 円の直径や半径を基に、長さを求めることができる。	(9)	○	
			・ 円の中心と半径について理解している。	(10)	○	
	C 測 定	(1)ア(ア)	・ 長さ、重さ及びかさの単位について理解している。	(8)	○	
	D デ ー タ の 活 用	(1)イ(ア)	・ 複数の棒グラフを正しく読み取り、合計の数について言葉と数を用いて表現することができる。	(18)		○
	第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(ア)	・ 十進位取り記数法について理解している。	(13)	○
(1)イ(ア)			・ 数の表し方の仕組みに着目し、計算の仕方を考えることができる。	(4)		○
(3)ア(イ)			・ 3位数を2位数でわる計算について、正しく筆算をすることができる。	(1)	○	
(3)イ(ア)			・ 問題場面に合わせて、除法における余りの処理を考慮することができる。	(12)		○
			・ 除法に関して成り立つ性質を用いて、計算の工夫を考慮することができる。	(15)		○
			・ 除法において、数を構成する単位に着目して、余りを考えることができる。	(17)		○
B 図 形		(5)ア(イ)	・ 180° より大きい角度を求めることができる。	(3)	○	
			・ 2枚の三角定規でつくる角の大きさを求めることができる。	(14)	○	
D デ ー タ の 活 用		(1)ア(イ)	・ 折れ線グラフの使い方について理解している。	(16)	○	

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

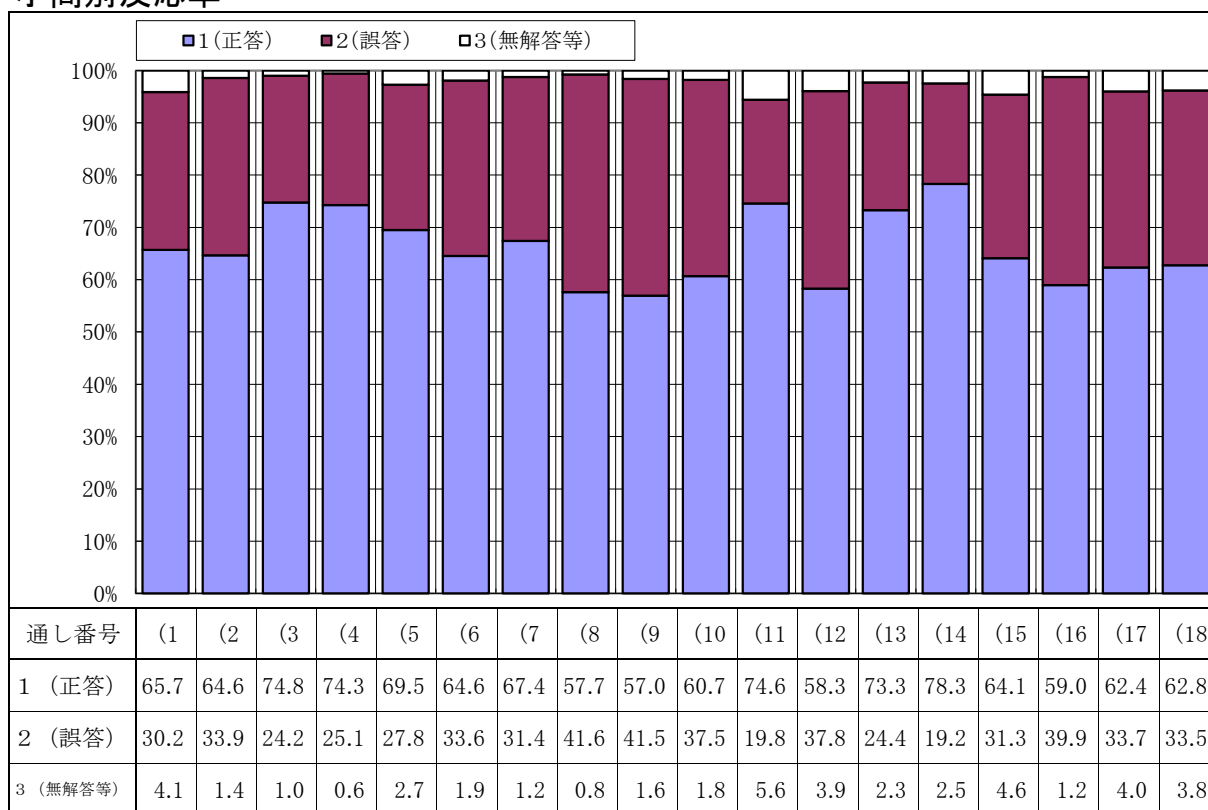
平均通過率 66.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(3位数) ÷ (2位数) の計算	65.7	75.0	
(2)	(整数) - (小数) の計算	64.6	75.0	
(3)	180° より大きい角度の測定	74.8	70.0	
(4)	大きな数の計算の工夫	74.3	65.0	
(5)	□を用いた式	69.5	75.0	
(6)	分数の意味と表し方	64.6	80.0	
(7)	二等辺三角形の性質	67.4	70.0	
(8)	単位の変換 (長さ, 重さ, かさ)	57.7	65.0	
(9)	円の性質 (直径, 半径)	57.0	70.0	
(10)	円の作図	60.7	70.0	
(11)	小数の大小関係	74.6	65.0	
(12)	除法における余りの処理	58.3	65.0	
(13)	十進位取り記数法の理解	73.3	70.0	
(14)	2枚の三角定規でつくる角度の測定	78.3	75.0	
(15)	除法における計算の工夫	64.1	70.0	
(16)	折れ線グラフの使い方	59.0	70.0	
(17)	除法の計算の仕方と商の余りの説明	62.4	70.0	
(18)	棒グラフの読み取りと表現	62.8	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (172校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	11	17	17	21	13	18	15	8	10	5	21	9	20	29	11	7	10	13	
90%~100%	11	17	19	7	18	24	7	5	4	4	14	3	10	20	3	2	10	4	4
80%~90%	24	27	46	38	38	25	29	5	9	21	45	11	32	48	27	5	16	23	29
70%~80%	31	37	41	47	35	26	39	24	17	28	43	26	51	43	34	20	33	25	46
60%~70%	41	24	32	42	37	29	39	50	43	42	30	31	40	22	38	44	37	48	54
50%~60%	34	21	11	13	17	15	27	42	44	37	14	56	13	7	32	54	35	36	29
40%~50%	12	9	4	1	7	14	10	29	27	17	3	16	3	1	18	24	17	16	9
30%~40%	5	12	2	3	6	9	4	8	10	10	1	10	1	1	7	10	6	2	1
20%~30%	2	2				3	2	1	7	5	1	6	1	1	1	3	5	3	
10%~20%		3				3						3				3	1		
0%~10%	1	3			1	6			1	3		1	1		1		2	2	

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の 分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係 測定	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	8	6	8	4	1	1	14
-10% より低い	4	0	2	1	0	1	4
計	12	6	10	5	1	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中14問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「知識・技能」の設問において12問中4問が「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①数の表し方の仕組みに着目し、計算の仕方を考えることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②複数の棒グラフを正しく読み取り、合計の数を言葉と数を用いて表現することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①分数の意味や表し方を理解することについて、課題が見られる。
- ②折れ線グラフの使い方を理解することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

分数の意味や表し方について理解を深める学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(6) 平均通過率64.6% (設定通過率80.0%)

2mの長さのテープがあります。このテープを次の図のように6等分しました。色をぬった部分の長さを分数で表すと何mですか。答えを の中に書きましょう。



- ・数直線上の目盛りが表す数を分数で表すことで、分数の意味や表し方について理解を深めることができるようにすることが重要である。
- ・指導に当たっては、本問のように1より大きい数が等分されているような場合を取り上げ、単位分数は0から1までが何等分されているのかで決まることを理解できるようにする。さらに、1より大きい分数を仮分数と帯分数で表して比較し、分数の大きさについての感覚を豊かにすることが大切である。

データの特徴や傾向に着目し、目的に応じて適切なグラフを選択して判断する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(16) 平均通過率59.0% (設定通過率70.0%)

折れ線グラフに表すとよいのは、次のうちどれですか。最もふさわしいものを、次のア～エから1つえらんで、その記号を の中に書きましょう。

- ア 1か月に校内でけがをした人の、けがをした場所ごとの人数
- イ ある学級で調べた好きな給食の種類とその人数
- ウ 1時間ごとに調べた池の水の温度
- エ 1時間に学校の前を通った乗り物の種類とその台数

- ・データを表やグラフを用いて表したり読み取ったりする活動を通して、目的に応じて適切な表やグラフを選択できるようにすることで、表やグラフを算数の学習のみならず、他教科等の学習や生活に活用できるようにすることが大切である。
- ・指導に当たっては、同じ場面を複数のグラフで表し、目的に応じて適切なグラフを選択する活動を取り入れることが考えられる。その際、それぞれのグラフから読み取れることについて確認し、それぞれのグラフがもつ特徴を明確にすることが大切である。

令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	A 数 と 計 算	(1)イ(ア)	・数の表し方の仕組みに着目し、計算の仕方を考えることができる。	(4)		○
		(5)ア(イ)	・(整数)－(帯分数)の計算ができる。	(3)	○	
			・仮分数と帯分数で表された数の大きさを比べることができる。	(13)	○	
	B 図 形	(1)イ(ア)	・平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図する方法を説明することができる。	(18)		○
		(2)ア(イ)	・直方体の面と辺の垂直の関係を理解している。	(6)	○	
		(4)ア(ア)	・身の回りのもののおよその面積を cm^2 を用いて表すことができる。	(7)	○	
C 変 化 と 関 係	(1)ア(ア)	・図や表を基に、伴って変わる二つの数量の対応における規則性を見だし、式に表すことができる。	(14)	○		
D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・二次元の表に分類整理されたデータを読み取ることができる。	(11)	○		
第 5 学 年	A 数 と 計 算	(1)ア(イ)	・最小公倍数を用いて、正方形の一辺の長さを求めることができる。	(17)	○	
		(3)ア(ア)	・「比較量」と「基準量」が小数で表されているときの「割合」を求めることができる。	(5)	○	
			・商が被除数よりも大きくなる理由について、説明することができる。	(12)	○	
		(3)ア(イ)	・(小数)×(小数)の計算ができる。	(1)	○	
			・(小数)÷(小数)の計算ができる。	(2)	○	
	(3)イ(ア)	・小数の除法の答えの求め方を説明することができる。	(10)		○	
	B 図 形	(1)ア(ア)	・合同な三角形をかくために必要な構成要素について理解している。	(15)	○	
		(1)イ(ア)	・四角形の四つの角の大きさの和を、三角形の三つの角の大きさの和を基にして考えることができる。	(9)		○
(4)イ(ア)		・図形を構成する要素に着目し、図形の体積の求め方の式を考え、判断することができる。	(16)		○	
C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・表を基に、簡単な場合の比例の関係を考え、判断することができる。	(8)		○	

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

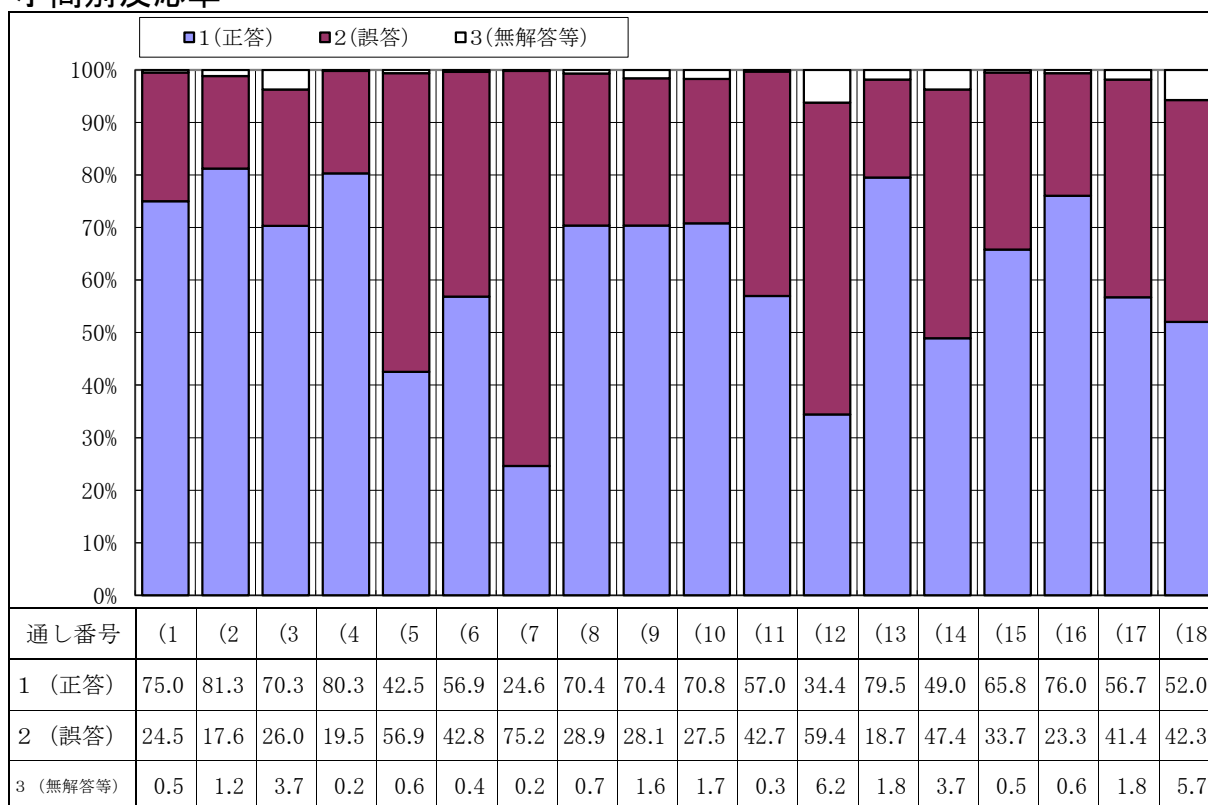
平均通過率 61.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(小数) × (小数) の計算	75.0	80.0	
(2)	(小数) ÷ (小数) の計算	81.3	80.0	
(3)	(整数) - (帯分数) の計算	70.3	75.0	
(4)	大きな数の計算の工夫	80.3	75.0	
(5)	小数の倍	42.5	65.0	
(6)	直方体の面と辺の位置関係	56.9	65.0	
(7)	およその面積	24.6	70.0	
(8)	比例の関係	70.4	70.0	
(9)	四角形の4つの角の大きさの和	70.4	75.0	
(10)	小数の除法の答えの求め方	70.8	70.0	
(11)	二次元表の読み取り	57.0	65.0	
(12)	除数と商の大きさの関係	34.4	65.0	
(13)	仮分数と帯分数の大小	79.5	75.0	
(14)	伴って変わる数量の関係	49.0	65.0	
(15)	三角形の合同	65.8	70.0	
(16)	直方体を組み合わせた立体の体積の求め方	76.0	70.0	
(17)	最小公倍数の利用	56.7	65.0	
(18)	平行四辺形のかき方	52.0	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (170校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	8	22	8	8		4	3	11	17	8	2	1	16	3	5	10	5	2	
90%~100%	20	42	5	21		2		6	11	5	1		22	1	7	16	4	1	1
80%~90%	47	48	38	69	5	17	1	29	43	38	3	1	50	11	28	55	10	10	6
70%~80%	40	36	44	48	7	19	2	48	31	49	21	4	56	10	35	45	22	20	33
60%~70%	33	14	36	17	19	33	4	41	30	41	41	5	19	28	48	28	41	37	64
50%~60%	16	6	26	4	29	49	2	27	29	20	49	20	5	39	31	14	42	39	50
40%~50%	3	1	7	2	41	22	11	4	5	6	42	24	1	36	9	1	27	34	14
30%~40%	2		5		27	17	27	3	2	2	5	39		18	3		15	18	1
20%~30%					26	5	47		2	1	3	54		19	3		2	8	
10%~20%					12	1	41				1	15		2			1		1
0%~10%	1	1	1	1	4	1	32	1			2	7	1	3	1	1	1	1	

小学校5年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	8	6	7	5	1	1	14
-10% より低い	4	0	2	1	1	0	4
計	12	6	9	6	2	1	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中14問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 領域別では「数と計算」の設問において、9問中2問が設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ① 数の表し方の仕組みに着目し、計算の仕方を考えることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ② 小数の除法の答えの求め方を説明することについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ① 商が被除数よりも大きくなる理由を説明することについて、課題が見られる。
- ② 図や表を基に、伴って変わる二つの数量の対応における規則性を見だし、式に表すことについて、課題が見られる。

3 今後の指導

数直線などを用いて、除数と商の大きさの関係を捉えるとともに、商と被除数との関係について説明し伝え合うなどの数学的活動の充実を図る。

【参考 通し番号(12) 通過率34.4% (設定通過率65.0%)

あみさんは、わり算の商について調べたことを次のようにまとめました。

【あみさんのまとめ】

$2.4 \div 1.5 = 1.6$	わり算では、 「 \square 」のとき、 商がわられる数より大きくなります。
$2.4 \div 1.2 = 2$	
$2.4 \div 1 = 2.4$	
$2.4 \div 0.8 = 3$	
$2.4 \div 0.5 = 4.8$	

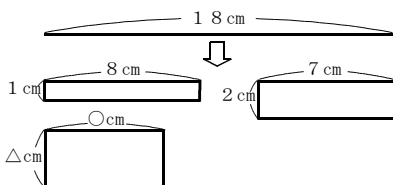
【あみさんのまとめ】が正しくなるように、アにあてはまる説明の続きを、次の「 \square 」の中に書きましよう。

- ・実際に計算をする前に、問題場面や状況に応じて、商の大きさを見積もったり、計算をした後に、その結果を問題場面に当てはめて吟味したりすることが大切である。
- ・指導に当たっては、「わる数」「商」「わられる数」等の用語を使って、除数と商の大きさの関係について説明し伝え合う活動を取り入れることが考えられる。また、数直線を用いて、除数が1より小さい場合は被除数より右側に商があることを視覚的に捉えることができるようにすることが考えられる。

伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察する数学的活動の充実を図る。

【参考 通し番号(14) 通過率49.0% (設定通過率65.0%)

次の図のように、長さが18cmのはり金を使って、周りの長さが18cmの長方形をいろいろつくります。



まさきさんは、長方形のたての長さを、1cm, 2cm, 3cm, …と1cmずつ長くしたときの横の長さを調べ、たての長さとの関係を表にまとめました。

たての長さΔ (cm)	1	2	3	4
横の長さ○ (cm)	8	7	6	5

たての長さとの関係は、どのような関係がありますか。たての長さをΔcm, 横の長さを○cmとして、Δと○の関係を表す式を \square の中に書きましよう。

- ・伴って変わる二つの数量の関係について、表をつくり変化や対応の様子を調べる活動を通して、様々な表の見方を指導することが大切である。例えば、表を横にみて変化の規則性を見いだしたり、表を縦にみて対応の規則性を見いだしたりすることが考えられる。
- ・指導に当たっては、見いだした規則性について、言葉や図、表、式などを用いて、説明し伝え合う活動を取り入れたり、他の数値においても成り立つか確かめる場面を取り入れたりすることが考えられる。
- ・また、長方形の周りの長さを一定としたときの、縦の長さとの関係については、小学校6年の文字と式の単元につながる学習内容である。複数の学年で学び直す機会を設け、理解できるようにすることが大切である。

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					知識 ・ 技能	思考 ・ 判断 ・ 表現	
小 学 校 第 6 学 年	A 数 と 計 算	(2)イ(ア)	・長方形において、辺の長さの関係を捉え、横の長さを文字を用いた式で表すことができる。	(11)		○	
		B 図 形	(1)ア(イ)	・線対称な図形に対称の軸をかくことができる。	(9)	○	
			(1)イ(ア)	・縮図の考え方をを用いて、実際の距離を求めることができる。	(15)		○
		(4)ア(ア)	・三角柱の体積を求めることができる。	(14)	○		
	C 変 化 と 関 係	(1)イ(ア)	・具体的な場面で、比例の関係をを用いて、問題解決の方法を説明することができる。	(16)		○	
		(2)ア(ア)	・比の相等を確かめることができる。	(4)	○		
		D デ ー タ の 活 用	(1)ア(イ)	・柱状グラフから必要な情報を読み取ることができる。	(12)	○	
	(1)イ(ア)		・目的に応じて代表値を選択し、問題の結論について判断することができる。	(13)		○	
	(2)ア(ア)		・起こり得る場合を、落ちや重なりがないように、図を用いて求めることができる。	(10)	○		
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(1)ア(イ)	・負の小数と正の分数の除法の計算ができる。	(1)	○		
		(1)ア※	・自然数を素数の積に表すことができる。	(2)	○		
		(1)イ(イ)	・具体的な場面で、正負の数を利用して問題を解決することができる。	(7)		○	
		(2)ア(ウ)	・簡単な整式の減法の計算ができる。	(3)	○		
		(2)ア(エ)	・事象の中にある数量の関係を、文字を用いた式で表すことができる。	(8)	○		
		(2)ア(エ) ※	・事象の中にある数量の関係を、不等式で表すことができる。	(6)	○		
		(2)イ(ア)	・図を基に、コインの枚数の求め方を、文字を用いて説明することができる。	(18)		○	
		(3)ア(イ)	・ x の係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(5)	○		
		(3)イ(イ)	・具体的な場面で、一次方程式をつくることができる。	(17)		○	

※の問題は、「内容の取扱い」から出題している。

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

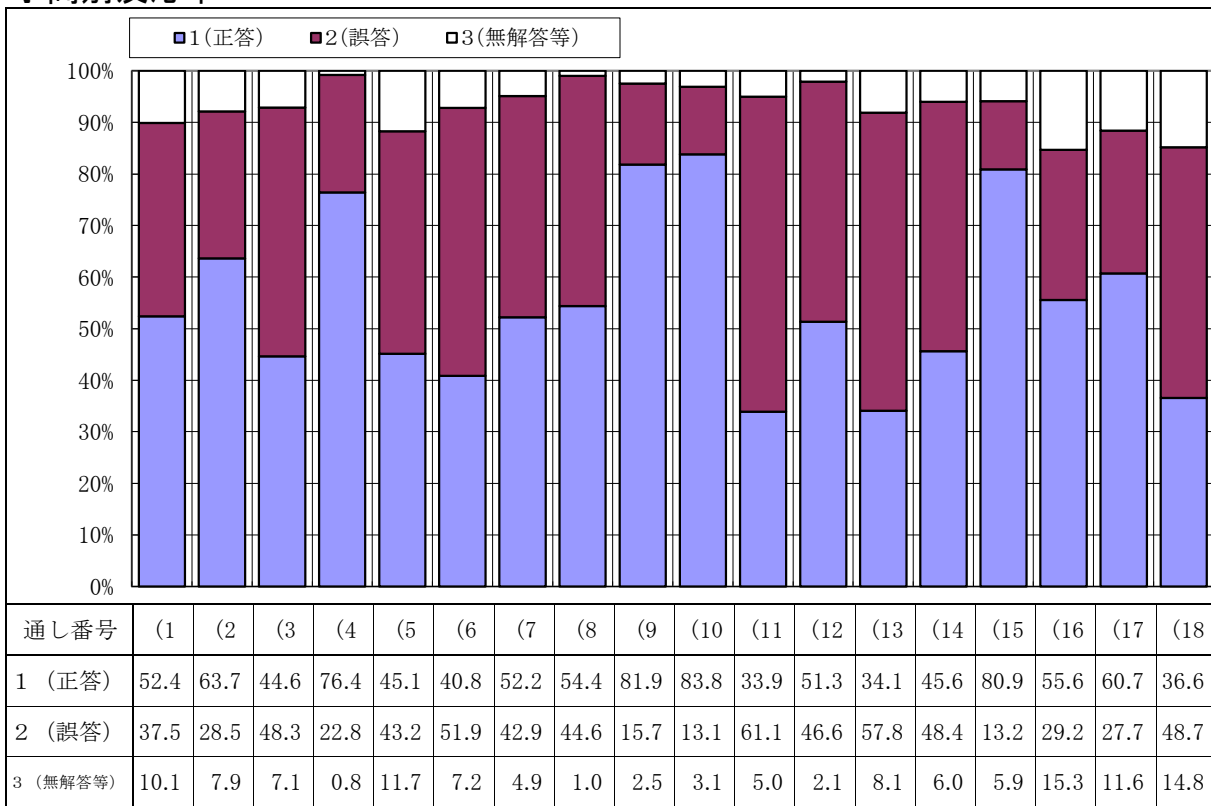
平均通過率 55.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(分数) ÷ (小数) の計算	52.4	70.0	
(2)	素因数分解	63.7	70.0	
(3)	一次式の計算	44.6	75.0	
(4)	等しい比	76.4	80.0	
(5)	xの係数が分数の一次方程式	45.1	65.0	
(6)	不等式	40.8	70.0	
(7)	正負の数の利用	52.2	60.0	
(8)	文字を用いた数量の関係	54.4	60.0	
(9)	線対称な図形	81.9	85.0	
(10)	起こり得る場合の数	83.8	85.0	
(11)	文字を用いた式	33.9	65.0	
(12)	柱状グラフの読み取り	51.3	65.0	
(13)	代表値を用いた説明	34.1	60.0	
(14)	三角柱の体積	45.6	70.0	
(15)	縮図の利用	80.9	85.0	
(16)	比例の利用	55.6	65.0	
(17)	一次方程式の利用	60.7	65.0	
(18)	文字式の利用	36.6	65.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	1	3	1	4	1	2	1	3	9	7		3			3		1	1	
90%~100%	2	4	1	7		1		1	20	20	1			2	13	1	1	1	1
80%~90%	1	10	3	32	4		2	5	41	44	1	1		4	51	3	6	2	2
70%~80%	6	26	8	33	3	2	3	9	19	26		4	1	2	26	5	12	1	2
60%~70%	16	24	6	19	6	6	25	15	13	6	5	15	5	7	8	30	34	4	18
50%~60%	35	19	16	7	20	21	33	39	3	3	8	33	5	22	3	32	36	14	53
40%~50%	20	9	31	2	31	22	25	19			15	32	20	35	1	28	11	14	27
30%~40%	18	9	26		25	21	11	12			28	12	26	22		1	2	30	2
20%~30%	6		13		12	21	3	2			32	4	31	8		2	2	27	1
10%~20%					1	3					11	1	13						8
0%~10%	1	2	1	2	3	7	3	1	1		5	1	5	4	1	4	1	4	

中学校 1 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式 数と計算	図形	関数 変化と関係	データの活用	
設定通過率の +10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	4	4	2	2	1	9
-10% より低い	6	3	6	1	0	2	9
計	11	7	10	3	2	3	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中9問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。
- ②観点別では、「知識・技能」の設問において、11問中6問が設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①起こり得る場合を、落ちや重なりがないように、図を用いて求めることについて、類似問題と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。
- ②具体的な場面で、一次方程式をつくることについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①簡単な整式の減法の計算をすることについて、課題が見られる。
- ②目的に応じて代表値を選択し、問題の結論を判断することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

文字を用いた式の計算の習熟を図る。

【参考 通し番号(3) 通過率44.6%
(設定通過率75.0%)

$2(x-4)-3(2x-3)$ を計算しなさい。

- ・文字を用いた式の計算が確実にできるようにするために、計算の法則を確認したり、計算の過程を振り返ったりする活動を取り入れることが大切である。
- ・指導に当たっては、正しい計算と誤りのある計算を比較して誤りの部分を指摘し、整式の計算で使われている計算の法則を確認する活動が考えられる。その際、正負の数の四則計算と関連付けて考察し、分配法則の性質を捉え直す場面を設定することが考えられる。

代表値の必要性和意味を理解するとともに、目的に応じて代表値を選択し、問題の結論について判断する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(13) 通過率34.1%
(設定通過率60.0%)

ある中学校の図書委員会では、次のような読書週間の目標を立てました。

【目標】	読書週間に読んだ本の ページ数	
	読書週間に、1人あたり150ページ以上本を読む。	平均値
	中央値	155ページ
	最頻値	130ページ

右の表は、この中学校の全校生徒が読書週間に読んだ本のページ数を調べて、その結果をもとにまとめたものです。

さえさんは、この表を見て次のように考えました。

【さえさんの考え】

目標の「150ページ以上本を読むこと」を達成できた人数は、全校生徒の半数より少ない。

【さえさんの考え】は「正しい」か、「正しくない」か、どちらかを○で囲み、その理由を書きなさい。

- ・代表値を用いることで、一つの数値でデータの特徴を簡潔に表すことができ、複数のデータを比較することが容易になる。その反面、分布の形などの情報は失われるため、代表値の用い方には留意する必要がある。特に、平均値は一般にもよく用いられる指標であるが、代表値として適切であるとはいえない場合があることを指導する必要がある。
- ・指導に当たっては、平均値、中央値、最頻値が異なる値になる資料を取り上げ、目的に応じた代表値を用いて資料の傾向を説明する活動を取り入れることが考えられる。資料の特徴や代表値を用いる目的を明確にして、どの代表値を用いるべきかを判断できるようにすることが重要である。

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(2)ア(エ)	・事象の中にある数量の関係を、文字を用いた式で表すことができる。	(9)	○		
		(1)ア(ア)	・円周上の点を通る円の接線を、作図することができる。	(7)	○		
	B 図 形	(1)ア(イ)	・図形の移動について理解している。	(11)	○		
		(2)ア(イ)	・おうぎ形の面積を求めることができる。	(10)	○		
			・柱体と錐体の体積の関係を理解している。	(13)	○		
		(2)イ(ア)	・立体を、平面図形の1辺を軸として回転してできたものと捉えることができる。	(6)		○	
	C 関 数	(1)ア(エ)	・反比例の表から式を求めることができる。	(5)	○		
		D デ ー タ の 活 用	(1)ア(ア)	・データの範囲について理解している。	(8)	○	
			(1)イ(ア)	・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。	(15)		○
	中 学 校 第 2 学 年	A 数 と 式	(1)ア(ア)	・簡単な整式の減法の計算ができる。	(1)	○	
・式の値を求めることができる。				(4)	○		
(1)ア(イ)			・数量を文字を用いた式で表すことができる。	(3)	○		
(1)ア(エ)			・等式を目的に応じて変形することができる。	(2)	○		
(1)イ(イ)			・整数の性質について、文字を用いて説明することができる。	(18)		○	
(2)イ(イ)			・具体的な場面で、数量の関係を捉えて連立方程式をつくることができる。	(14)		○	
C 関 数		(1)ア(ア)	・具体的な事象について、一次関数のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求めることができる。	(16)	○		
		(1)イ(ア)	・一次関数の式と表を相互に関連付けて考察することができる。	(12)		○	
		(1)イ(イ)	・具体的な事象について、グラフを利用して解決する方法を説明することができる。	(17)		○	

中学校 2年 数学 小問別通過率と設定通過率

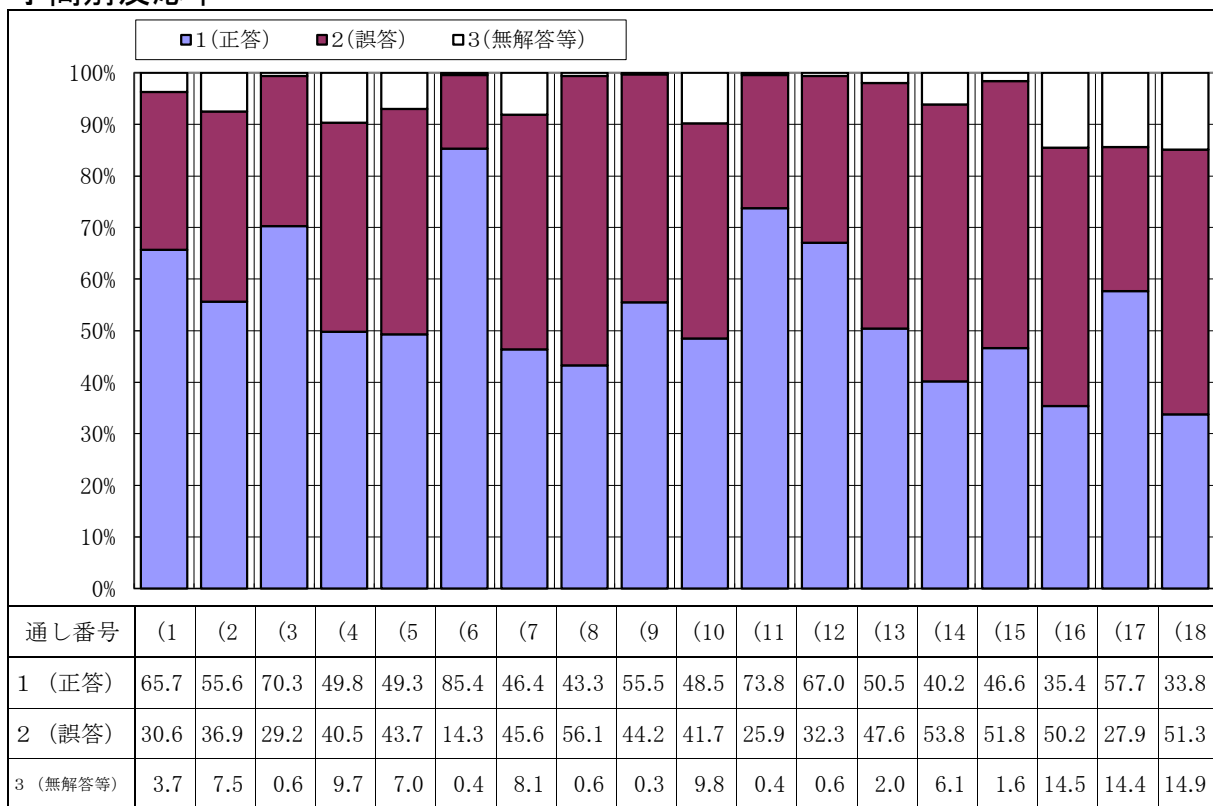
平均通過率 54.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	一次式の計算	65.7	75.0	
(2)	等式の変形	55.6	65.0	
(3)	2けたの自然数	70.3	80.0	
(4)	式の値	49.8	70.0	
(5)	反比例の式	49.3	65.0	
(6)	回転体	85.4	85.0	
(7)	円の接線の作図	46.4	65.0	
(8)	データの範囲	43.3	70.0	
(9)	文字を用いた数量の関係	55.5	65.0	
(10)	おうぎ形の面積	48.5	65.0	
(11)	図形の移動	73.8	80.0	
(12)	一次関数の表と式	67.0	75.0	
(13)	柱体と錐体の体積の関係	50.5	70.0	
(14)	連立方程式の立式	40.2	65.0	
(15)	データの読み取り (累積相対度数)	46.6	70.0	
(16)	一次関数の変域	35.4	70.0	
(17)	一次関数の利用	57.7	65.0	
(18)	文字を用いた説明	33.8	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	2	1	2		1	7	1	2	1	1	2	2		1					
90%~100%	4	1	4			27		1	1		4	3					1	1	
80%~90%	10	5	14	4	4	46	1	3	2	2	24	7	3		1		6	3	2
70%~80%	24	13	32	10	7	24	8	8	4	8	44	26	7	4	8	2	9	12	3
60%~70%	35	26	39	12	18	2	11	15	28	20	26	42	16	7	10	2	26	16	23
50%~60%	23	26	10	25	31		25	14	45	24	5	20	36	16	29	7	42	13	54
40%~50%	5	24	4	28	26		24	18	18	27	1	4	31	26	31	18	15	8	21
30%~40%	2	8		19	14		19	18	6	16		1	9	31	17	45	4		2
20%~30%				6	4		12	19		7			2	17	6	25	1	5	
10%~20%							4	6						3	2	6		17	1
0%~10%	1	2	1	2	1		1	2	1	1		1	2	1	2	1	2	31	

中学校 2年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	数と式	図形	関数	データの活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	3	4	2	2	0	8
-10% より低い	7	3	3	3	2	2	10
計	12	6	7	5	4	2	18

2 考察

(1) 全体について

- ①18問中10問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況に課題が見られる。
- ②観点別では、「知識・技能」の設問において、12問中7問が設定通過率の「-10%より低い」であり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①立体を、平面図形の1辺を軸として回転してできたものと捉えることについて、設定通過率と比べて通過率が高く、学習内容の定着が図られている。
- ②事象の中にある数量の関係を、文字を用いた式で表すことについて、昨年度と比べて通過率の上昇が見られ、改善が図られている。

(3) 課題

- ①データの範囲を理解することについて、課題が見られる。
- ②具体的な場面で、数量の関係を捉えて連立方程式をつくることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

データの分布の特徴を一つの数値で表すものとして範囲があることを確認し、範囲の求め方や極端な値を含む場合等について考察する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(8) 通過率43.3%
(設定通過率70.0%)

次の表は、ある中学校の2年1組の生徒34人が1か月間に読んだ本の冊数を調べ、その結果をまとめたものです。この表において、読んだ本の冊数の範囲として正しいものを、下のア～エから1つ選んで、その記号を書きなさい。

1か月間に読んだ本の冊数と人数

読んだ本の冊数(冊)	2	3	4	5	6	7	8
人数(人)	5	5	7	9	4	3	1

ア 6冊 イ 7冊 ウ 8冊 エ 9冊

- ・範囲とは、データの最大値と最小値との差であり、データの散らばりの程度を表す値であることを、様々なデータを活用しながら確認する必要がある。
- ・指導に当たっては、平均値が等しい二つの集団のデータでも範囲が等しいとは限らないことや、極端にかけ離れた値が一つでもあるときはその影響を受けることを実感できるようなデータを取り扱うなどの工夫を取り入れることが考えられる。

着目する数量によって様々な方程式が立てられることに気付くことができるような学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(14) 通過率40.2%
(設定通過率65.0%)

次の【問題】を解決するために、けいこさんは下のよう
に考えて連立方程式をつくりました。

【けいこさんの考え】が正しくなるように、Bにあてはまる式を書きなさい。

【問題】

家から1200mはなれた駅まで行くのに、はじめは分速120mで走り、途中から分速80mで歩いたら、全体で11分かかりました。走った道のりと、歩いた道のりをそれぞれ求めなさい。

【けいこさんの考え】

走った道のりを x m、歩いた道のりを y m とすると、

$$\begin{cases} x + y = 1200 \\ \boxed{\text{B}} = 11 \end{cases}$$

- ・問題を解決するために、個数の関係、代金の関係、長さの関係、時間の関係、重さの関係等、着目する数量によって様々な方程式を立てられることに気づき、活用できるようにすることが大切である。
- ・指導に当たっては、道のりを文字で表す場合と時間を文字で表す場合を取り上げ、それぞれの場合のよさについて考察する活動を取り入れることが考えられる。
- ・また、数量の関係を捉えやすくするため、既習の「道のり」「速さ」「時間」の関係や一元一次方程式と関連付けたり、表や線分図などで表したりするなどの工夫を取り入れることも大切である。

4 結果と考察 (4)理科

令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 3 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(3)イ	・音の大きさが変わるとき、音が出ている物の震え方が変わることを考察し、表現している。	(1		○
		(4)ア (7)	・磁石に引きつけられる物と引きつけられない物があることを理解している。	(2	○	
		(1)ア (7)(イ)	・物の重さと体積の関係を理解している。	(3	○	
	B 生 命 ・ 地 球	(1)イ	・複数の植物における育ち方の共通点を考察し、表現している。	(4		○
		(2)イ	・太陽と地面にできる影について、時刻による変化を考察し、表現している。	(5		○
		(2)ア (7)	・固定した物の影の位置が変わる理由を理解している。	(6	○	
第 4 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(3)イ	・電池のつなぎ方とモーターの回転する向きを関係付けて考え、表現している。	(7		○
		(3)ア (7)	・検流計の目盛りの読み取り方に関する技能を身に付けている。	(8	○	
	B 生 命 ・ 地 球	(1)イ	・人の体の動きと筋肉の働きを関係付けて考察し、表現している。	(9		○
		(1)ア (イ)	・関節の働きを理解している。	(10	○	
		(4)ア (7)	・棒温度計の使い方に関する技能を身に付けている。	(11	○	
		(4)イ	・天気と気温の変化を関係付けて考察し、表現している。	(12		○

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

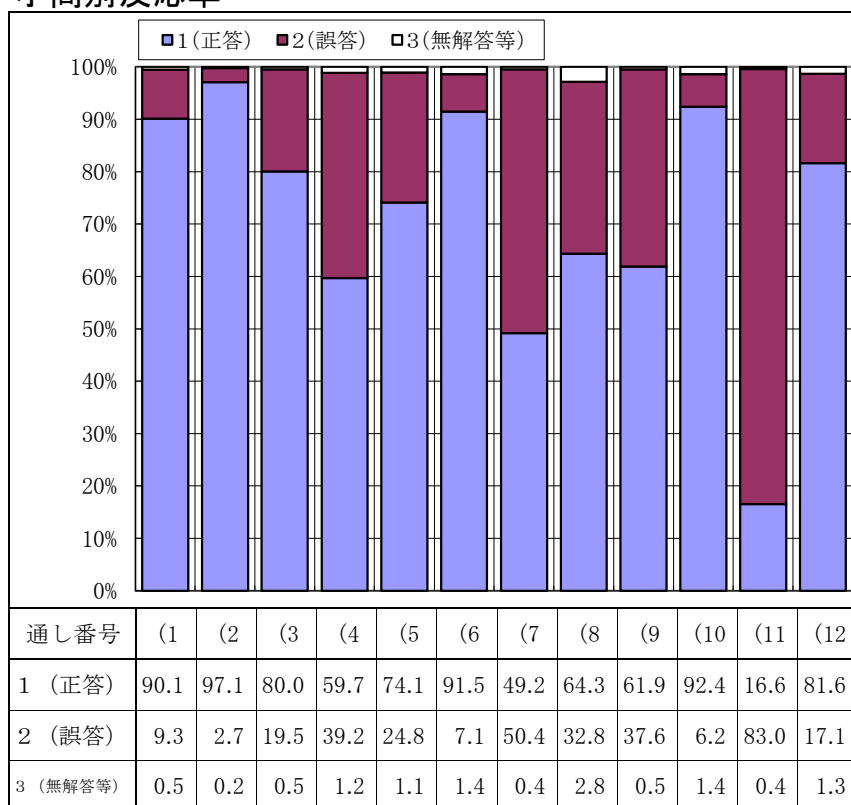
平均通過率 71.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	音の大小と振動	90.1	80.0	
(2)	磁石の性質	97.1	80.0	
(3)	物の重さと体積, 形	80.0	80.0	
(4)	植物の育ち方	59.7	70.0	
(5)	一日の中の太陽の動きと影	74.1	70.0	
(6)	太陽の位置の変化と影の位置の変化との関係	91.5	80.0	
(7)	乾電池のつなぎ方と電流の向き	49.2	60.0	
(8)	検流計の読み方	64.3	60.0	
(9)	人の体の動きと筋肉	61.9	60.0	
(10)	関節	92.4	80.0	
(11)	温度計の読み方	16.6	60.0	
(12)	天気による気温の変化	81.6	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (172校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	59	99	24	22	16	58	7	10	9	69	1	32	
90%~100%	52	69	19	10	13	69	2	8	4	63	1	42	9
80%~90%	47	4	53	9	43	35	5	22	22	30	4	43	36
70%~80%	10		52	16	41	8	22	29	36	6	5	28	65
60%~70%	1		17	33	38	2	24	47	36	2	3	17	54
50%~60%	2		5	37	16		36	32	38	2	4	5	6
40%~50%			1	26	3		26	16	15		6	4	2
30%~40%	1		1	10	1		29	3	7		15		
20%~30%				4			11	3	1		18		
10%~20%				3			7	1	2		37		
0%~10%				2	1		3	1	2		78	1	

小学校4年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
+10%より高い	3	2	2	3	5
±10%の範囲内	2	2	2	2	4
-10%より低い	1	2	1	2	3
計	6	6	5	7	12

2 考察

(1) 全体について

12問中9問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

類似問題については、6問全ての通過率が上昇している。特に、通し番号(12「天気による気温の変化」)に関する設問の通過率は39.5ポイント昨年度と比べて上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①複数の植物における育ち方の共通点を考察し、表現することについて、課題が見られる。
- ②棒温度計の使い方に関する技能を身に付けることについて、課題が見られる。

3 今後の指導

理科の見方・考え方を働かせ、問題を追究する活動の充実を図る。

- ・理科の見方・考え方を自在に働かせ、問題を追究する活動を充実させるためには、児童が自然の事物・現象に関わる場面を意図的に設定することが大切である。
- ・学習指導要領解説では、「生命」を柱とする領域の特徴的な捉え方として、共通性・多様性の視点が示されている。通し番号(4)については、例えば、複数の植物についての記録を時系列で並べて整理し、共通点として、種子から発芽して、個体が枯死するまでの一定の順序があること、差異点として、花や葉、茎の様子に違いがあることを捉えるなどの活動が考えられる。その際、天候等により記録が揃わなかった植物については、写真資料を準備するなどの配慮が必要である。

[参考 通し番号(4)]

けんさんは、ホウセンカとピーマンのたねをうえて、それぞれの育つようすを観察しました。図は、けんさんが観察したことを記録したカードの一部です。図をもとに、けんさんのくまとめ>が正しくなるように、㊦に当てはまる内容を、「実」と「たね」という言葉を使って、□の中に書きなさい。図(図は省略)

ホウセンカ 7月13日 葉がふえてくきが高くなり、大きく育ちました。赤色の花がたくさんさいていました。	ホウセンカ 9月13日 緑色や茶色の実ができました。茶色の実をさわると、はじけて、たねが出てきました。
ピーマン 7月12日 白い小さな花がさきました。春にくらべて、くきの高さが高くなって葉がふえていました。	ピーマン 9月14日 緑色の実ができました。実をわってみると、中に小さいたねがありました。

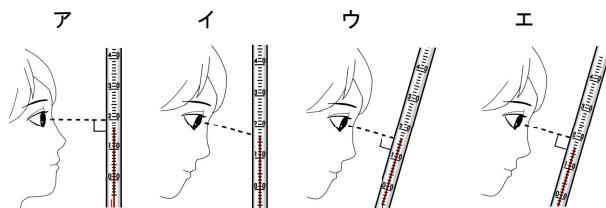
くまとめ>
 ホウセンカとピーマンの育つようすをくらべると、にているところがたくさんあることに気がつきました。どちらも、たねから育って、くきがのびて葉がふえ、7月に花がさきました。また、ホウセンカとピーマンのどちらも、花がさいたあとに□㊦ということがわかりました。

器具や機器などを目的に応じて工夫して扱うとともに、観察、実験から得られた結果を適切に記録する技能の確実な定着を図る。

- ・問題解決の過程において、解決したい問題に対する結論を導きだすには、観察、実験などの結果が正しく記録されていることが重要である。
- ・通し番号(11)については、温度計の液の高さにおいて、視線と温度計を直角にして目盛りを読み取る条件となる。こうした器具を正しく扱う技能の確実な定着を図るためには、各学年の温度計を使う場面だけでなく、メスシリンダーや検流計等の目盛りを読む場面で、器具と目を直角にして液や針の位置に注視するなどのポイントを、繰り返し意識させることが大切である。

[参考 通し番号(11)]

次のア～エのうち、ぼう温度計の目もりの読み方として正しいものはどれですか。1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。



令和7年度秋田県学習状況調査 小学校第5学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 4 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(2)ア (7)(イ)	・季節による動物の活動や植物の成長の様子を理解している。	(1)	○	
		(2)イ	・身近な植物の成長と気温の変化を関係付けて考察し、表現している。	(2)		○
	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(2)イ	・金属、水及び空気における温度と体積の変化の関係について考察し、表現している。	(3)		○
		(2)イ	・金属、水及び空気の温度による体積の変化の程度を考察し、表現している。	(4)		○
		(2)ア (ウ)	・棒温度計の使い方に関する技能を身に付けている。	(5)	○	
		(2)イ	・水の状態について、温度変化を示すグラフと関係付けて考察し、表現している。	(6)		○
		(2)イ	・空気のあたためり方について、暖房器具と冷房器具の位置の違いを基に考察し、表現している。	(7)		○
		(1)イ	・閉じ込めた空気と水を押し縮めたときの体積の変化を考察し、表現している。	(8)		○
第 5 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(4)ア (7)	・方位磁針の操作に関する技能を身に付けている。	(9)	○	
		(4)ア (7)	・雲の量による天気の見分け方を理解している。	(10)	○	
		(4)イ	・天気の変化の仕方について、気象情報を基に考察し、表現している	(11)		○
		(1)イ	・種子の発芽に必要な条件を制御する実験の方法を考え、表現している。	(12)		○
		(2)ア (7)	・メダカの雌雄における体の形状を理解している。	(13)	○	
		(2)ア (7)	・卵と精子が結び付くことが受精であることを理解している。	(14)	○	
		(2)イ	・魚の卵の中の様子と、時間の経過とを関係付けて考察し、表現している。	(15)		○
		(1)ア (エ)	・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。	(16)	○	
		(1)ア (エ)	・顕微鏡の倍率の求め方を理解している。	(17)	○	
(1)ア (エ)	・植物の受粉と結実の関係を理解している。	(18)	○			

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

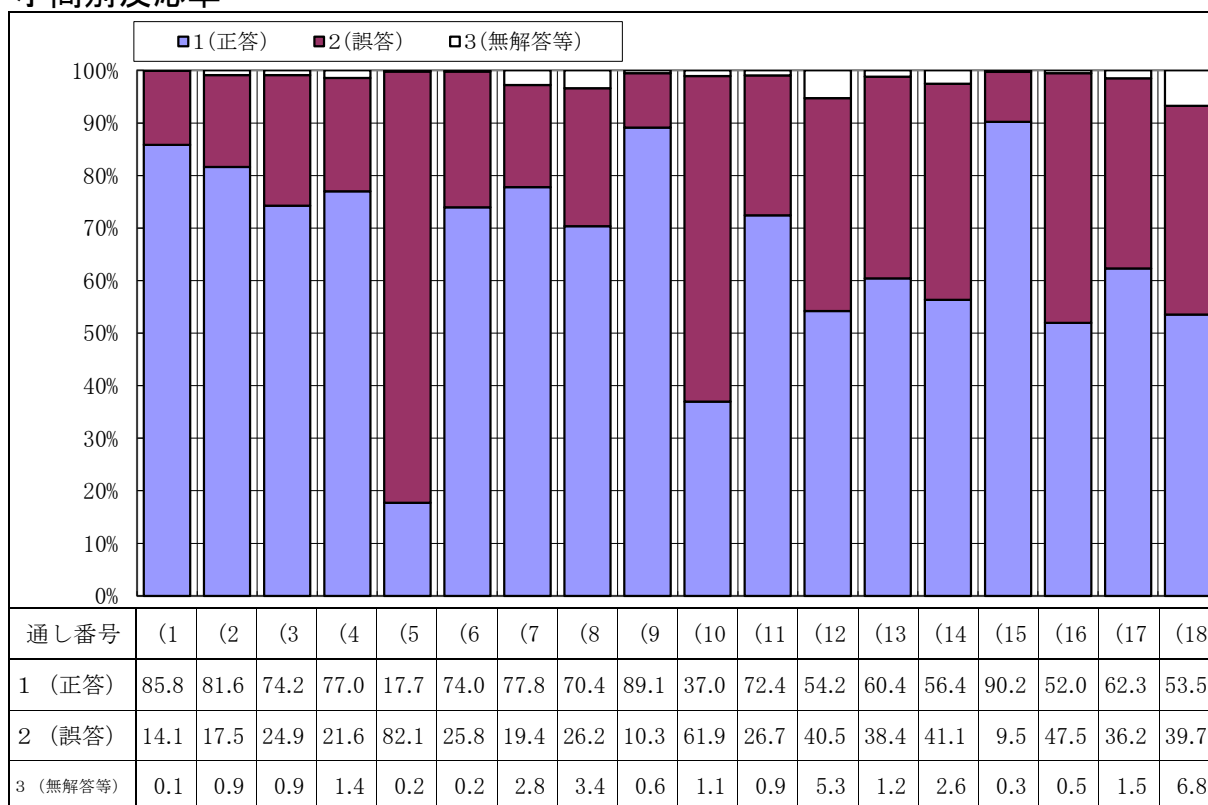
平均通過率 65.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	季節ごとの植物と動物の様子	85.8	80.0	
(2)	気温の変化と植物の成長	81.6	70.0	
(3)	温度による物質の体積変化	74.2	80.0	
(4)	温度変化による空気、水、金属の体積変化の比較	77.0	70.0	
(5)	温度計の読み方	17.7	60.0	
(6)	温度による水の状態変化	74.0	70.0	
(7)	空気のあたたまり方	77.8	80.0	
(8)	空気と水を押し縮めたときの体積変化	70.4	70.0	
(9)	方位磁針の使い方	89.1	80.0	
(10)	雲量と天気	37.0	60.0	
(11)	天気の変化の規則性	72.4	70.0	
(12)	発芽条件	54.2	60.0	
(13)	メダカの雌雄	60.4	70.0	
(14)	受精	56.4	70.0	
(15)	メダカの受精卵の変化	90.2	90.0	
(16)	顕微鏡の操作手順	52.0	60.0	
(17)	顕微鏡の倍率の求め方	62.3	60.0	
(18)	ヘチマの花粉	53.5	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (170校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	30	34	15	13	1	12	13	12	39	3	16	3	7	12	38	2	10	1	
90%~100%	44	36	22	20		13	27	16	61	1	22	5	3	11	67	1	5	1	2
80%~90%	59	45	52	57	2	46	45	45	46	7	34	7	15	23	50	14	16	15	21
70%~80%	26	27	33	37	2	44	48	27	18	5	34	22	33	21	9	21	26	23	47
60%~70%	8	16	23	23	2	30	26	32	4	13	30	36	38	21	4	29	46	39	62
50%~60%	2	7	14	15	7	8	8	19	1	24	17	36	34	24	1	34	38	32	33
40%~50%	1	3	5	2	6	11	3	8		24	13	37	23	21		17	16	26	3
30%~40%			2	2	12	4		7		24	3	14	11	17		21	7	19	1
20%~30%		1	3	1	24	1		2	1	39		7	4	13		17	4	10	1
10%~20%			1		40	1		1		17		2	1	5		7	1	2	
0%~10%		1			74			1		13	1	1	1	2	1	7	1	2	

小学校 5年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別		計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	
+10%より高い	0	1	0	1	1
±10%の範囲内	6	8	5	9	14
-10%より低い	3	0	1	2	3
計	9	9	6	12	18

2 考察

(1) 全体について

18問中15問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

類似問題については、10問中4問で通過率が上昇している。特に、通し番号(11「天気の変化の規則性」に関する設問の通過率は7.7ポイント、通し番号(17「顕微鏡の倍率の求め方」に関する設問の通過率は8.5ポイント、昨年度と比べてそれぞれ上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①雲の量による天気の見分け方を理解することについて、課題が見られる。
- ②種子の発芽に必要な条件を制御する実験の方法を考え、表現することに課題が見られる。

3 今後の指導

観察、実験等の結果を適切に記録する技能の定着と、自然の事物・現象についての実感を伴った理解を促す学習活動の充実を図る。

- ・雲量と天気の変化とを関係付けて捉えるには、雲量という「基準」に着目し、観察記録や写真等から、天気の判断について実感を伴った理解を図る学習活動の充実が大切である。また、その前提として観察したことを適切に記録する技能が必要である。
- ・通し番号(10)については、例えば、雲の様子を記録したシートに、均等に分割したグリッドを透明シートや学習支援ソフトを用いて重ね、雲の割合を視覚的・直感的に捉えることが考えられる。また、「晴れ」や「曇り」の状態を記録した写真資料と、メディアで取り上げられる気象情報を比較しながら、継続して観察を行う機会を設けることも大切である。

[参考 通し番号(10)]

桜さんは、図2のように、観察する方位を決めて雲のようすと天気について調べ、記録しました。記録の内容が正しくなるように、㉞に当てはまる言葉を、□の中に書きなさい。

図2 雲のようすと天気 4月21日 正午
 〈観察した方位〉南
 〈雲の量〉8
 〈天気〉(㉞)
 〈気づいたこと〉
 午前中よりも雲が多くなってきた。



予想や仮説を基に発想した解決方法について相互に検討し合う活動の充実を図る。

- ・解決方法の立案にあたっては、根拠のある予想や仮説に基づき、「もし○○なら、□□になるはずだ」という思考過程を土台に、条件を整理しながら解決方法について検討し合う場面を設けることが大切である。
- ・通し番号(12)については、例えば、個人の予想や仮説を図や表などを用いて可視化することで、調べる条件についての意識付けを行いながら、予想や仮説が正しければどのような結果になるか見通しをもつ場面を設定することが考えられる。また、互いの解決方法を比較し、条件の制御に係る気付きについて意見交換をしたり、根拠を基に議論をしたりすることで、自分の考えをより妥当なものにする活動の充実を図ることが大切である。

[参考 通し番号(12)]

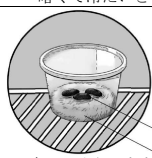
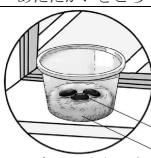
夏子さんと秋男さんは、インゲンマメが発芽するための条件について予想を立てました。(問題文中略)
 次の【夏子さんと秋男さんの会話の一部】が正しくなるように、㉞に当てはまる内容を□の中に書きなさい。

【予想】

インゲンマメの種子が発芽するためには、適当な温度が必要だと思ふ。

【夏子さんと秋男さんの会話の一部】(会話文中略)

夏子さん：予想を確かめるためには、容器Bの種子に㉞ が必要だと思います。

容器A 冷ぞう庫の中の暗くて冷たいところ	容器B 日当たりがよい窓の近くのあたたかいところ
	
種子	種子
水でしめらせただし綿	水でしめらせただし綿

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観 点	
					知識・技能	思考・判断・表現
小学校第6学年	B 生命・地球	(1)イ	・でんぷんに対するだ液の働きを考察し、表現している。	(1)		○
		(1)ア (1)エ	・小腸の働きと体内における位置を理解している。	(2)	○	
		(5)イ	・月の形の見え方と太陽の位置を関係付けて考察し、表現している。	(3)		○
		(4)ア (1)	・火山の噴火によってできる地層の特徴を理解している。	(4)	○	
		(4)イ	・地層のつくりを基に地層の重なり方や広がり方を考察し、表現している。	(5)		○
	(3)ア (1)	・顕微鏡の操作に関する技能を身に付けている。	(6)	○		
	A 物質・エネルギー	(4)イ	・豆電球と発光ダイオードが使う電気の量の違いを考察し、表現している。	(7)		○
		(2)ア (ウ)	・アルミニウムに塩酸を注ぐと、アルミニウムが溶けて気体を発生させることを理解している。	(8)	○	
		(2)イ	・アルミニウムが溶けた塩酸から取り出した物質とアルミニウムの違いを考察し、表現している。	(9)		○
中学校第1学年	化学的領域	(2)ア (7)㊸	・二酸化炭素の特性を理解している。	(10)	○	
		(2)イ	・物質の性質の共通点や相違点を基に、白い粉末の種類を判断し、表現している。	(11)		○
		(2)イ	・計算により求めた密度を基に物質を判断し、表現している。	(12)		○
		(2)イ	・融点や沸点を基に物質の状態を判断し、表現している。	(13)		○
		(2)イ	・物質の質量を変えたときの、加熱時間と温度の関係を表したグラフの変化を考察し、表現している。	(14)		○
	生物的領域	(1)ア (1)㊸	・シダ植物とコケ植物における体のつくりの相違点を理解している。	(15)	○	
		(1)イ	・植物の分類について、体のつくりを基に考察し、表現している。	(16)		○
		(1)ア (1)㊸	・節足動物と軟体動物の特徴を理解している。	(17)	○	
(1)ア (1)㊸	・胎生を理解している。	(18)	○			

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

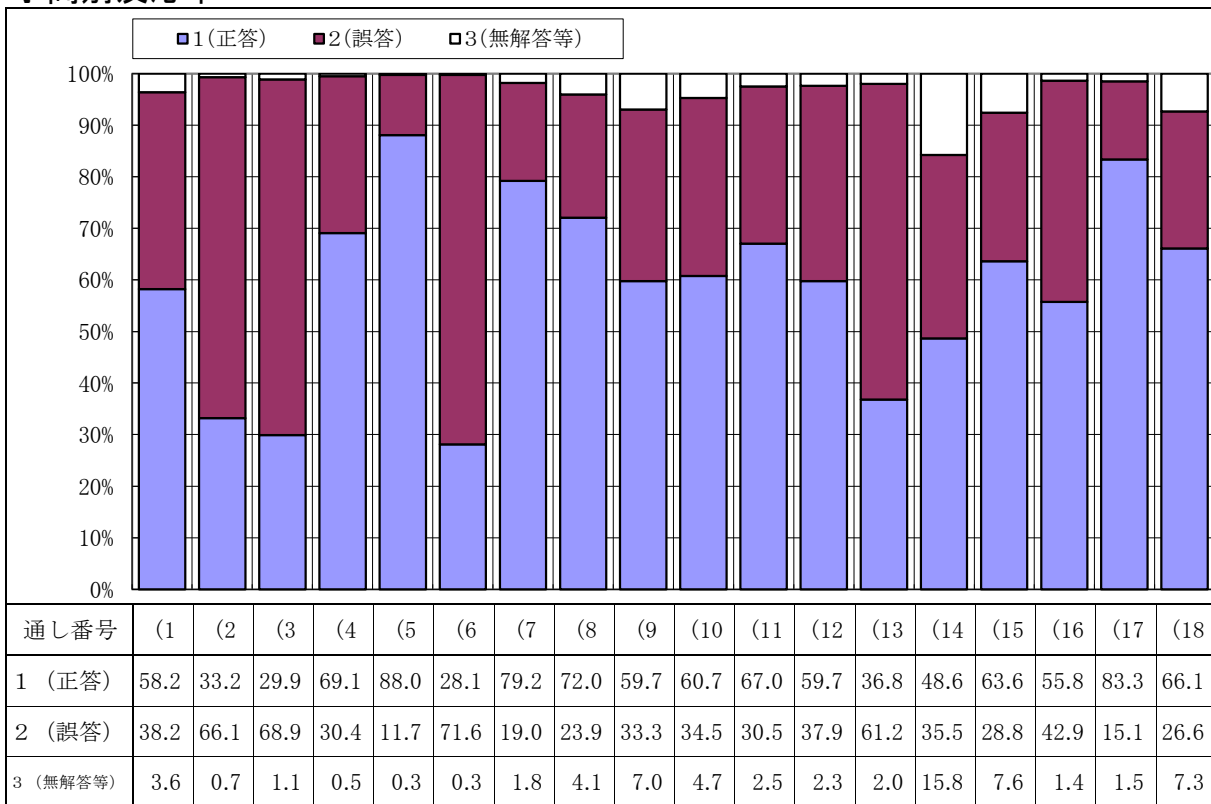
平均通過率 58.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	だ液の働きによるデンプンの変化	58.2	70.0	
(2)	小腸の働きと体内における位置	33.2	70.0	
(3)	月の形の見え方と太陽の位置	29.9	70.0	
(4)	火山の働きによる層	69.1	70.0	
(5)	地層の重なりと広がり	88.0	90.0	
(6)	顕微鏡の操作手順	28.1	70.0	
(7)	使われる電気の量の比較	79.2	80.0	
(8)	アルミニウムと塩酸の反応	72.0	70.0	
(9)	塩化アルミニウムとアルミニウムの比較	59.7	60.0	
(10)	二酸化炭素の特性	60.7	70.0	
(11)	物質における共通の性質と固有の性質	67.0	70.0	
(12)	密度	59.7	60.0	
(13)	温度による物質の状態	36.8	70.0	
(14)	物質の質量と状態変化する温度の関係	48.6	60.0	
(15)	シダ植物とコケ植物における体のつくりの相違点	63.6	70.0	
(16)	植物の分類	55.8	60.0	
(17)	節足動物と軟体動物の特徴	83.3	80.0	
(18)	胎生	66.1	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	3		2	3	13	1	12	9	4	4	3	2			4		7	5	
90%~100%	1			6	39		6	14	8	3	6	5	1		8	4	16	9	
80%~90%	17			20	44		35	24	2	3	12	4		6	14	5	50	16	2
70%~80%	7		2	29	8		39	27	20	15	22	14	1	7	14	4	29	20	9
60%~70%	30	5	9	31		5	10	17	29	31	42	34	5	17	29	20	3	25	40
50%~60%	20	7	7	11		5	2	3	20	35	19	25	14	25	19	41	1	19	45
40%~50%	15	9	17	5	1	8	1	10	16	8	1	15	18	24	14	25		9	9
30%~40%	9	37	21			26		1	5	7		4	26	23	2	3		2	
20%~30%	4	35	18			30			1				1	25	2	1			1
10%~20%		8	23			23							12			1			
0%~10%		5	7	1	1	8	1	1	1		1	2	4	2	1	3		1	

中学校 1 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		内 容 区 分 別 ・ 領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
+10%より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	6	6	3	2	3	4	12
-10%より低い	2	4	0	4	2	0	6
計	8	10	3	6	5	4	18

2 考察

(1) 全体について

18問中6問が設定通過率の「-10%より低い」という結果であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問も見られる。

(2) 成果

類似問題については、9問中6問で通過率が上昇している。特に、通し番号(4「火山の働きによる層」に関する設問の通過率は34.8ポイント、通し番号(7「使われる電気の量の比較」に関する設問の通過率は20.7ポイント、通し番号(8「アルミニウムと塩酸の反応」に関する設問の通過率は40.7ポイント、通し番号(17「節足動物と軟体動物の特徴」に関する設問の通過率は15.5ポイント、昨年度と比べてそれぞれ大きく上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①二酸化炭素の特性を理解することについて、課題が見られる。
- ②物質の質量を変えたときの、加熱時間と温度の関係を表したグラフの変化を考察し、表現することについて、課題が見られる。

3 今後の指導

観察、実験の結果を既習の内容と関連付けて分析し解釈する活動の充実を図る。

- ・観察、実験の結果を分析し解釈する場面では、着目する点を明確にし、根拠を基に科学的な視点で捉えるよう促すことが大切である。また、解釈したことの妥当性について、他者との対話や協働を通して吟味する活動を重視することが大切である。
- ・通し番号(10)については、例えば、「なぜ石灰水が白くにごったのか」と問い掛けるなど、それぞれの実験の結果について、その要因に着目して捉えられるようにすることが考えられる。また、ノートやタブレット端末等で既習の内容を振り返り、実験の結果との関連付けについて、他者と意見交流する活動を取り入れることが考えられる。

【参考 通し番号(10)
7 (問題文及び図は略)

実験方法	粉末A	粉末B	粉末C
①水にとけるかどうかを調べる。	とけた。	とけなかった。	とけた。
②加熱したときのようすを調べる。	燃えて炭になった。甘いにおいがした。	燃えて炭になった。	燃えなかった。
③石灰水の変化を調べる。	白くにごった。	白くにごった。	②の方法で火がつかなかったため、調べなかった。

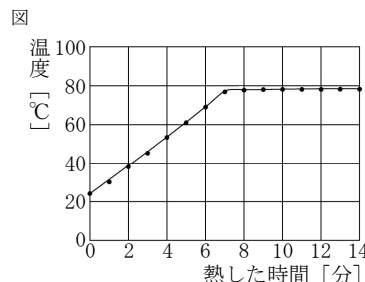
【考察】
粉末A、Cには「水にとける」という共通の性質がありました。粉末Bは水にとけず、時間がたつと白い粉が試験管の底にずんでいました。
粉末A、Bには「加熱すると燃えて炭になり、(W)が発生する」という共通の性質がありました。(後略)

多様な観察、実験で得られた結果を総合的に捉えて、考察し表現する活動の充実を図る。

- ・生徒が見通しをもって解決する方法を立案して実験を行ったり、多様な観察、実験の結果を基に考察したりする学習活動を、意図的、計画的に取り入れることが大切である。その際、観察、実験の結果から総合的に捉えて考察できるよう、発問を工夫することが大切である。
- ・通し番号(14)については、例えば、水やエタノールが状態変化するときの温度について調べる際、安全性を確保できる範囲で、班ごとに液体の量を変えて設定することが考えられる。また、学級全体で共有した各班の実験の結果から規則性や関係性を見いだすことができるよう、発問に共通点等の視点を組み入れるなどして内容を吟味することが考えられる。

【参考 通し番号(14)

9 守さんは、物質の沸点や融点について、資料で調べたり、実験を行ったりしました。表は4種類の物質A～Dについて、それぞれの沸点と融点を調べてまとめたものです。図は、液体の物質Pを試験管の10分の1程度入れてゆっくりと熱し、1分ごとに温度を測定したときの、熱した時間と温度の関係を表したグラフです。下の(1)、(2)の問いに答えなさい。(表略)



(2) 図のグラフでは、熱した時間が7分を過ぎてから、温度が上がりなくなっています。物質Pを試験管の10分の2程度入れてゆっくりと熱し、1分ごとに温度を測定したときのグラフを作成したとき、熱しても温度が上がらなくなるときの温度は、物質Pを試験管の10分の1程度入れたときと比べてどのようになるか、書きなさい。ただし、熱する強さなどの物質Pの量以外の条件はすべて同じものとします。

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点	
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 1 学 年	地 学 的 領 域	(2)ア (1)㉞	・アンモナイトが中生代の示準化石であることを理解している。	(1)	○	
		(2)イ	・地層の様子について、地形図を柱状図と関係付けて考察し、表現している。	(2)		○
		(2)ア (ウ)㉞	・震央が震源の真上の地点であることを理解している。	(3)	○	
		(2)ア (ウ)㉞	・P波の伝わる速さを求める方法を理解している。	(4)	○	
		(2)イ	・地震の揺れの記録を基に、地震が発生した時刻を考察し、表現している。	(5)		○
	物 理 的 領 域	(1)ア (ア)㉞	・光を当てた物体があらゆる方向から観察できるのは、物体の表面で光が乱反射するためであることを理解している。	(6)	○	
		(1)イ	・鏡に映る像の位置を考察し、表現している。	(7)		○
		(1)イ	・おもりに働く力を表す矢印を見だし、表現している。	(8)		○
		(1)イ	・力の大きさとばねののびの関係を表すグラフを基に、おもりの質量を考察し、表現している。	(9)		○
		第 2 学 年	化 学 的 領 域	(4)ア (イ)㉞	・還元の実験に関する技能を身に付けている。	(10)
(4)ア (イ)㉞	・酸素がうばわれる化学変化は還元ということを理解している。			(11)	○	
(4)イ	・酸化銅の還元について、原子や分子のモデルを用いて考察し、表現している。			(12)		○
生 物 的 領 域	(3)イ		・対照実験の条件制御について考察し、表現している。	(13)		○
	(3)ア (イ)㉞		・植物の細胞の中の光合成が行われる部分を考察し、表現している。	(14)		○
	(3)ア (ウ)㉞		・小腸の働きと体内における位置を理解している。	(15)	○	
	(3)イ		・デンプンに対するだ液の働きを考察し、表現している。	(16)		○
	(3)イ		・肺の空気の入りと肺の動きの関係を考察し、表現している。	(17)		○
	(3)ア (ウ)㉞		・肺のつくりについて、効率よくガス交換ができる理由を表面積と関係付けて考察し、表現している。	(18)		○

中学校 2年 理科 小問別通過率と設定通過率

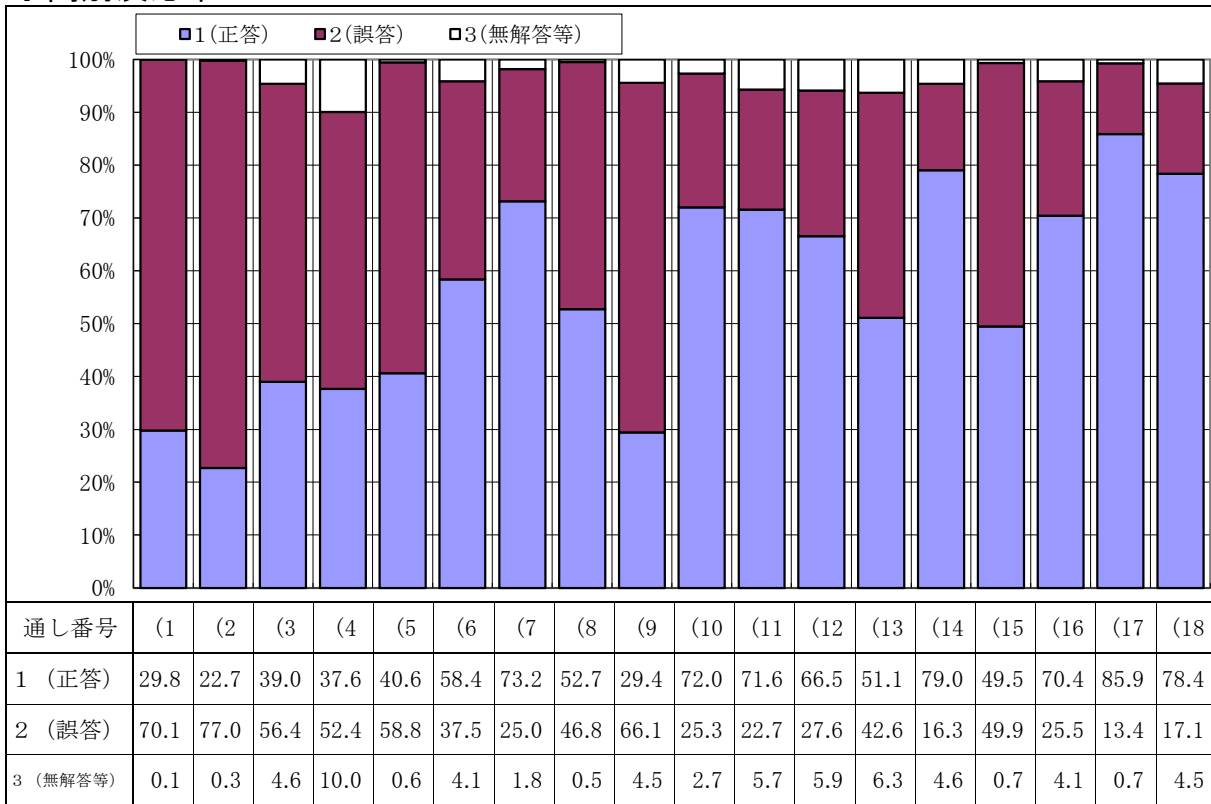
平均通過率 56.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	示準化石	29.8	70.0	
(2)	地層の傾き	22.7	60.0	
(3)	震央	39.0	80.0	
(4)	P波の伝わる速さ	37.6	60.0	
(5)	地震が発生した時刻	40.6	60.0	
(6)	乱反射	58.4	80.0	
(7)	鏡に映る像の位置の作図	73.2	70.0	
(8)	物体に働く力	52.7	60.0	
(9)	ばねののびと加わる力の関係	29.4	60.0	
(10)	還元の実験の方法	72.0	80.0	
(11)	還元	71.6	80.0	
(12)	化学変化のモデルを用いた表し方	66.5	70.0	
(13)	光合成の実験に関する条件	51.1	60.0	
(14)	細胞内の光合成を行う部分	79.0	80.0	
(15)	小腸の働きと体内における位置	49.5	80.0	
(16)	だ液の働き	70.4	70.0	
(17)	横隔膜と肺の動きの関係	85.9	80.0	
(18)	肺胞の役割	78.4	70.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%			2			2	8	1		4	6	3		5		3	8	8	
90%~100%			1			1	23	5		9	14	10	1	18		10	36	13	
80%~90%			4		1	10	29	5		23	25	23	2	34	4	26	47	34	
70%~80%	1	1	10	5	3	13	16	12	1	26	26	24	13	32	6	31	11	32	6
60%~70%	1	1	9	5	4	26	9	21		29	18	19	22	12	13	18	3	14	37
50%~60%	9	1	10	10	14	29	10	33	4	14	10	12	24	4	34	11	1	3	46
40%~50%	16	6	13	18	30	16	5	13	14	1	5	8	34	1	23	4		1	16
30%~40%	31	18	18	41	36	8	4	8	26		2	4	6		18	1			
20%~30%	29	34	20	23	14		1	6	46			1	1		5	1			1
10%~20%	15	32	15	2	2			1	10				1		1				
0%~10%	4	13	4	2	2	1	1	1	5			2	2		2	1		1	

中学校 2年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別		領 域 別				計
	知識・技能	思考・判断・表現	物理	地学	化学	生物	
＋10%より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	2	8	2	0	3	5	10
－10%より低い	5	3	2	5	0	1	8
計	7	11	4	5	3	6	18

2 考察

(1) 全体について

- 18問中8問が設定通過率の「－10%より低い」であり、改善は見られるものの学習内容の定着状況は十分とは言えない。
- 中学校第2学年の学習内容に関する設問では、9問中8問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。

(2) 成果

- 「化学」の領域に関する設問では3問中3問、「生物」の領域に関する設問では6問中5問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、定着が図られている。
- 類似問題については、9問中7問で通過率が上昇している。特に、通し番号(7「鏡にうつる物体の虚像の位置の作図」)に関する設問の通過率は22.8ポイント、(16「だ液のはたらき」)に関する設問の通過率は25.4ポイント、(18「肺胞の役割」)に関する設問の通過率は21.5ポイント、昨年に比べてそれぞれ上昇し、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- アンモナイトが中生代の示準化石であることを理解し、地層が堆積した地質年代と関連付けて考察し、表現することに、課題が見られる。
- 小腸の働きと体内における位置について理解することに、課題が見られる。

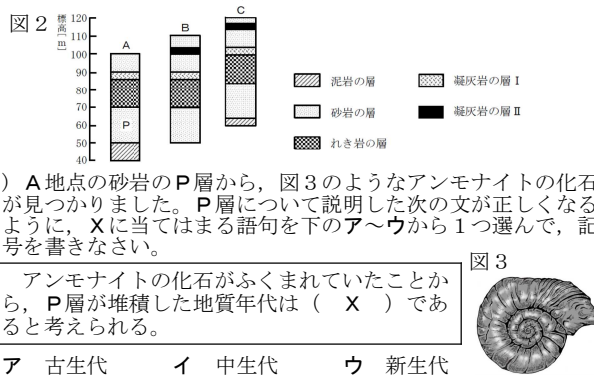
3 今後の指導

理科の授業で身に付けた知識及び技能を活用して、課題を解決する学習活動の充実を図る。

- 理科の授業で身に付けた知識及び技能を活用するためには、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図った上で、科学的な根拠に基づいて考察し、説明する場面を意図的に設定することが大切である。
- 通し番号(2)については、例えば、化石標本と現存生物の共通点や生存期間・分布域の資料を活用し、環境や地質年代を推定する手掛かりとなる化石の特徴を見いだして概念の形成を図る。その上で、身近な地域の地層の化石や岩石を根拠に、地層の地質年代や過去の環境を推定するなど、理科の授業で身に付けた知識及び技能を活用して科学的に探究する活動を充実させることが考えられる。

[参考 通し番号(2)]

1 (※問題文及び図1は省略)



探究の過程を通して、獲得した知識を関連付けて総合的に理解できるようにする活動の充実を図る。

- 獲得した知識を関連付けて総合的に理解できるようにするためには、事実を暗記するだけでなく、「部分と全体」等の視点で探究の過程を振り返って概念的な理解へと高めることが大切である。
- 通し番号(15)については、例えば、唾液の実験結果や胃や腸の特徴を、消化・吸収の働きと関連付けて消化系について理解を促した後、単元全体を振り返る場面を設定する。そして、吸収された養分が循環系で全身に運ばれ、不要なものが排出系へ送られること等を、消化系と関連付けて説明するなど、生命を維持する働きについて総合的に捉えられるようする活動が考えられる。

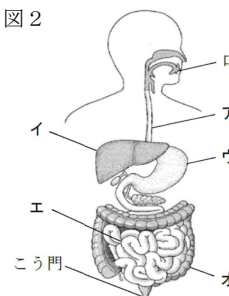
[参考 通し番号(15)]

7 (※問題文は省略)

<インターネットで調べてわかったこと>

- ご飯粒の主成分はデンプンであること。
- 口から入った食物は消化され、水とともに、主に(X)で吸収されること。

(1) Xに当てはまる臓器の名称を書きなさい。また、Xに当てはまる臓器を、図2のA～オから1つ選んで、記号を書きなさい。



4 結果と考察 (5)英語

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	
第 1 学 年	聞 く こ と	イ (ア)	[正確な 聞き取り]	・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(1)	○	
		イ (イ)	[正確な 聞き取り]	・短い会話を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(2)	○	
		イ (エ)	[適切な 聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。	(3) (4)		○
		イ (ウ)	[適切な 聞き取り]	・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。	(5)		○
	読 む こ と	ウ (イ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(6)	○	
		ウ (イ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。	(7) (8)		○
		ウ (ウ)	[適切な 読み取り]	・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。	(9) (10)		○
		ウ (ア)	[正確な 読み取り]	・語法や文法の理解を基に、会話の流れを正確に読み取ることができる。	(11) (12)	○	
		ウ (エ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容について、概要を適切に読み取ることができる。	(17)		○
	書 く こ と	カ (ウ)	[正確な筆記]	・与えられた情報を基に、正しく英文を書くことができる。	(13)	○	
		カ (ウ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(14) (15)	○	
		カ (ア)	[適切な筆記]	・自分の考えについて、読み手に伝わるようにまとまりのある英文を書くことができる。	(16)		○
カ (イ)		[適切な筆記]	・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(18)		○	

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

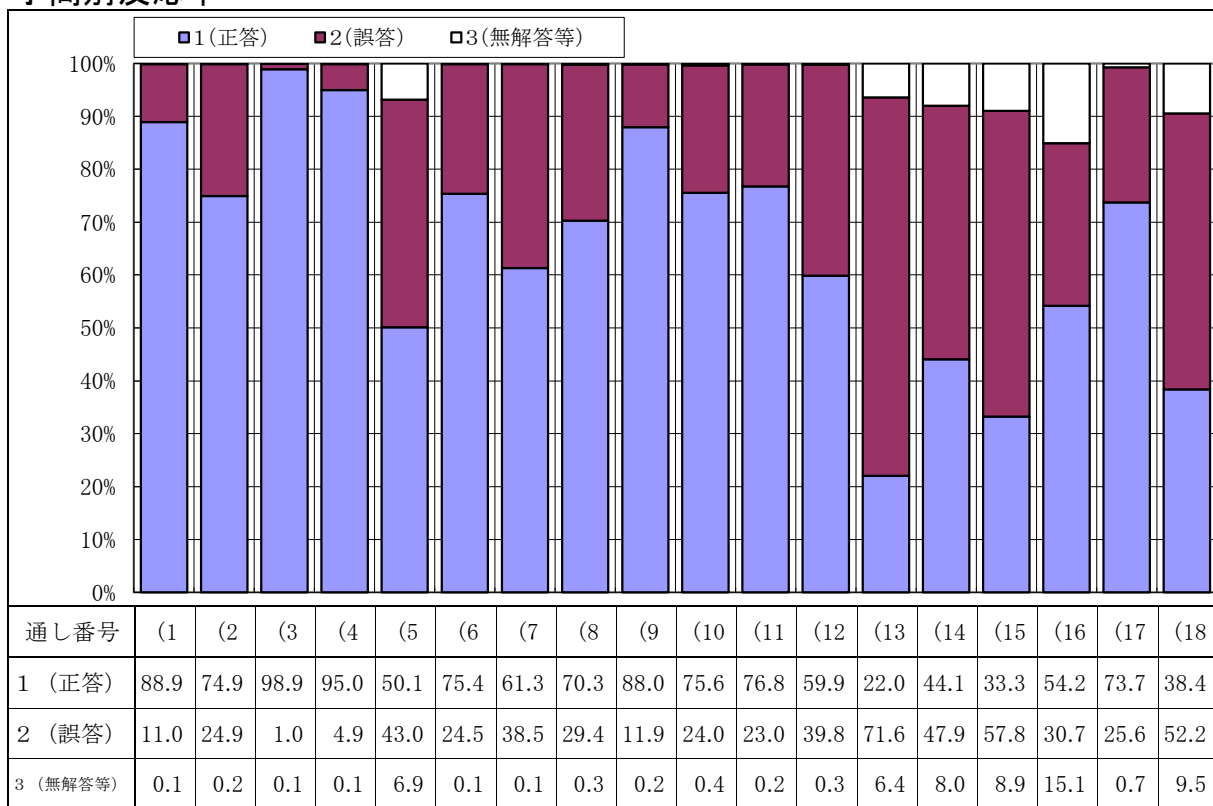
平均通過率 65.6%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 月日の聞き取り	88.9	85.0	
(2)	(聞) 夏祭りの様子についての聞き取り	74.9	80.0	
(3)	(聞) A L T の家族についての聞き取り	98.9	90.0	
(4)	(聞) A L T の家族についての聞き取り	95.0	90.0	
(5)	(聞) 質問の内容 (放課後にすること) に対する適切な応答	50.1	60.0	
(6)	(読) T シャツの柄についての会話の読み取り	75.4	70.0	
(7)	(読) イベントのパンフレットの内容の読み取り	61.3	60.0	
(8)	(読) アンケートについての会話の読み取り	70.3	65.0	
(9)	(読) 適切な会話の構成	88.0	85.0	
(10)	(読) 適切な会話の構成	75.6	70.0	
(11)	(読) 正しい疑問詞の選択及びbe動詞と一般動詞の使い分け	76.8	75.0	
(12)	(読) 相手の意向を踏まえた応答	59.9	60.0	
(13)	(書) 与えられた情報に基づく英文の作成	22.0	60.0	
(14)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (会話表現)	44.1	60.0	
(15)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現の疑問文)	33.3	60.0	
(16)	(書) メッセージの内容を踏まえた英文の作成	54.2	60.0	
(17)	(読) スピーチ文の内容の読み取り	73.7	70.0	
(18)	(書) スピーチ文の内容を踏まえた英文の作成	38.4	60.0	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	20	4	70	28	1	3	1	4	17	2	9	3				1	5		
90%~100%	43	7	36	69	4	7	3	8	34	8	16	1		2		2	7	2	2
80%~90%	39	24		9	5	22	9	19	45	26	31	5		3	1	8	17	4	6
70%~80%	3	38			13	45	16	24	10	37	27	12	2	6	3	15	43	1	27
60%~70%	1	24			14	23	31	36		25	16	26	1	13	3	17	27	6	50
50%~60%		3			14	5	33	11		4	6	42	1	17	8	30	5	15	19
40%~50%		4			18		11	2		3	1	11	9	25	14	17		27	1
30%~40%					28		1	1				4	14	24	31	7	1	18	
20%~30%					6								27	7	29	3		20	1
10%~20%					1							1	40	6	13	3		8	
0%~10%		2			2	1	1	1		1		1	12	3	4	3	1	5	

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	9	5	8	1	14
-10% より低い	3	1	0	0	4	4
計	8	10	5	8	5	18

2 考察

(1) 全体について

18問中14問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①「聞くこと」と「読むこと」において、全ての設問が「±10%の範囲内」であり、英文の内容を正確に捉えたり、概要を理解したりすることについて、指導の成果が見られる。

②「書くこと」において、自分の考えが読み手に伝わるように、まとまりのある英文を書くことについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

①三人称単数現在形を用いた紹介文や会話文の完成について、課題が見られる。

②「書くこと」において、会話が成り立つように正しく英文を書くことや、読み取った内容を基に適切に英文を書くことについて、課題が見られる。

3 今後の指導

具体的な課題等を設定するなどして、意味のある文脈の中でのコミュニケーションを通して、既習の語句や基本的な表現などを繰り返し活用できるように言語活動の充実を図る。




- ・小学校で扱った場面や取り組んだ言語活動を想起させるとともに、小学校で学んだ表現も取り上げながら、様々な場面や異なる表現の中で言語材料を活用する言語活動を計画的・継続的に取り入れる。
- ・ある言語材料を学習した単元にとどまらず、帯活動等において、設定された課題に応じて、生徒が自ら必要な言語材料を取捨選択して活用する言語活動を繰り返し取り入れる。
- ・言語活動の途中で、表現が正確であるか、内容が相手に適切に伝わるかという視点で英文を確認し合い、修正した後で再度言語活動に取り組めるようにするなど、学習過程を工夫する。

聞いたり読んだりして理解したことについて、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、適切な英語で話したり書いたりする言語活動の充実を図る。

- ・複数の領域を関連付けた言語活動を単元の学習過程に計画的に位置付け、聞いたり読んだりして得られた情報や表現を選択したり抽出したりするなどして活用できるようにする。
- ・中間指導の場面等で、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に立ち戻り、互いの英文や教師のフィードバックから、表現の正確さや内容の適切さについて振り返り、自ら英文を再構築できるようにする。

※指導例：通し番号(13)

生徒の気づきを生かしながら、簡単な語句や文を用いて正確に書く力を高める言語活動の例

<p>〈クラスメートに関するクイズを出し合う活動〉</p> <p>①インタビューを行い、クイズのヒントとなる情報を収集する。</p> <p>S1: Are you on the tennis team? S2: Yes. I like tennis. S1: What do you do on Sundays? S2: I read comics. S1: Oh, do you like comics? S2: Yes, I like anime, too. S1: What anime do you like? S2: I like NARUTO very much.</p> <p>②クイズカードを作成する。</p> <p>She is the tennis team. She read comics on Sundays. She is an anime fan. Who is she?</p>	<p>③作成したヒントカードを基に、ペアでクイズを出し合う。</p> <p>④発表した人のヒントカードを基に、全体でそのよさについて学び合う。</p> <p> He is good at playing video games. He takes dancing lessons. He is on the scoocer team. Who is he?</p> <p>What are the good points of his HINT CARD? </p> <p> ヒントが徐々に簡単になるように、伝える順番を工夫していいと思いました。</p> <p> Heだからtakeに"s"が付いていて、英文が正確です。</p>	<p>⑤自分や友達の気づきを基に、ヒントカードの英文を修正する。</p> <p>She is an anime fan. She <u>reads</u> comics on Sundays. She is <u>on</u> the tennis team. Who is she?</p> <p>⑥ペアを替えて、再度クイズを出し合う。</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の英語使用の正確さを高めるには時間がかかることに留意し、短い時間でも繰り返し指導することで、誤りのある英文を自分で修正する力を育てる。 ・資質・能力を育成するために、言語活動を行う時間を保障し、英文の修正についての気づきを促す。
---	--	---

令和7年度秋田県学習状況調査 中学校第2学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準		通 し 番 号	観 点	
						知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
第 2 学 年	聞 く こ と	イ (ア)	[正確な聞き取り]	・短い英文を聞いて、内容を正確に聞き取ることができる。	(1	○	
		イ (ウ)	[適切な聞き取り]	・短い会話を聞いて把握した内容について、適切に応じることができる。	(2 (3		○
		イ (エ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、概要を適切に聞き取ることができる。	(4		○
		イ (エ)	[適切な聞き取り]	・会話を聞いて、要点を適切に聞き取ることができる。	(5 (6		○
	読 む こ と	ウ (イ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について、正確に読み取ることができる。	(7	○	
		ウ (ウ)	[適切な読み取り]	・話の流れをつかみながら、文章を適切に読み取ることができる。	(8		○
		ウ (イ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について、必要な情報を適切に読み取ることができる。	(9		○
		ウ (ウ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について、要点を適切に読み取ることができる。	(10		○
		ウ (エ)	[正確な読み取り]	・言語の働きを理解し、事実と考えを区別して文章を読むことができる。	(11	○	
		ウ (ア)	[正確な読み取り]	・語法や文法の理解を基に、会話の流れを正確に読み取ることができる。	(12 (13	○	
		ウ (ウ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について、概要を適切に読み取ることができる。	(14		○
	書 く こ と	カ (エ)	[適切な筆記]	・読み取った内容を基に、適切に英文を書くことができる。	(15		○
		カ (ウ)	[適切な筆記]	・自分の考えについて、まとまりのある英文を書くことができる。	(16		○
		カ (ウ)	[正確な筆記]	・与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことができる。	(17 (18	○	

中学校 2 年 英語 小問別通過率と設定通過率

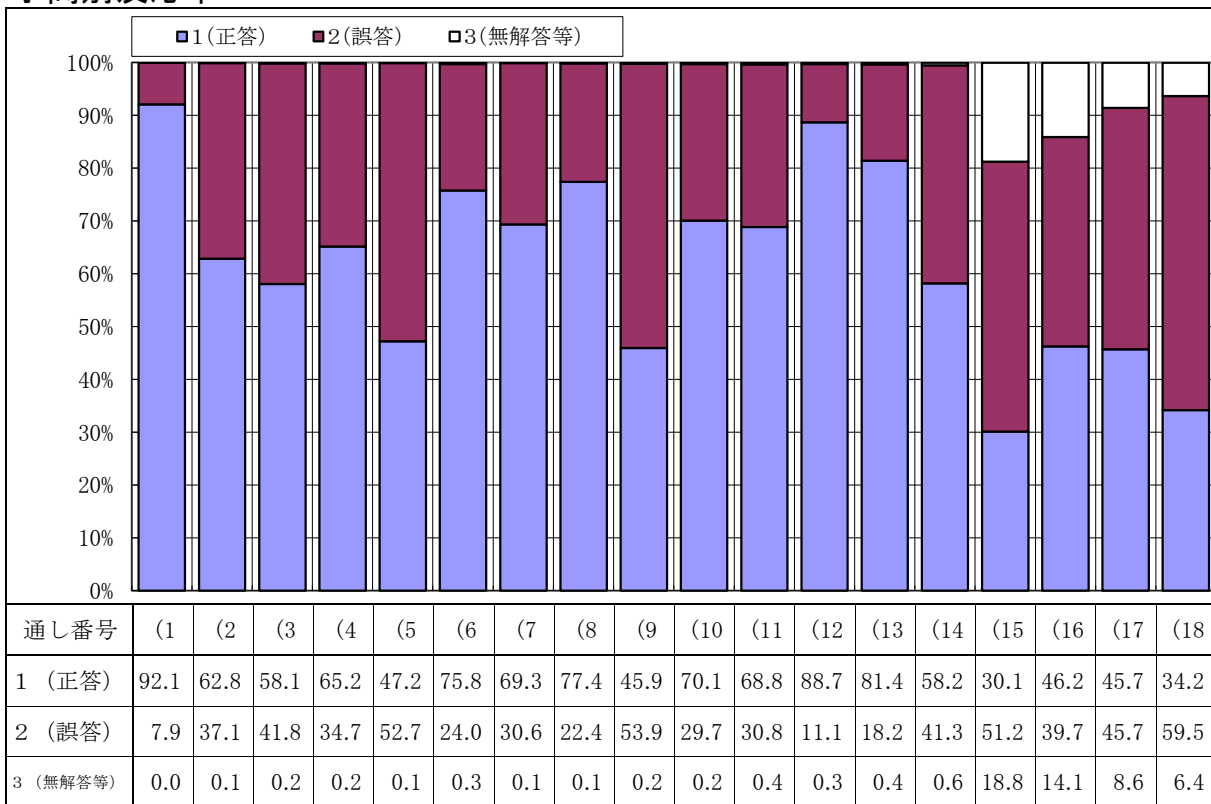
平均通過率 62.1%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 月日の聞き取り	92.1	90.0	
(2)	(聞) 質問に対する適切な応答	62.8	70.0	
(3)	(聞) 誘いに対する適切な応答	58.1	65.0	
(4)	(聞) スピーチの概要の聞き取り	65.2	70.0	
(5)	(聞) 会話の要点 (訪れる場所) の聞き取り	47.2	65.0	
(6)	(聞) 会話の要点 (理由) の聞き取り	75.8	70.0	
(7)	(読) ポスターの内容についての読み取り	69.3	65.0	
(8)	(読) 適切な文章の構成	77.4	75.0	
(9)	(読) イベントについての会話文の読み取り	45.9	70.0	
(10)	(読) 文章の要点の読み取り	70.1	70.0	
(11)	(読) 事実と書き手の考えについての読み取り	68.8	70.0	
(12)	(読) 正しい接続詞の選択	88.7	85.0	
(13)	(読) 正しい動詞の選択	81.4	80.0	
(14)	(読) メッセージの内容についての読み取り	58.2	65.0	
(15)	(書) メッセージの内容を踏まえた英文の作成	30.1	60.0	
(16)	(書) 与えられたテーマについて、まとめた英文の作成	46.2	60.0	
(17)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (三単現の疑問文)	45.7	65.0	
(18)	(書) 与えられた語を用いて、会話を成り立たせる英文の作成 (be going to~の文)	34.2	65.0	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (106校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	平均通過率
100%	23	2	1	1	1	2	1	7		2	2	14	7	1	1	1	1		
90%~100%	60	3		4		10	4	8		5	3	42	13	1		1			
80%~90%	22	7	4	15		27	14	35		13	20	41	44	5		10	5		2
70%~80%	1	16	14	18	5	39	36	37	3	35	31	8	37	9	1	9	6	2	24
60%~70%		43	27	41	9	22	32	16	10	35	29	1	2	37	3	3	11	5	43
50%~60%		22	42	18	26	6	14	2	26	14	20		2	36	9	23	20	12	34
40%~50%		11	11	7	41		3		37		1		1	15	15	27	25	16	3
30%~40%		2	6	1	16		1	1	20	1				1	23	18	27	26	
20%~30%			1		6				7						35	6	9	34	
10%~20%									1						16	6	1	8	
0%~10%				1	2		1		2	1				1	3	2	1	3	

中学校 2 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別		領 域 別			計
	知識・技能	思考・判断・表現	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	7	5	7	0	12
-10% より低い	2	4	1	1	4	6
計	7	11	6	8	4	18

2 考察

(1) 全体について

- ① 18問中 6 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、学習内容の定着状況が十分とは言えない設問もある。
- ② 「書くこと」の設問は全て設定通過率の「-10%より低い」であり、特に課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「聞くこと」において、まとまりのある英語を聞いて概要を適切に聞き取ることについて、指導の成果が見られる。
- ② 「読むこと」において、語法や文法の理解を基に会話の流れを正確に読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「書くこと」において、読み取った内容を基に適切に英文を書くことに、課題が見られる。
- ② 「書くこと」において、与えられた語を用いて、会話が成り立つように正しく英文を書くことに、課題が見られる。

3 今後の指導

既習の語句や基本的な表現などについて、意味のある文脈の中でのコミュニケーションにおいて繰り返し活用しながら定着を図る。

- ・ 言語材料を指導した単位にとどまらず、当該単位以降も表現の定着が図られるよう、帯活動等を活用して言語活動を継続的に取り入れる。
- ・ 明確な視点をもって個の学習状況を見取り、必要に応じて適切なフィードバックを行ったり、辞書等の使用を促したりする。
- ・ 生徒が自分の発話や筆記を振り返り、正確な表現や適切な内容になっているかを考えたり、修正したりする活動を取り入れる。

テーマについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書く活動の充実を図る。

- ・ 「やり取りしたことを基に書く」など、複数の領域を統合した言語活動を計画的に取り入れる。
- ・ 書いた英文を互いに読み合うなどして、英語使用の正確さや表現内容の適切さの観点から生徒が自らの筆記を見直し、英文を修正する活動を取り入れる。
- ・ 生徒が自身の学びを振り返ることができるよう、異なるテーマによる言語活動を取り入れ、学習した語句や表現方法を再度活用する機会を設定するとともに、生徒の学習状況を適切に見取り、指導に生かす。

※指導例：通し番号(17、(18

簡単な語句や基本的な表現などについて、繰り返し指導し定着を図るための言語活動の例

<p>(帯活動として Small Talk を行う)</p> <p>① JTEとALTのやり取りを聞く。</p> <p>JTE: What do you like to do? ALT: I like to ski. I went skiing last Sunday. It was fun.</p> <p>JTE: You're enjoying winter. ALT: Yes. I'm going to go skiing next Sunday, too.</p> <p>JTE: Sounds nice! How about you, everyone? What do you like to do? Let's talk in pairs.</p> <p>②ペアでやり取りする。</p> <p>S1: What do you like to do? S2: I like to play basketball. It's exciting. I going to ... 練習試合 next week.</p>	<p>③やり取りで言えなかったことを自分で調べたり、友達や先生に聞いたりして解決を図る。</p> <p>S2: 「練習試合」って何て言う? S1: 前に勉強したね。ノートを見てみよう。 S2: practice games って書いてある。I going to have practice games. だね。</p> <p>④見取りを生かし、全体で正しい表現について確認する。</p> <p>JTE: I going to.... OK? S3: Ah, I'm going to! ALT: Right. Let's practice together. I'm going to play soccer. Ss: I'm going to play soccer.</p>	<p>⑤確認したことを基にペアを替えてやり取りする。</p> <p>S4: What do you like to do? S2: I like to play basketball. It's exciting. I'm going to have practice games. S4: Which school are you... ?</p> <p>【指導のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に関する身近な話題について、自分の考えや気持ちを伝え合う場を継続的に設定する。 ・ 生徒の学習状況を見取り、既習表現を活用している例や共通して見られる文法上の誤りを取り上げ、内容面と言語面に関する気付きを促す。
--	---	---